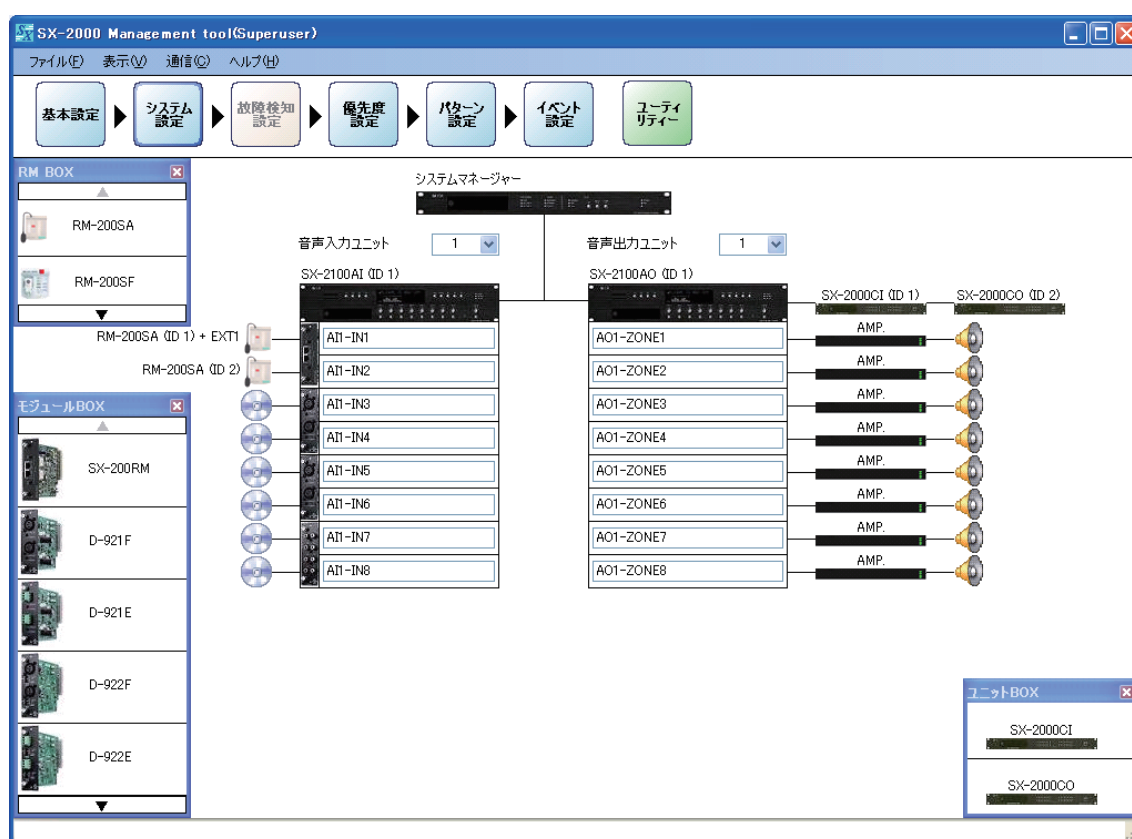


スマートマトリクスシステム

SX-2000 シリーズ



このたびは、TOA スマートマトリクスシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこのソフトウェア取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目次

SX-2000 設定ソフトウェアの概要	5
用語・機能の説明	
パターン	5
イベント	5
業務放送	5
BGM放送	8
緊急放送	9
故障検知機能	13
設定にあたって	
動作環境	16
ご注意	
CFカードについて	16
ディスプレイについて	16
画面表示に関して	16
設定の手順	
オフラインで行う場合	17
オンラインで行う場合	17
設定ソフトウェアの準備	
設定ソフトウェアをインストールする	18
設定ソフトウェアをアンインストールする	20
設定ソフトウェアをアップデートする	21
設定ソフトウェアの起動	
設定ソフトウェアを起動する	22
Superuserモードでログインする	
ログインのしかた	23
パスワードを変更するとき	24
Userモードでログインする	25
設定の項目	26
メニュー構成	27
メニューバーの項目と解説	
ファイル (F)	28
表示 (V)	28
通信 (I)	28
ヘルプ (H)	28
基本設定	29
SX-2000SMのネットワーク設定を検出する	
スイッチングハブに接続されているSX-2000SMが1台の場合	31
パソコンに複数のネットワークが設定されている場合	33
スイッチングハブに接続されているSX-2000SMが複数台の場合	35
検出ができなかった場合	37

SX-2000SMのネットワーク設定を変更する	38
システムをリセットする	40
SX-2000SMの時刻を設定する	42
システム設定	44
SX-2000SM	45
音源を登録する	46
音源を試聴する	47
音源を削除する	48
音源の名称を変更する	48
音源の種類を設定する	48
繰り返し回数を設定する	49
MIXING設定をする	49
SX-2000AI、SX-2100AI	
音声入力設定	50
音声入力詳細設定	51
RM-200S、RM-200SA	55
SX-2000AO	
音声出力設定	58
音声出力詳細設定	59
SX-2000CI	62
SX-2000CO	64
故障検知設定	66
優先度設定	68
パターン設定	71
一括でON/OFFをする	72
出力ゾーンパターン設定	74
BGMパターン設定	75
業務放送パターン設定	76
制御出力パターン設定	78
緊急シーケンス設定	79
緊急放送パターン設定	80
故障パターン設定	82
イベント設定	84
割り当てできる機能と機能の概要	85
機能の詳細	
業務パターン放送、業務パターン放送（Level）	87
業務パターン放送（Pulse）	88
BGMパターン変更／終了	89
音量変更の制御信号	90
時刻補正	90
緊急放送	91
外部故障入力	94
RM放送状態表示	95
業務EV放送	96

システムイベント設定	97
SM イベント設定	98
AI イベント設定	102
AO イベント設定	106
RM イベント設定	108
CI イベント設定	113
ユーティリティ	114
履歴ファイルの表示	115
履歴ファイルの読み込み	116
履歴ファイルの保存	118
オンラインで履歴を確認する	119
オンラインで取得した履歴ファイルを保存する	121
システム状態表示を確認する	122
システム状態表示画面	124
SM ユニット画面	127
AI ユニット画面	130
AO ユニット画面	135
音声入出力状態を確認する	141
音声入出力状態表示画面	143
制御入出力状態を確認する	145
制御入出力状態表示画面	147
SX-2000SM とパソコンとの通信	148
SX-2000SM とパソコンを通信接続する	149
CF カード内の設定データをオンラインで読み込む	151
CF カードに設定データをオンラインで書き込む	153
システムの構成をオンラインで取得する	155
CF カードの全履歴ファイルを取得する	157
通信ができないときは	159
SX-2000SM とパソコンの通信を切断する	160
設定ファイルを保存する	161
設定ファイルを読み込む	163
設定データを印刷する	167
リモートマイクのラベルを印刷する	169
設定ソフトウェアを終了する	172

SX-2000設定ソフトウェアの概要

SX-2000設定ソフトウェアは、スマートマトリクスシステムSX-2000シリーズのシステム稼働に必要な設定データをパソコンで作成するためのソフトウェアです。

設定内容は、拡張子がsmd形式のファイルにして保存することができます。

CFカードに設定データを保存し、システムマネージャーSX-2000SMにCFカードを挿入して設定データを読み込ませます。

また、SX-2000SMとパソコンを通信接続することにより、オンラインで設定データの送受信を行ったり、システムの動作状態や履歴を確認することもできます。

用語・機能の説明

● パターン

パターンとは、いくつかの設定項目の設定状態を組み合わせ、1つのまとまりにした単位です。

例えば、各種放送のパターンでは、入力音源、放送ゾーンの設定状態などの組み合わせを1つのまとまりにします。制御出力パターンでは制御出力をいくつかまとめてグループ化します。

設定した各種パターンは、他の種類のパターンを作成するときや、イベント設定で機能を割り当てるときの設定内容として使用します。

● イベント

イベントとは、制御入力端子に信号を入力する、機能キーを押すなどの操作により、設定した動作をさせることです。

端子またはキーによって、割り当てできる機能は異なります。

● 業務放送

業務放送には、リモートマイクからの呼び出し放送、時報チャイム放送、スポットCM放送などがあります。業務パターン放送は入力チャンネル、優先度、放送ゾーンなど業務放送パターンを設定し、これを次の方法で起動させることにより行われます。

- ・ SX-2000SM、SX-2100AI、SX-2000AO、SX-2000CIの制御入力で起動させる。
- ・ SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOの機能キーまたはチャンネルキーを押して起動させる。
- ・ RM-200S、RM-200SA、RM-210のキーを押して起動させる。

制御入力により起動する放送は、各入力機器（マイク、音声ファイルなど）から音声信号と制御信号がSX-2000システムに入力され、制御信号がONになると動作します。

業務パターン放送をするためには、次の手順で各設定をSX-2000設定ソフトウェア上で行ってください。

業務パターン放送を行う出力ゾーンを設定する。

出力ゾーンパターンを使用するときは出力ゾーンの「パターン設定」で行う。

出力ゾーンパターン設定

No.

名称

	Zone1	Zone2	Zone3
A01	A01-ZONE1	A01-ZONE2	A01-ZONE3

個別に設定するときは業務放送の「パターン設定」で行う。

業務放送パターンを設定する。

「パターン設定」で行う。

業務放送パターン設定

No.

名称

音源

出力先 ☐ 個別 ☒ パターン

	Zone1	Zone2	Zone3
A01	A01-ZONE1	A01-ZONE2	A01-ZONE3

制御入力またはキーの操作に連動する制御出力を設定する。*

「パターン設定」で行う。

* この設定は必要に応じて
行ってください。

制御出力パターン設定

No.

名称

SM	SM-COUT1	SM-COUT2	SM-COUT3
AI1	AI1-COUT1	AI1-COUT2	AI1-COUT3
	AI1-COUT9	AI1-COUT10	AI1-COUT11

業務放送パターンと制御出力パターンを機器の制御入力・キーまたはリモートマイクのキーに設定する。

「イベント設定」で行う。

SYS1	SYSKEY1	業務パターン放送	001: General pattern 1	001: Control output pattern 1
------	---------	----------	------------------------	-------------------------------

[業務放送パターン設定例]

下表は、業務放送の音源と放送するゾーンのパターンを設定した例です。

出力ゾーンパターンは、複数の放送ゾーンをグループ化したものであり、1つのパターンを起動することにより、複数のゾーンに放送することができます。

• 出力ゾーンパターンの設定

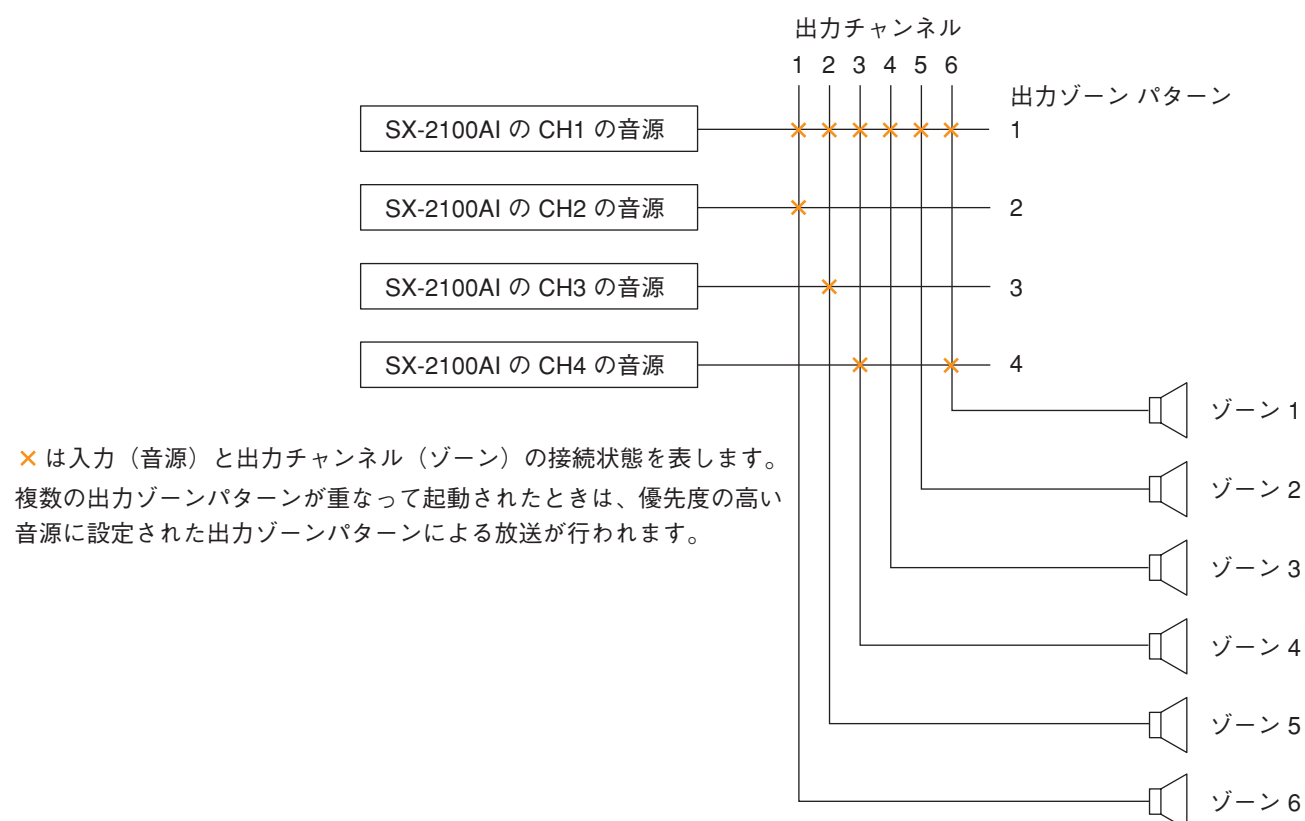
		ゾーン SX-2000AOの出力チャンネル					
		1	2	3	4	5	6
出力ゾーンパターン（番号）	1	○	○	○	○	○	○
	2	○					
	3		○				
	4			○			○

入力音源にはSX-2100AI（音声入力ユニット）の業務音源またはBGM音源となる入力チャンネル、ゾーンにはSX-2000AO（音声出力ユニット）の出力チャンネル（個別）または出力ゾーンパターンを指定します。

• 業務放送パターンの設定

		ゾーン 出力ゾーンパターン			
		1	2	3	4
入力音源 SX-2100AIの入力チャンネル（CH）	CH1	○			
	CH2		○		
	CH3			○	
	CH4				○

この業務パターンによる放送は下記ようになります。



● BGM放送

BGM放送機器から音声信号のみがSX-2000システムに接続されて行われる放送で、主に音楽が小音量で流されます。

BGM放送は入力チャンネル、放送ゾーンなどのBGMパターンを設定し、それを起動することにより行われます。1つのBGMパターンで複数のBGM音源を複数のゾーンへ出力する設定ができます。

設定されたBGMパターンはSX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOの前面パネルの機能キー、RM-200S、RM-200SA、RM-210のキー、またはSX-2000SM、SX-2100AI、SX-2000AO、SX-2000CIの制御入力（パルス入力）で起動させることができます。

BGMパターン放送をするためには、各設定をSX-2000設定ソフトウェア上で行ってください。設定の手順は業務パターン放送をするときと同様です。ただし、出力ゾーンパターンの設定は必要ありません。

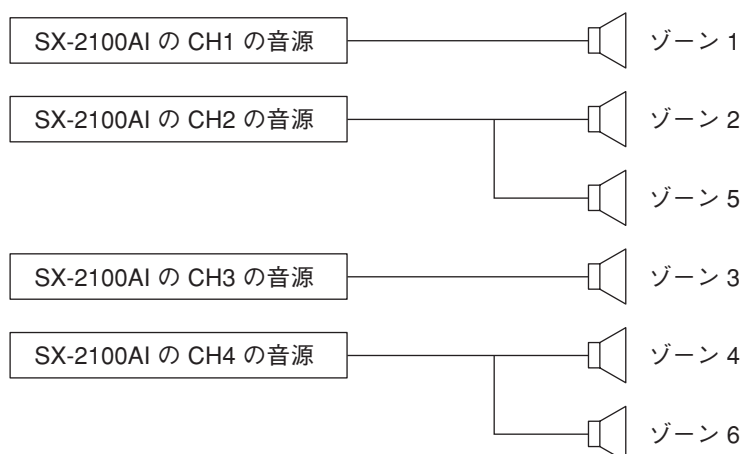
[BGMパターン設定例]

下表は、BGMの音源と放送するゾーンのパターンを設定した例です。

入力音源にはSX-2100AI（音声入力ユニット）のBGM音源となる入力チャンネル、ゾーンにはSX-2000AO（音声出力ユニット）の出力チャンネルを指定します。

		ゾーン SX-2000AOの出力チャンネル					
		1	2	3	4	5	6
入力音源 SX-2100AIの入力チャンネル（CH）	CH1	○					
	CH2		○			○	
	CH3			○			
	CH4				○		○

このパターンによる放送は下記ようになります。



● 緊急放送

緊急放送は、緊急シーケンス、出力ゾーン（個別またはパターン）、制御出力パターンの組み合わせを緊急放送パターンとして設定し、これをリモートマイクのキーまたはシステム機器の制御入力で起動することにより行われます。128種類の緊急放送パターンを設定することができます。

緊急シーケンスは、EVメッセージ（音源）とその放送時間との組み合わせを1つのフェーズとして設定し、最大3段階のフェーズで構成します。4種類の緊急シーケンスを設定することができます。

緊急シーケンス	第1フェーズ	第2フェーズ	第3フェーズ
	EVメッセージ + 放送時間	EVメッセージ + 放送時間	EVメッセージ + 放送時間

※ EVメッセージとは、エレクトロニック・ボイス・メッセージの略で、メッセージを音声ファイルとして録音したものです。

別途作成したものを設定ソフトウェア上で登録し、内容により「緊急1」「緊急2」「復旧」のタイプを設定します。「緊急1」と「緊急2」のEVメッセージは主に緊急事態であることを伝えるために用い、「復旧」のEVメッセージは緊急事態が終了したことを伝えるために用います。

SX-2000SMのCFカードに32種類のEVメッセージを持たせることができます。

出力ゾーンパターンは、複数の放送ゾーンをグループ化したものであり、1つのパターンを起動することにより、複数のゾーンに放送することができます。

同様に、制御出力パターンは複数の制御出力をグループ化したものであり、例えば緊急放送に連動して複数の制御出力を起動することができます。

出力ゾーンパターン	複数のゾーン
制御出力パターン	複数の制御出力

緊急放送機能を使用するには、次の手順で各設定をSX-2000設定ソフトウェア上で行ってください。

緊急放送機能を「使用する」に設定する。

「基本設定」で行う。

緊急放送機能

使用する

EVメッセージを登録する。

「システム設定」（システムマネージャー）で行う。

	音源ファイル			名称	タイプ	繰り返し設定	MIXING設定
1	登録	試聴	削除	緊急メッセージ1	緊急1		
2	登録				使用しない		
3	登録				緊急1		
4	登録				緊急2		
					復旧		
					業務		

次ページへ

前ページから

緊急放送を行う出力ゾーンを設定する。

「パターン設定」で行う。

出力ゾーンパターン設定

No.

名称

	Zone1	Zone2	Zone3
A01	<input type="button" value="A01-ZONE1"/>	<input type="button" value="A01-ZONE2"/>	<input type="button" value="A01-ZONE3"/>

緊急放送時に起動させる制御出力を設定する。*

「パターン設定」で行う。

* この設定は必要に応じて
行ってください。

制御出力パターン設定

No.

名称

SM	<input type="button" value="SM-COUT1"/>	<input type="button" value="SM-COUT2"/>	<input type="button" value="SM-COUT3"/>
AI1	<input type="button" value="AI1-COUT1"/>	<input type="button" value="AI1-COUT2"/>	<input type="button" value="AI1-COUT3"/>
	<input type="button" value="AI1-COUT9"/>	<input type="button" value="AI1-COUT10"/>	<input type="button" value="AI1-COUT11"/>

緊急シーケンスを設定する。

「パターン設定」で行う。

緊急シーケンス設定

No.

名称

第1フェーズ

メッセージ

継続時間(分)

緊急放送パターンを設定する。

「パターン設定」で行う。

緊急放送パターン設定

No.

名称

シーケンス

第1フェーズ

メッセージ

継続時間(分)

出力先 ☐ ☒

制御出力パターン

次ページへ

前ページから



緊急放送時に使用する各機能を機器の制御入力またはリモートマイクのキーに設定する。

「イベント設定」で行う。

4	A01-CIN4	緊急放送パターン起動	001: Emergency pattern 1	
5	A01-CIN5	緊急放送パターン停止	001: Emergency pattern 1	
6	A01-CIN6	緊急復旧	002: sign0003	001: Control output pattern 1

[緊急放送パターンの構成]

緊急放送 パターン	緊急 シーケンス	第 1 フェーズ	第 2 フェーズ	第 3 フェーズ
	出力ゾーン	個別または パターン(複数のゾーン)	個別または パターン(複数のゾーン)	個別または パターン(複数のゾーン)
	制御出力 パターン	複数の制御出力	複数の制御出力	複数の制御出力

[緊急放送の設定例]

• 緊急シーケンスの設定

緊急シーケンス 1	第 1 フェーズ	第 2 フェーズ	第 3 フェーズ
	EV メッセージ 1、5 分放送	EV メッセージ 2、連続放送	—

※ この例では第 3 フェーズは設定しません。

• EV メッセージの設定

メッセージ名称	音源ファイル	タイプ
EV メッセージ 1	sign001.wav	緊急 1
EV メッセージ 2	sign002.wav	緊急 2

• 出力ゾーンパターンの設定

		ゾーン SX-2000AOの出力チャンネル							
		1	2	3	4	5	6	7	8
出力ゾーンパターン（番号）	1	○							
	2	○	○	○	○	○	○	○	○

• 制御出力パターンの設定

制御出力パターン（番号）	1	SX-2000SMの制御出力1と2
	2	SX-2100AIの制御出力1と2

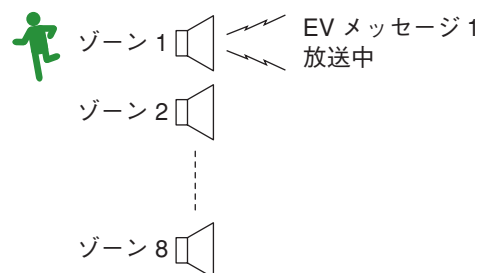
• 緊急放送パターンの設定

		緊急シーケンス 1		
		第 1 フェーズ	第 2 フェーズ	第 3 フェーズ
緊急放送 パターン 1	緊急 シーケンス	EV メッセージ 1、 5 分放送	EV メッセージ 2、 連続放送	———
	出力ゾーン	出力ゾーンパターン 1	出力ゾーンパターン 2	———
	制御出力 パターン	制御出力パターン 1	制御出力パターン 2	———

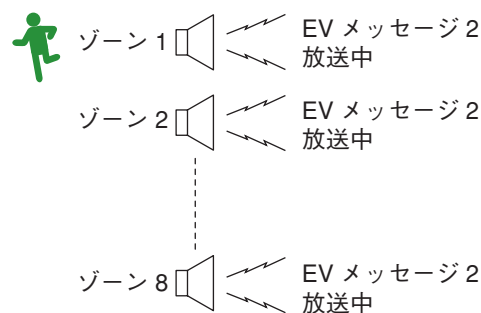
[動作例]

ゾーン1周辺で緊急事態が発生したと仮定します。

- ① ゾーン1の緊急ボタンが押され、SX-2000 システムの制御入力に信号を伝えます。
これにより、緊急放送パターン1が起動し、EV メッセージ 1がゾーン1に放送されます。
このとき、SX-2000SMの制御出力1と2がONになります。



- ② 5分経過後、第1フェーズから第2フェーズへ切り換わり、EV メッセージ2が全ゾーンに放送されます。
このとき、SX-2000SMの制御出力1と2がOFFになり、SX-2100AIの制御出力1と2がONになります。



● 故障検知機能

SX-2000 システム内の各機器の動作、機器間のケーブル接続・通信、電源など、入力から出力に至るまでの主要ポイントを常に監視し、動作不良やケーブルの断線が発生したときは、ブザーや表示でオペレーターにそれを知らせる機能です。外部機器の故障状態を取り込んで、知らせることもできます。

故障発生時には、SX-2000SMのキー、システム機器の制御入力端子、またはリモートマイクのキーを使って故障受理、故障リセットの操作をします。

故障検知のインターバル、故障検知の対象とする箇所、および故障発生時の動作などはSX-2000設定ソフトウェア上で設定します。

故障検知機能を使用するには、次の手順で各設定を行ってください。

故障検知機能を「使用する」に設定する。

「基本設定」で行う。

故障検知機能

使用する

各機器の故障検知ポイントを設定する。

「故障検知設定」で行う。

故障検知個別設定

SM	DC POWER	SX LINK	ANALOG LINK		DS LINK				
			1	2	1	2	1	2	3
ALL	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

AI1	DC POWER	SX LINK	ANALOG LINK OUT	RM				
				1	2	3	4	5
ALL	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

故障検知時に起動させる制御出力を設定する。*

「パターン設定」で行う。

制御出力パターン設定

No.

1

名称

Control output pattern 1

SM	SM-COUT1	SM-COUT2	SM-COUT3
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

AI1	AI1-COUT1	AI1-COUT2	AI1-COUT3
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	AI1-COUT9	AI1-COUT10	AI1-COUT11
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

外部機器の故障検知機能を制御入力に割り当てる。*

「イベント設定」で行う。

13	AI1-CIN13	外部故障入力	Breakで故障
----	-----------	--------	----------

* これらの設定は必要に応じて行ってください。

次ページへ

前ページから

システム内で故障検知の対象とする機器または故障検知ポイントを設定する。

「パターン設定」で行う。

故障パターン設定

No.

名称

SM	<input type="text" value="SM"/>
AI	<input type="text" value="AI1"/>
RM	<input type="text" value="Input1"/>
AI1	<input type="text" value="AI1-RM1"/>
AI2	<input type="text" value="AI1-RM2"/>

故障受理、故障状態のリセットの機能を機器の制御入力またはリモートマイクのキーに設定する。

「イベント設定」で行う。

7	AO1-CIN7	故障受理
8	AO1-CIN8	故障リセット

[故障パターンの構成]

故障パターン	故障検出対象	各機器、各故障検知ポイント (SX-2000 システムの各機器の故障検知ポイントは故障検知設定で個別に設定)
	外部故障入力	制御入力端子 (イベント設定で「外部故障入力」に設定された制御入力)
	故障状態出力	制御出力パターン (複数の制御出力)

[リモートマイクへの故障検知機能の設定例]

• 故障検知個別設定

	故障検出ポイント				
	電源	SXリンク	-----	制御入力1	-----
SX-2000SM	○	○	-----	○	-----
SX-2100AI (1)	○	○	-----	—	-----

• 制御出力パターンの設定

制御出力パターン (番号)	3	SX-2000SMの制御出力3と4
	4	SX-2100AIの制御出力3と4

• リモートマイクの機能キーの設定

キー	機能	内容		
機能キー 1	故障受理	故障 パターン 1	故障検出対象	SX-2000SM
			外部故障入力	なし
			故障状態出力	制御出力パターン 3
機能キー 2	故障受理	故障 パターン 2	故障検出対象	SX リンク
			外部故障入力	なし
			故障状態出力	制御出力パターン 4
機能キー 3	故障リセット	—		

設定にあたって

■ 動作環境

[必要環境]

● OS	: Windows XP SP2 以上、Windows Vista、Windows 7、Windows 10
● CPU	: 2 GHz 以上
● メモリー	: 1 GB 以上
● 必須コンポーネント	: Microsoft .Net Framework 3.51 * ¹
● アプリケーションソフトウェア	: Microsoft Excel * ² 、Windows Media Player 9.0 以上 * ³
● CF カードが読み書きできる環境	* ⁴

*¹ Windows 10 で使用する場合は、次の手順で設定画面を開き、このコンポーネントのチェックボックスボタンをオンにしてください。

① [コントロールパネル → プログラムと機能] を開く。

② 表示された画面の左側のリストから [Windows の機能の有効化または無効化] をクリックする。

*² SX-2000 設定ソフトウェアでラベル印刷するときが必要です。

Microsoft Excel のバージョンは、Windows XP SP2 の場合 2000 以上、Windows Vista の場合 2007 以上、Windows 7 または Windows10 の場合は 2010 以上のものをお使いください。

*³ SX-2000 設定ソフトウェアで EV メッセージを試聴するときが必要です。

*⁴ PC カードスロット + CF カードアダプター、外付けの CF カードリーダー/ライターなどが必要です。

※ Microsoft、Windows、Windows Vista、Excel、および Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

■ ご注意

● CF カードについて

[データの保存]

設定ソフトウェアで設定したデータを CF カードに保存する場合は、付属の CF カードを使用してください。設定ソフトウェアに関係のないファイルは、CF カードに保存しないでください。誤動作の原因となります。

[挿抜に関して]

設定データの読み書き中に CF カードを抜き差ししないでください。

設定データや CF カードが破損する可能性があります。

[その他]

他の機器で使用した CF カードは絶対に使用しないでください。

● ディスプレイについて

SX-2000 設定ソフトウェアは画面領域 1024 × 768 ピクセルのサイズで作成されています。

1024 × 768 ピクセル以下の画面領域を設定していた場合や表示ウィンドウをリサイズした場合、表示が切れるなどの可能性があります。

● 画面表示に関して

本書で説明している設定ソフトウェアの画面は表示例です。お使いの設定用パソコンの環境によって異なる場合があります。

■ 設定の手順

● オフラインで行う場合

SX-2000 設定ソフトウェアですべての設定をする。

設定データをファイル出力し、CF カードに保存する。

☞ P. 160 「設定ファイルを保存する」

SX-2000SM に CF カードを挿入し、設定データを読み込ませる。

☞ 別冊の設置説明書「CF カードを挿入する」

● オンラインで行う場合

オンラインで設定する場合は、次の手順で行うことをお勧めします。

SX-2000 システムの各機器を接続する。(SX-2000SM に CF カードを挿入しておく。)

☞ 詳しくは、別冊の設置説明書をお読みください。

SX-2000SM と、SX-2000 設定ソフトウェアをインストールしたパソコンを
ケーブルで接続する。

☞ P. 149 「SX-2000SM とパソコンを通信接続する」の手順1

SX-2000 設定ソフトウェアで、SX-2000SM のネットワーク設定をする。

☞ P. 29 「基本設定」の「3. ネットワーク設定」

☞ P. 31 「SX-2000SM のネットワーク設定を検出する」

☞ P. 38 「SX-2000SM のネットワーク設定を変更する」

SX-2000SM とパソコンを通信接続する。

☞ P. 149 「SX-2000SM とパソコンを通信接続する」の手順2

コンフィグレーション受信をして、システムの構成を取得する。

☞ P. 155 「システムの構成をオンラインで取得する」

システムの構成以外の設定をする。

パソコンから CF カードに設定データをオンラインで書き込む。

☞ P. 153 「CF カードに設定データをオンラインで書き込む」

設定ソフトウェアの準備

ご注意

インストールの前には、すべてのアプリケーションを終了させてください。
インストールを行うとき、設定用パソコンには管理者アカウントでログオンしてください。

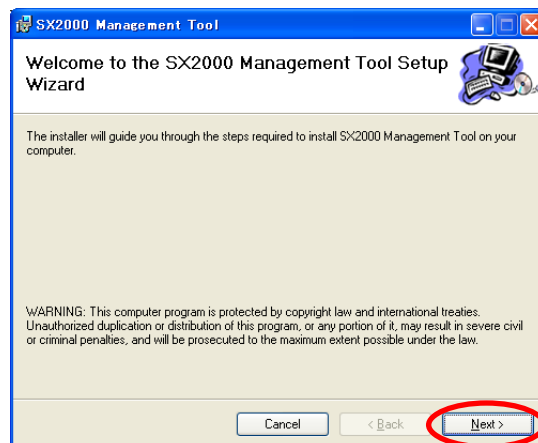
■ 設定ソフトウェアをインストールする

- 1 SX-2000SMに付属されているCDの「SettingSoftware」フォルダー内の「setup.exe」ファイルをクリックする。

インストール画面が表示されます。

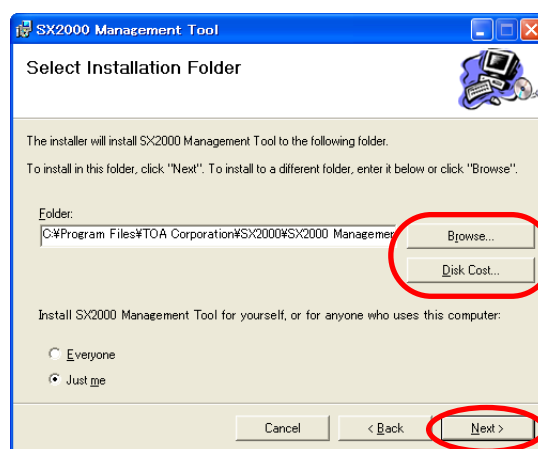
ご注意

インストール画面が表示されない場合があります。
詳しくは、[次ページ](#)をお読みください。



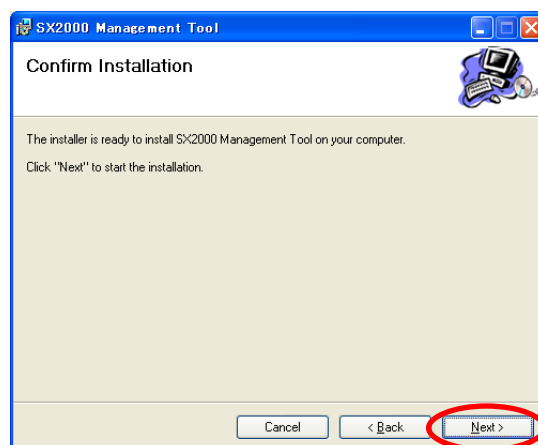
- 2 [Next] ボタンを押す。

インストール先のフォルダー選択画面が表示されます。



- 3 必要に応じてインストール先のフォルダーを変更し、[Next] ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

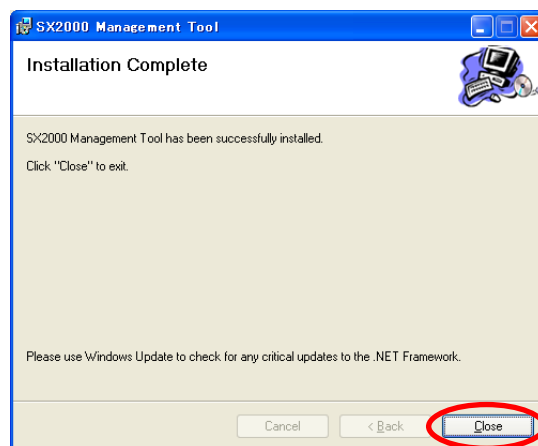


- 4 [Next] ボタンを押す。

インストールが開始されます。

5 インストール完了画面が表示されたら、 [Close] ボタンを押す。

これでインストールは完了です。



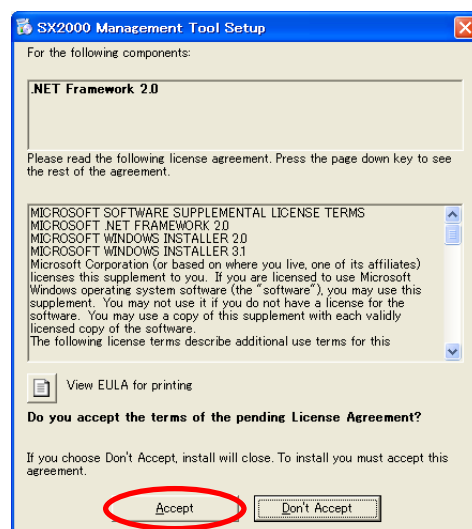
[インストール画面が表示されない場合]

手順1の操作をしたときに、右のような画面が表示されることがあります。

その場合は、SX-2000設定ソフトウェアを動作させるために必要なソフトウェアを次の手順でインストールしてください。

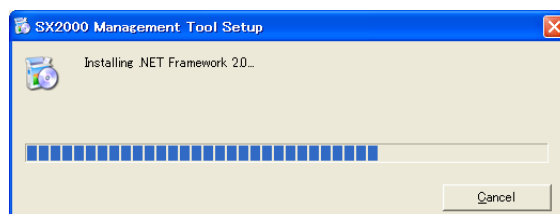
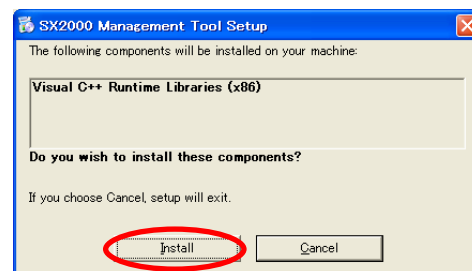
1 [Accept] ボタンを押す。

ソフトウェアをインストールするための画面が表示されます。



2 [Install] ボタンを押す。

インストール作業中の画面が表示されます。

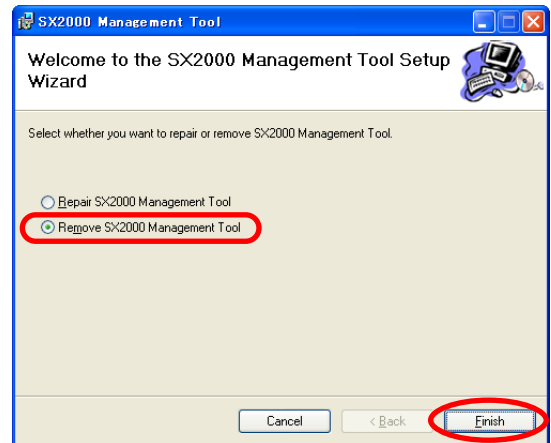


インストールが完了すると、インストール画面が表示されますので、[前ページ](#)の手順どおりに進めてください。

■ 設定ソフトウェアをアンインストールする

- 1 SX-2000SMに付属されているCDの「SettingSoftware」フォルダー内の「setup.exe」ファイルをクリックする。

セットアップ画面が表示されます。

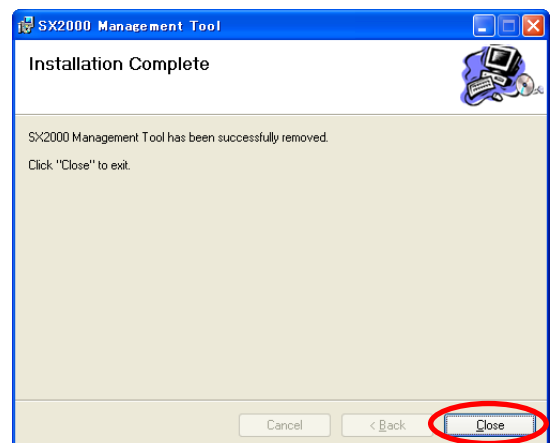


- 2 「Remove SX2000 Management Tool」を選択し、[Finish] ボタンを押す。

アンインストールが開始されます。

- 3 アンインストール完了画面が表示されたら、[Close] ボタンを押す。

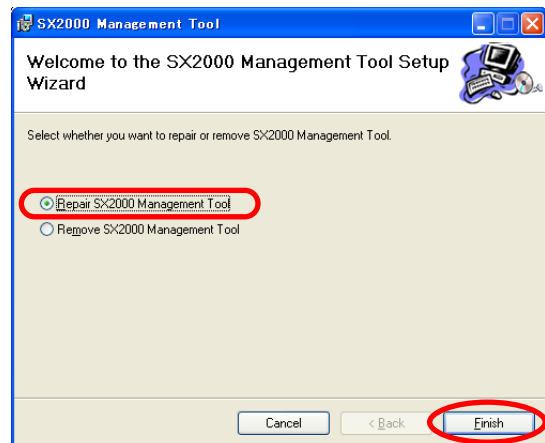
これでアンインストールは完了です。



■ 設定ソフトウェアをアップデートする

- 1 SX-2000SMに付属されているCDの「SettingSoftware」フォルダー内の「setup.exe」ファイルをクリックする。

セットアップ画面が表示されます。

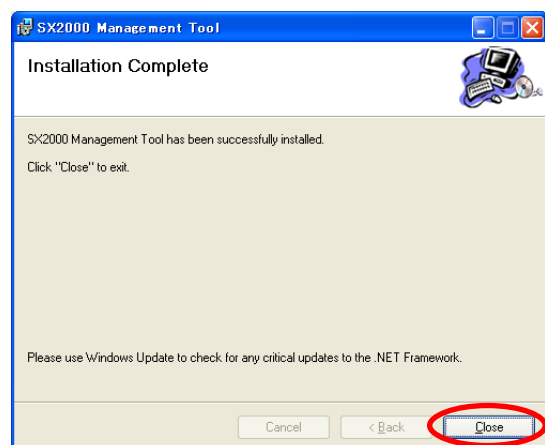


- 2 「Repair SX2000 Management Tool」を選択し、[Finish] ボタンを押す。

インストールが開始されます。

- 3 インストール完了画面が表示されたら、[Close] ボタンを押す。

これでアップデートは完了です。



設定ソフトウェアの起動

■ 設定ソフトウェアを起動する

パソコンのスタートメニューから「TOA Matrix Series → SX2000」を選択するか、デスクトップ上のショートカットをダブルクリックする。

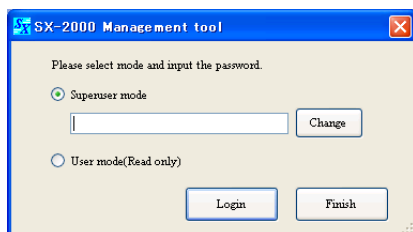
スタートメニュー



デスクトップ上のショートカットアイコン



ログイン画面が表示されます。



SX-2000設定ソフトウェアにはSuperuserモードとUserモードがあり、ログインのしかたが異なります。

Superuserモードとは、設定データを新規作成したり、あらかじめ設定されたデータを編集することができるモードのことです。

Superuserモードでログインするにはパスワードの入力が必要です。パスワードの変更もログイン画面で行えます。

Userモードとは、設定データの変更ができないモードのことです。

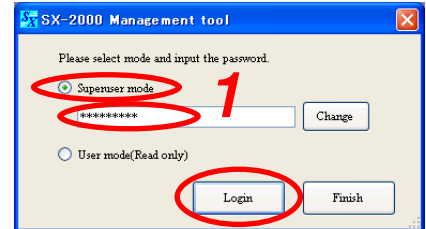
設定内容の確認、設定データの読み込みや印刷、リモートマイクのラベル印刷など、設定データの変更を伴わない操作は可能です。

■ Superuserモードでログインする

● ログインのしかた

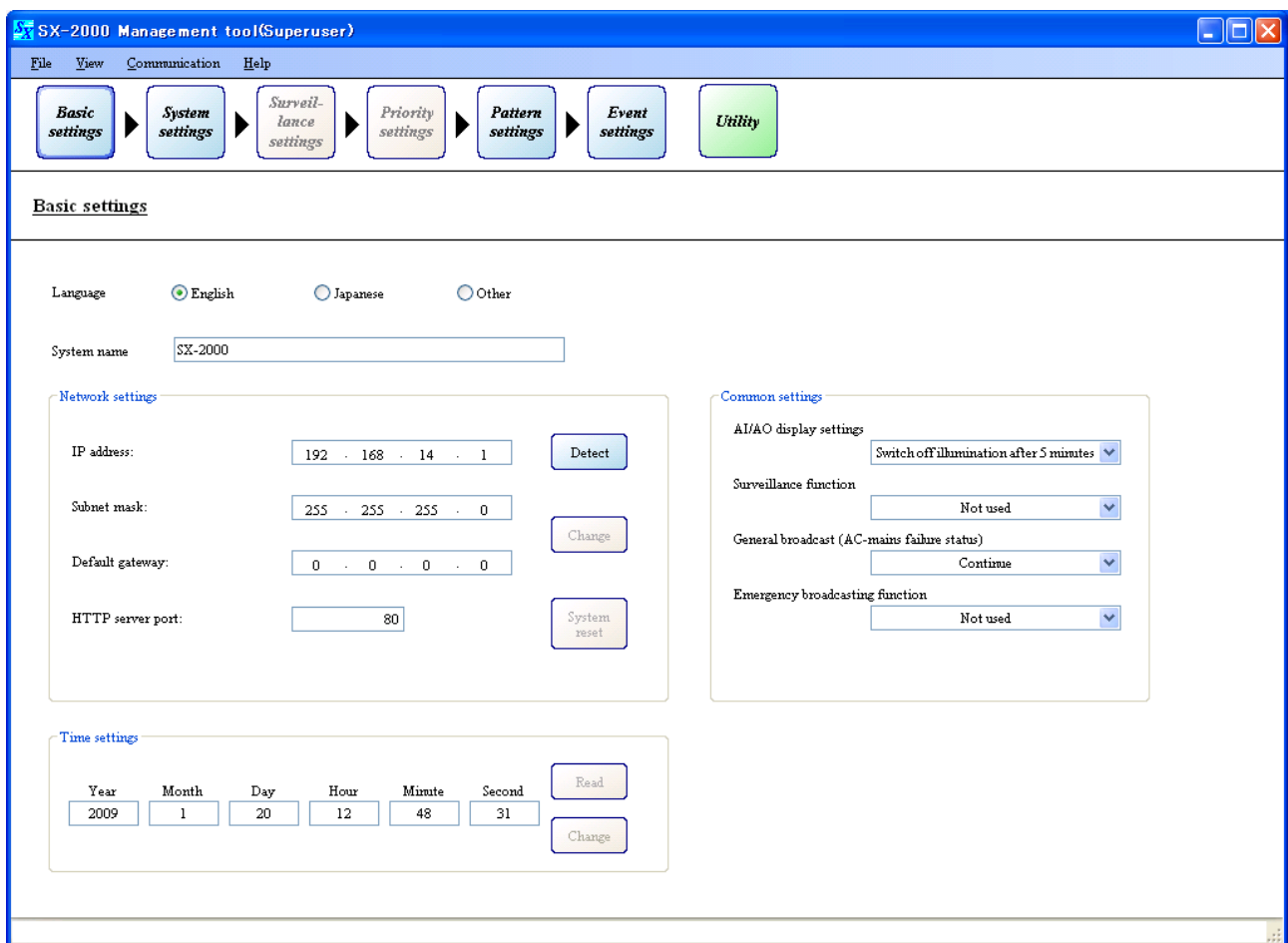
1 ログイン画面で「Superuser mode」を選択し、パスワードを入力する。

※ 初期設定ではパスワードは「Superuser」になっています。
大文字、小文字を区別して入力してください。



2 [Login] ボタンを押す。

設定ソフトウェアの初期画面が表示されます。

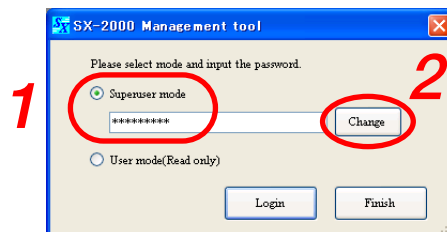


※ 「Language」で「Japanese」を選択すると、画面の表示が日本語に変わります。

● パスワードを変更するとき

- 1 ログイン画面で「Superuser mode」を選択し、
変更する前のパスワードを入力する。

※ 初期設定ではパスワードは「Superuser」になっています。
大文字、小文字を区別して入力してください。

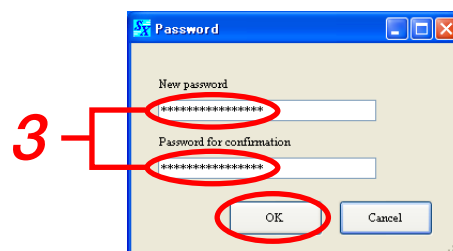


- 2 [Change] ボタンを押す。

パスワード変更画面が表示されます。

- 3 New passwordの欄に任意のパスワードを入力し、
それと同じパスワードを Password for confirmation
の欄にも入力する。

※ 半角16文字以内で入力してください。
大文字、小文字は区別します。

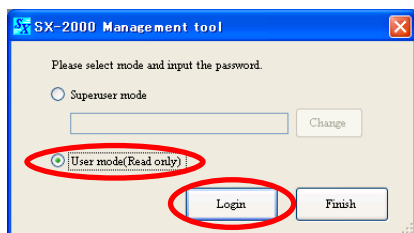


- 4 [OK] ボタンを押す。

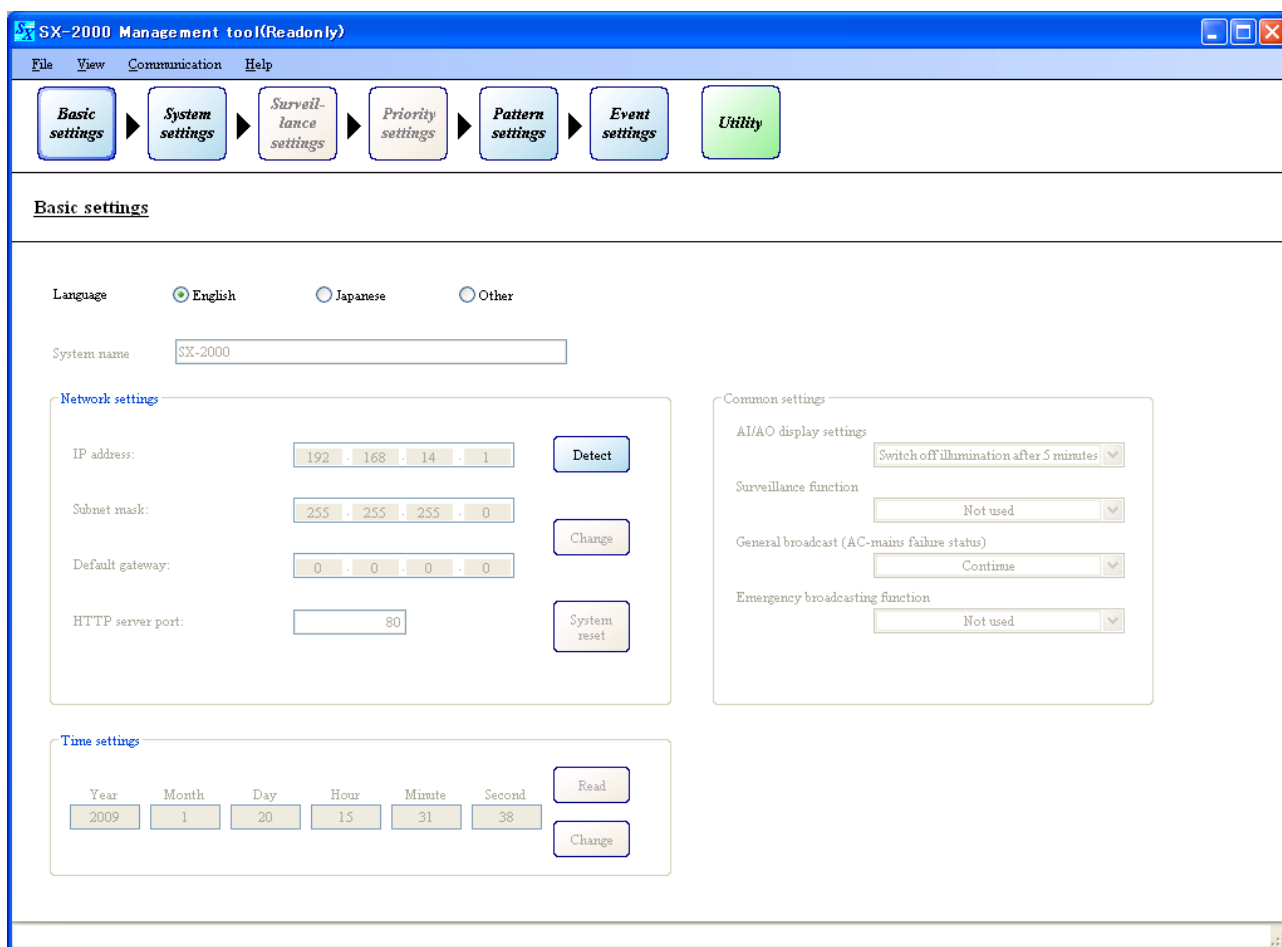
ログイン画面に戻ります。

■ Userモードでログインする

ログイン画面で「User mode (Read only)」を選択し、[Login] ボタンを押す。



設定ソフトウェアの初期画面が表示されます。
灰色で表示されている部分は変更できません。



※ 「Language」で「Japanese」を選択すると、画面の表示が日本語に変わります。

※ UserモードからSupersuserモードへ切り換える場合は、設定ソフトウェアを終了させてから再起動し、Supersuserモードでログインしてください。

設定の項目

設定画面左上に表示されているのが、メニュー項目です。

「基本設定」から「イベント設定」まで、メニュー項目の左から順番に設定していきます。

メニュー項目をクリックすると、各項目の設定画面が表示されますので、画面内の上の項目から順番に設定してください。

メニュー項目

The screenshot shows the 'SX-2000 Management tool(Superuser)' window. At the top, there is a menu bar with 'ファイル(F)', '表示(V)', '通信(C)', and 'ヘルプ(H)'. Below the menu bar is a row of menu items: '基本設定', 'システム設定', '故障検知設定', '優先度設定', 'パターン設定', 'イベント設定', and 'ユーティリティ'. A red box highlights the first six items, and a red line points from the 'メニュー項目' label to this row. The '基本設定' (Basic Settings) screen is displayed below the menu. It includes a language selection section with radio buttons for 'English', 'Japanese' (selected), and 'Other'. The 'システム名称' (System Name) is set to 'SX-2000'. The 'ネットワーク設定' (Network Settings) section includes fields for 'IP アドレス' (192.168.14.1), 'サブネットマスク' (255.255.255.0), 'デフォルトゲートウェイ' (0.0.0.0), and 'HTTPサーバーポート' (80), with buttons for '検出', '変更', and 'システムリセット'. The '共通設定' (Common Settings) section includes dropdown menus for 'AI/AO表示設定' (5分後消灯), '故障検知機能' (使用する), '停電時の業務放送' (継続), '緊急放送機能' (使用する), and '緊急RM放送後のゾーンのEVメッセージ' (有効). The '時刻設定' (Time Setting) section includes fields for year (2008), month (12), day (1), hour (9), minute (25), and second (1), with buttons for '読込' and '変更'.

■ メニュー構成

基本設定 (P. 29)	言語設定 (P. 29)	ソフトウェアの表示言語を選択します。
	システム名称設定 (P. 29)	システム名称を設定します。
	ネットワーク設定 (P. 29)	SX-2000SMのネットワーク設定をします。
	共通設定 (P. 30)	SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOの表示、故障検知、緊急放送の設定をします。
	時刻設定 (P. 30)	SX-2000SMの時刻設定をします。
システム設定 (P. 44)	SX-2000SM (P. 45)	制御入出力の名称設定、EVメッセージの設定をします。
	SX-2000AI、SX-2100AI (P. 50)	SX-2000AI、SX-2100AIに使用するモジュールの基本構成、制御入出力の名称を設定します。
	RM-200S、RM-200SA (P. 55)	機能設定、名称の設定をします。
	SX-2000AO (P. 58)	SX-2000AOの音声出力の基本構成、制御入出力の名称を設定します。
	SX-2000CI (P. 62)	制御入力 of 名称を設定します。
	SX-2000CO (P. 64)	制御出力 of 名称を設定します。
故障検知設定 (P. 66)	インターバル設定 (P. 66)	外部機器の故障状態を確認する時刻とそのインターバルを設定します。
	故障検知個別設定 (P. 67)	各ユニットの故障検知の個別設定をします。
優先度設定 (P. 68)	優先度設定 (P. 68)	業務・緊急・BGM放送の優先度を設定します。
パターン設定 (P. 71)	出力ゾーンパターン設定 (P. 74)	放送するゾーンを出力ゾーンパターンとして設定します。
	BGMパターン設定 (P. 75)	BGM放送をするゾーンをBGMパターンとして設定します。
	業務放送パターン設定 (P. 76)	業務放送をするゾーンを業務放送パターンとして設定します。
	制御出力パターン設定 (P. 78)	制御出力パターンとして使用する制御出力を設定します。
	緊急シーケンス設定 (P. 79)	緊急シーケンスを設定します。
	緊急放送パターン設定 (P. 80)	緊急シーケンス、出力ゾーン、制御出力パターンを緊急放送パターンとして登録します。
	故障パターン設定 (P. 82)	故障検知を行う箇所を故障パターンとして設定します。
イベント設定 (P. 84)	システムイベント設定 (P. 97)	緊急放送状態のときの制御出力パターンを設定します。
	SMイベント設定 (P. 98)	SX-2000SMの制御入力 of 機能を設定します。
	AIイベント設定 (P. 102)	SX-2000AI、SX-2100AIの制御入力、機能キー、チャンネルキー of 機能を設定します。
	AOイベント設定 (P. 106)	SX-2000AOの制御入力、機能キー、チャンネルキー of 機能を設定します。
	RMイベント設定 (P. 108)	リモートマイクのキー of 機能を設定します。
	CIイベント設定 (P. 113)	SX-2000CIの制御入力 of 機能を設定します。
ユーティリティ (P. 114)	履歴ファイル表示 (P. 115)	CFカードの履歴情報の表示、履歴データの出力をします。
	オンライン履歴 (P. 119)	履歴データをオンラインで表示します。
	システム状態 (P. 122)	システムの構成や故障状態をオンラインで表示します。
	音声入出力状態 (P. 141)	音声の入出力状態をオンラインで表示します。
	制御入出力状態 (P. 145)	制御入出力状態をオンラインで表示します。

■ メニューバーの項目と解説


● ファイル (F)

- 新規作成 (N) : SX-2000 設定ソフトウェアのデータを新規作成します。
- 開く (O) : SX-2000 設定ソフトウェアのデータを読み込みます。
- 保存 (S) : 編集中のSX-2000 設定ソフトウェアのデータを保存します。
- データ出力 (P)
- 設定データ (C) : 設定データを csv 形式で出力します。
 - RM ラベル (L) : RM-200S、RM-200SA、RM-210 のラベル作成用のデータを xls 形式で出力します。
- 閉じる (X) : SX-2000 設定ソフトウェアを終了します。

● 表示 (V)

- 基本設定 (B) : 基本設定の画面に移動します。
- システム設定 (S) : システム設定の画面に移動します。
- 故障検知設定 (V) : 故障検知設定の画面に移動します。
- 優先度設定 (P) : 優先度設定の画面に移動します。
- パターン設定 (A) : パターン設定の画面に移動します。
- イベント設定 (E) : イベント設定の画面に移動します。
- ユーティリティ (U) : ユーティリティの画面に移動します。
- モジュールBOX (M) : システム設定画面中のモジュールBOXの表示、非表示を切り換えます。
- RM BOX (R) : システム設定画面中の RM BOX の表示、非表示を切り換えます。
- ユニットBOX (U) : システム設定画面中のユニットBOXの表示、非表示を切り換えます。

● 通信 (C)

- 接続 (C) (F5) : SX-2000SM とパソコンを通信接続します。
( P. 149 「SX-2000SM とパソコンを通信接続する」)
- 切断 (D) (Shift + F5) : SX-2000SM とパソコンの通信を切断します。
- SX CF オンライン読み込み (SX->PC) (R) : CF カード内の設定データを読み込みます。
- SX CF オンライン書き込み (PC->SX) (W) : CF カードに設定データを書き込みます。
- コンフィグレーション受信 (S) : 現在のシステム構成を受信します。
- 全履歴ファイル取得 (L) : CF カード内の全履歴データを取得します。

● ヘルプ (H)

- バージョン情報 (A) : SX-2000 設定ソフトウェアのバージョン情報を表示します。

基本設定

メニュー項目の「基本設定」ボタンをクリックすると、基本設定画面が表示されます。

The screenshot shows the 'SX-2000 Management tool(Superuser)' window. The menu bar includes 'ファイル(F)', '表示(V)', '通信(C)', and 'ヘルプ(H)'. The '基本設定' button is circled in red and labeled 1. Below the menu bar, there are buttons for 'システム設定', '故障検知設定', '優先度設定', 'パターン設定', 'イベント設定', and 'ユーティリティ'. The '基本設定' section is highlighted. It contains the following settings:

- 言語 (1):** Radio buttons for 'English', 'Japanese' (selected), and 'Other'.
- システム名称 (2):** Text field containing 'SX-2000'.
- ネットワーク設定 (3):**
 - IP アドレス: 192 . 168 . 14 . 1 (検出)
 - サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0 (変更)
 - デフォルトゲートウェイ: 0 . 0 . 0 . 0
 - HTTPサーバーポート: 80 (システムリセット)
- 共通設定 (4):**
 - AI/AO表示設定: 5分後消灯
 - 故障検知機能: 使用する
 - 停電時の業務放送: 継続
 - 緊急放送機能: 使用する
 - 緊急RM放送後のゾーンのEVメッセージ: 有効
- 時刻設定 (5):**
 - 年: 2008, 月: 12, 日: 1, 時: 9, 分: 25, 秒: 1 (読込, 変更)

1. 言語設定

設定ソフトウェアで使用する言語を「英語 (English)」、「日本語 (Japanese)」、「その他 (Other)」から選択します。

※ 「その他 (Other)」は使用しません。

設定範囲	English (デフォルト)、Japanese、Other
------	--------------------------------

2. システム名称設定

システムの名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字 (デフォルト: SX-2000)
------	--------------------------------

3. ネットワーク設定

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPサーバーポートを設定します。ネットワーク設定は、オンライン接続時に使用します。接続するパソコンのネットワーク環境に合わせて設定してください。詳しくは、ネットワーク管理者にご確認ください。

※ デフォルトは、次のとおりです。

- IPアドレス : 192.168.14.1
- サブネットマスク : 255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイ : 0.0.0.0
- HTTPサーバーポート : 80

SX-2000SMとパソコンを接続することで、SX-2000SMのネットワーク設定を取得し、変更することができます。(P. 31「SX-2000SMのネットワーク設定を検出する」、P. 38「SX-2000SMのネットワーク設定を変更する」)

4. 共通設定

● AI/AO表示設定

SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOの蛍光表示管（VFD）の消灯時間を選択します。

設定範囲	5分後消灯（デフォルト）、常時点灯
------	-------------------

VFDを「5分後消灯」に設定した場合、5分間操作が行われないと、画面は自動的に消灯します。前面パネルの機能キー以外のいずれかのキーを押すと、画面表示は復帰します。

● ご注意

VFDは消耗品です。

経年変化により、表示が見えにくくなります。

常時点灯させると経年変化が早くなりますので、通常は「5分後消灯」に設定してください。

● 故障検知機能

SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AO、SX-2000CI、SX-2000CO、RM-200SAの各部の故障検知機能を使用するか、しないかを設定します。

設定範囲	使用しない（デフォルト）、使用する
------	-------------------

● 停電時の業務放送


※ この設定項目は海外向けシステムにのみ適用します。デフォルト設定のままで変更しないでください。

● 緊急放送機能

緊急放送機能を使用するか、しないかを設定します。

設定範囲	使用しない（デフォルト）、使用する
------	-------------------


● 緊急RM放送後のゾーンのEVメッセージ

緊急放送パターンの起動中にリモートマイクから緊急放送をした後のゾーンのEVメッセージ（緊急放送の音源として登録されたメッセージの放送  P. 46）の有効／無効を設定します。

設定範囲	有効（デフォルト）、無効
------	--------------

※ この機能は、緊急放送機能を「使用する」に設定した場合のみ設定できます。

5. 時刻設定

年、月、日、時、分、秒を設定します。（ P. 42）

■ SX-2000SMのネットワーク設定を検出する

SX-2000SMとパソコンを接続することで、SX-2000SMのネットワーク設定を取得することができます。

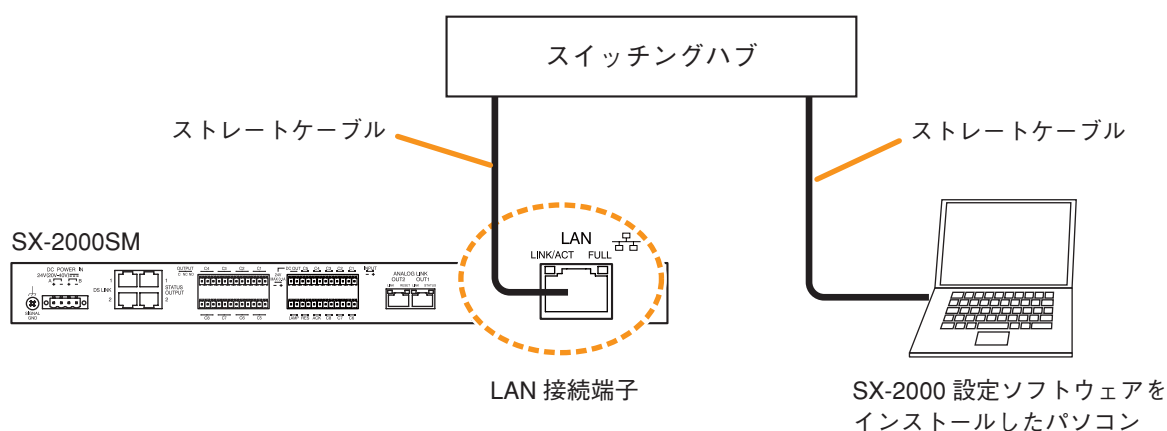
● スイッチングハブに接続されているSX-2000SMが1台の場合

1 SX-2000SMと、SX-2000設定ソフトウェアをインストールしたパソコンをスイッチングハブに接続する。

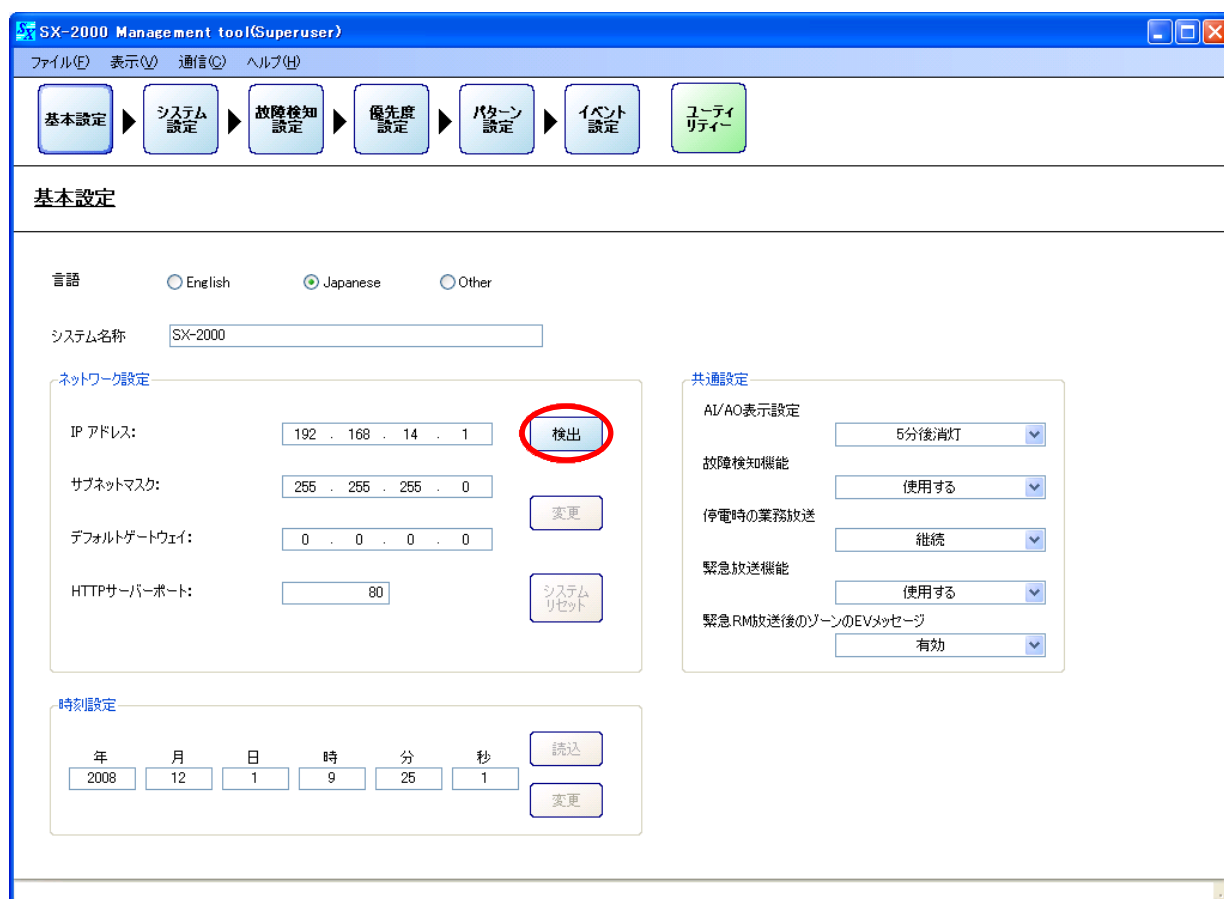
SX-2000SMのLAN接続端子を10BASE-T/100BASE-TXに対応したスイッチングハブに接続します。
RJ45コネクタ付きSTPカテゴリー5規格のストレートケーブルを使用してください。

ご注意

- スイッチングハブをLANに接続しないでください。
- SX-2000SMを直接、パソコンにクロスケーブルで接続することはやめてください。



2 [検出] ボタンをクリックする。



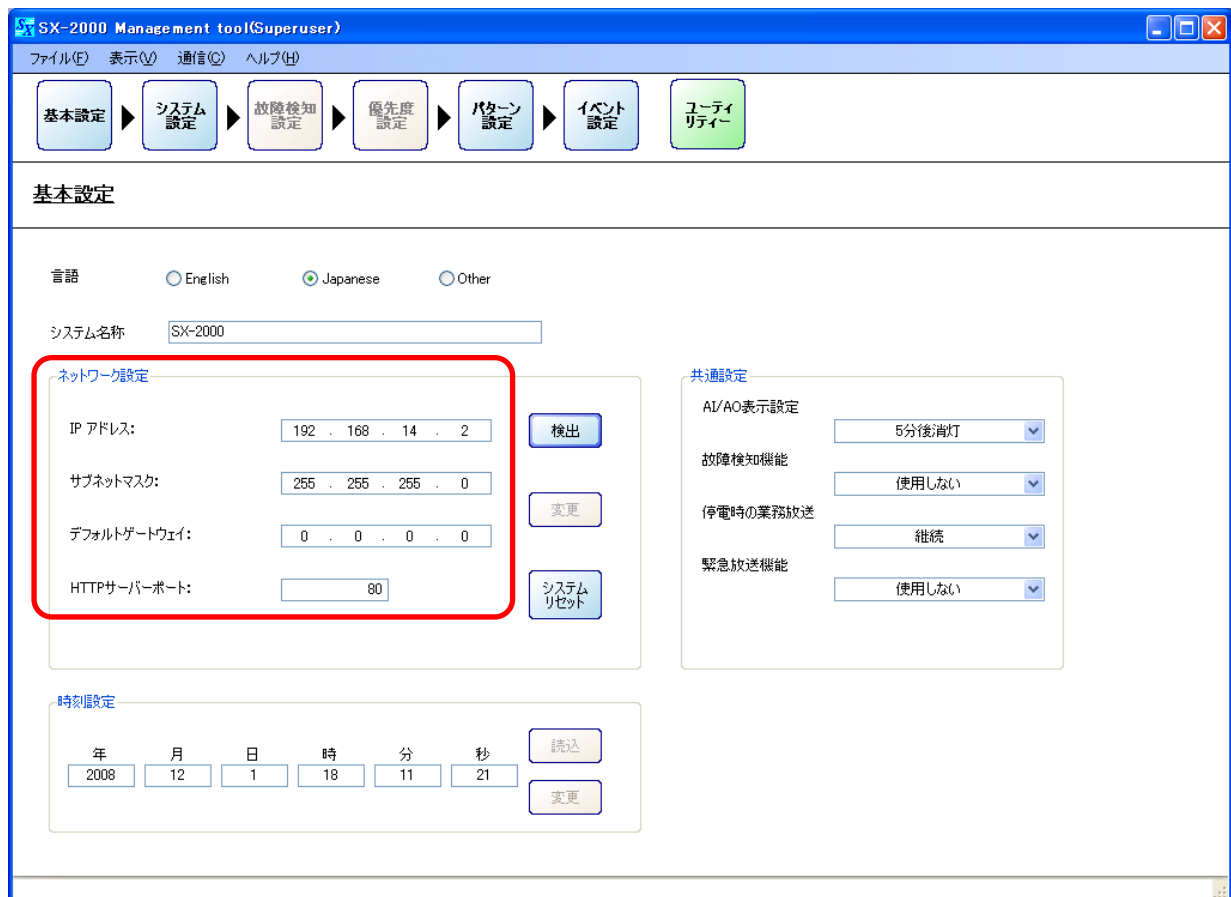
通信を開始します。通信中は、次の画面が表示されます。



通信中に [キャンセル] ボタンを押すと、次の画面が表示されます。



通信完了後、検出されたSX-2000SMのネットワーク設定が表示されます。



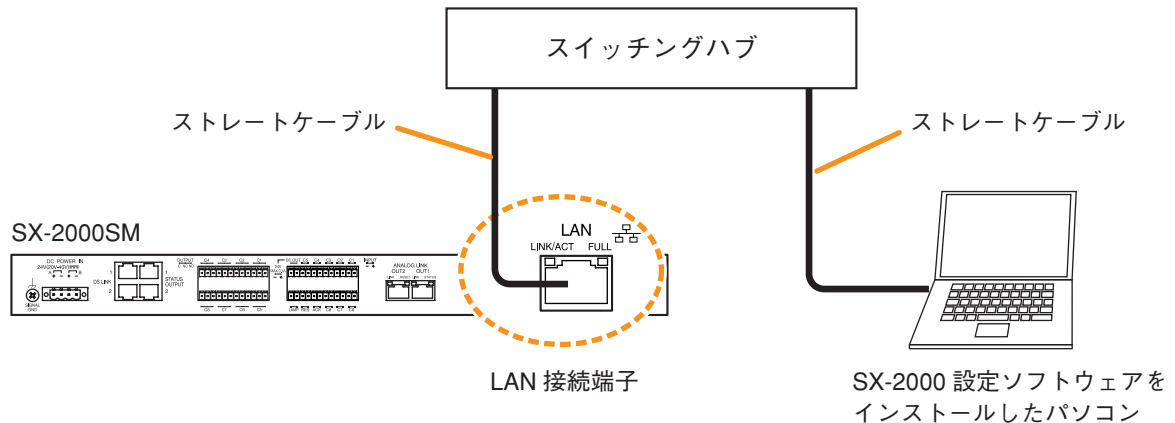
● パソコンに複数のネットワークが設定されている場合

1 SX-2000SMと、SX-2000設定ソフトウェアをインストールしたパソコンをスイッチングハブに接続する。

SX-2000SMのLAN接続端子を10BASE-T/100BASE-TXに対応したスイッチングハブに接続します。RJ45コネクター付きSTPカテゴリ5規格のストレートケーブルを使用してください。

ご注意

- スwitchングハブをLANに接続しないでください。
- SX-2000SMを直接、パソコンにクロスケーブルで接続することはやめてください。



2 [検出] ボタンをクリックする。

SX-2000 Management tool(Superuser)

ファイル(F) 表示(V) 通信(C) ヘルプ(H)

基本設定 ▶ システム設定 ▶ 故障検知設定 ▶ 優先度設定 ▶ パターン設定 ▶ イベント設定 ▶ ユーティリティ

基本設定

言語 ☐ English ☒ Japanese ☐ Other

システム名称

ネットワーク設定

IP アドレス: 検出

サブネットマスク: 変更

デフォルトゲートウェイ: システムリセット

HTTPサーバーポート:

共通設定

AI/AO表示設定 ▼

故障検知機能 ▼

停電時の業務放送 ▼

緊急放送機能 ▼

緊急RM放送後のゾーンのEVメッセージ ▼

時刻設定

年 月 日 時 分 秒 読込

変更

通信を開始します。通信中は、次の画面が表示されます。



通信中に [キャンセル] ボタンを押すと、次の画面が表示されます。



通信完了後、IP アドレスを選択する画面が表示されます。



3 使用するIPアドレスを選択し、[OK] ボタンをクリックする。



検出されたSX-2000SMのネットワーク設定が表示されます。

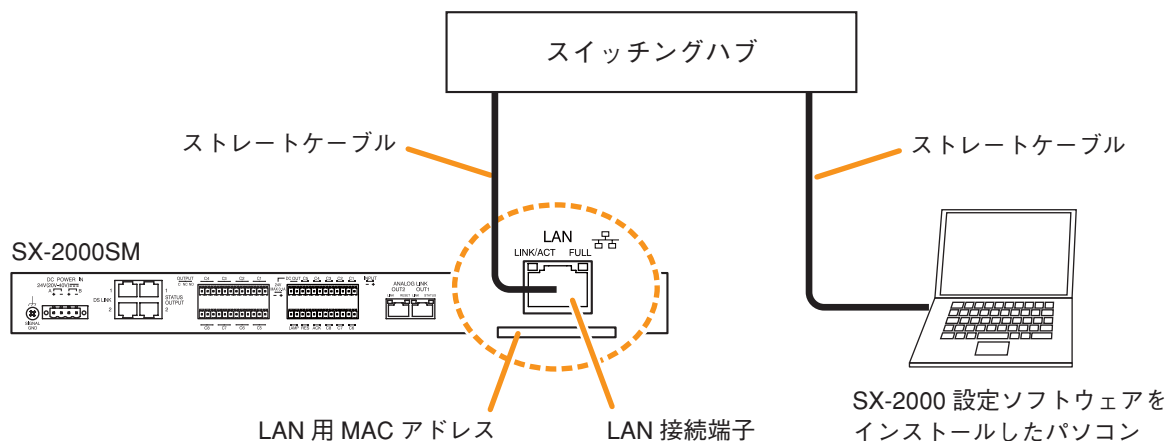
● スイッチングハブに接続されているSX-2000SMが複数台の場合

1 SX-2000SMと、SX-2000設定ソフトウェアをインストールしたパソコンをスイッチングハブに接続する。

SX-2000SMのLAN接続端子を10BASE-T/100BASE-TXに対応したスイッチングハブに接続します。RJ45コネクター付きSTPカテゴリ5規格のストレートケーブルを使用してください。

ご注意

- スイッチングハブをLANに接続しないでください。
- SX-2000SMを直接、パソコンにクロスケーブルで接続することはやめてください。



2 [検出] ボタンをクリックする。

通信を開始します。通信中は、次の画面が表示されます。



通信中に [キャンセル] ボタンを押すと、次の画面が表示されます。



通信完了後、MACアドレスを選択する画面が表示されます。



- 3** 検出したいSX-2000SMのMACアドレスを選択し、[OK] ボタンをクリックする。
SX-2000SM後面のLAN用MACアドレスを参照してください。



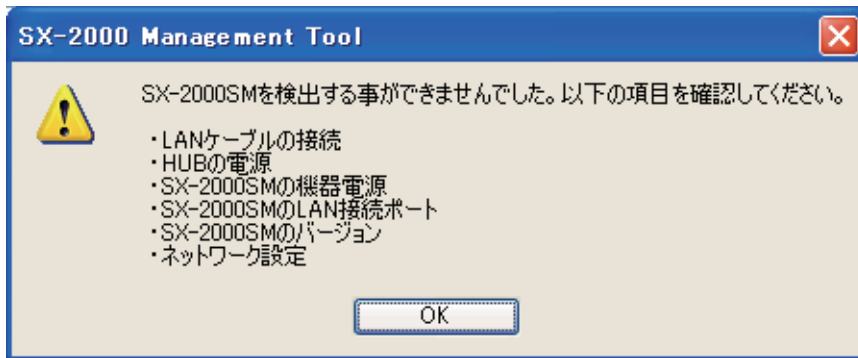
検出されたSX-2000SMのネットワーク設定が表示されます。

ご注意

スイッチングハブに接続されているSX-2000SMの中で、IPアドレスが重複していると、パソコンとの通信接続（[P. 149](#)）が正しく行えない可能性があります。
すべてのSX-2000SMのIPアドレスを確認し、重複しているときは、手順3の後、まずネットワークの設定を変更してください。（[P. 38](#)「SX-2000SMのネットワーク設定を変更する」）
すべてのSX-2000SMに異なるIPアドレスを設定した後、通信接続を行ってください。

● 検出ができなかった場合

SX-2000SM のネットワーク設定を検出できなかったときは、次の画面が表示されます。



このような表示が出たら、以下の原因が考えられます。

LAN ケーブルの接続	LAN ケーブルが接続されていない。
	クロスケーブルとストレートケーブルを間違えて接続している。
	RJ45 コネクター付き STP カテゴリー 5 規格のストレートケーブルを使用していない。
HUB の電源	スイッチングハブに電源が投入されていない。
	SX-2000SM とスイッチングハブの距離が 100 m 以上離れている。
SX-2000SM の機器電源	SX-2000SM に電源が給電されていない。
SX-2000SM の LAN 接続ポート	SX-2000SM の LAN コネクターにケーブルが接続されていない。
SX-2000SM のバージョン	SX-2000SM のバージョンが 3.00 未満である。 SX-2000SM のファームウェア最新版を TOA 商品ダウンロードサイト (https://toa-products.com/) で公開していますので、ダウンロードしてお使いください。
ネットワーク設定	SX-2000SM またはパソコンの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTP サーバーポートが正しく設定されていない。

■ SX-2000SMのネットワーク設定を変更する

SX-2000SMのネットワーク設定を検出した後に、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPサーバーポートの設定を変更することができます。

1 SX-2000SMのネットワーク設定を検出した後、ネットワーク設定の値を変更する。

※ ネットワーク設定の検出については、P. 31「SX-2000SMのネットワーク設定を検出する」をお読みください。

The screenshot shows the 'SX-2000 Management tool(Superuser)' interface. At the top, there are tabs for '基本設定' (Basic Settings), 'システム設定' (System Settings), '故障検知設定' (Fault Detection Settings), '優先度設定' (Priority Settings), 'パターン設定' (Pattern Settings), 'イベント設定' (Event Settings), and 'ユーティリティ' (Utility). The '基本設定' tab is selected. Below the tabs, there are sections for '言語' (Language) with options for English, Japanese (selected), and Other; 'システム名称' (System Name) set to 'SX-2000'; and 'ネットワーク設定' (Network Settings) which is highlighted with a red box. The Network Settings section contains fields for 'IP アドレス' (IP Address) set to '192 . 168 . 14 . 2', 'サブネットマスク' (Subnet Mask) set to '255 . 255 . 255 . 0', 'デフォルトゲートウェイ' (Default Gateway) set to '0 . 0 . 0 . 0', and 'HTTPサーバーポート' (HTTP Server Port) set to '80'. To the right of these fields are buttons for '検出' (Detect), '変更' (Change), and 'システムリセット' (Reset System). To the right of the Network Settings section is the '共通設定' (Common Settings) section, which includes 'AI/AO表示設定' (AI/AO Display Settings) set to '5分後消灯' (Turn off after 5 minutes), '故障検知機能' (Fault Detection Function) set to '使用しない' (Do not use), '停電時の業務放送' (Business Broadcast during power outage) set to '継続' (Continue), and '緊急放送機能' (Emergency Broadcast Function) set to '使用しない' (Do not use).

値を変更すると、[変更] ボタンが押せる状態になります。

2 [変更] ボタンをクリックする。

The screenshot shows the same 'SX-2000 Management tool(Superuser)' interface as before. The '基本設定' tab is still selected. The 'ネットワーク設定' (Network Settings) section is highlighted with a red box. The IP address is now '10 . 1 . 42 . 1', Subnet Mask is '255 . 255 . 255 . 0', Default Gateway is '0 . 0 . 0 . 0', and HTTP Server Port is '80'. The '変更' (Change) button is now highlighted with a red circle, indicating it is clickable. The '共通設定' (Common Settings) section remains unchanged.

変更したネットワーク設定がSX-2000SMに反映されます。

SX-2000 Management tool(Superuser)

ファイル(F) 表示(V) 通信(C) ヘルプ(H)

基本設定 ▶ システム設定 ▶ 故障検知設定 ▶ 優先度設定 ▶ パターン設定 ▶ イベント設定 ▶ ユーティリティ

基本設定

言語 ☐ English ☒ Japanese ☐ Other

システム名称

ネットワーク設定

IP アドレス: . . . 検出

サブネットマスク: . . . 変更

デフォルトゲートウェイ: . . .

HTTPサーバーポート: システムリセット

共通設定

AI/AO表示設定 ▼

故障検知機能 ▼

停電時の業務放送 ▼

緊急放送機能 ▼

緊急RM放送後のゾーンのEVメッセージ ▼

時刻設定

年	月	日	時	分	秒	
<input type="text" value="2009"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="16"/>	<input type="text" value="19"/>	<input type="text" value="6"/>	<input type="text" value="51"/>	読み込み 変更

■ システムをリセットする

SX-2000 システムのリセットをリモートで行うことができます。

1 SX-2000SMのネットワーク設定を検出した後、[システムリセット] ボタンをクリックする。

※ ネットワーク設定の検出については、P. 31「SX-2000SMのネットワーク設定を検出する」をお読みください。

SX-2000 Management tool(Superuser)

ファイル(F) 表示(V) 通信(C) ヘルプ(H)

基本設定 ▶ システム設定 ▶ 故障検知設定 ▶ 優先度設定 ▶ パターン設定 ▶ イベント設定 ▶ ユーティリティ

基本設定

言語 ☐ English ☒ Japanese ☐ Other

システム名称

ネットワーク設定

IP アドレス: . . .

サブネットマスク: . . .

デフォルトゲートウェイ: . . .

HTTPサーバーポート:

共通設定

AI/AO表示設定

故障検知機能

停電時の業務放送

緊急放送機能

時刻設定

年 月 日 時 分 秒

次の画面が表示されます。

SX-2000 Management Tool

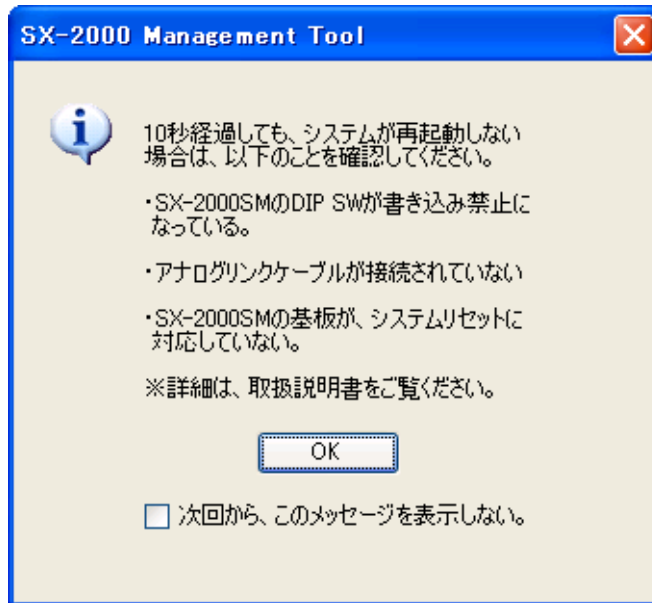
? オンラインシステムリセットを行います。
現在起動中の放送は終了し、初期状態に戻ります。
よろしいですか？

(はい)(Y) (いいえ)(N)

2 [はい] ボタンをクリックする。

システムリセットを開始します。

次の画面が表示されます。



3 [OK] ボタンをクリックして、ダイアログを閉じる。

[再起動したかどうかを確認する方法]

再起動すると、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AO 前面の蛍光表示部がいったん消灯した後、点灯します。現在行われている放送は停止します。

再起動中はSX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AO 前面のSTANDBY表示灯が点灯し、再起動が完了すると消灯します。

[再起動できなかったときは]

次のことを確認してください。

1) SX-2000SM 前面のSTANDBY表示灯が点灯している。

ご使用のSX-2000SM内部の基板がシステムリセットに対応していないため、設定ソフトウェアによる再起動はできません。SX-2000SM 前面のリセットキーを押して、再起動してください。(詳しくは、別冊の設置説明書をお読みください。)

2) アナログリンクケーブルが接続されていない。

システム全体をリセットするためには、システム内のすべてのSX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOをあらかじめアナログリンクで接続しておいてください。アナログリンクが接続されていないユニットはリセットされません。(詳しくは、別冊の設置説明書「アナログリンクの接続」をお読みください。)

アナログリンクケーブルを正しく接続した後、もう一度、システムリセットボタンを押してください。

3) SX-2000SM のDIPスイッチが書き込み禁止になっている。

SX-2000SM のDIPスイッチを「システムリセットを有効」に設定してください。

(詳しくは、別冊の設置説明書「システムリセットの有効／無効の設定 (DIPスイッチ3を操作)」をお読みください。)

DIPスイッチの設定を変更した後、もう一度、システムリセットボタンを押してください。

■ SX-2000SMの時刻を設定する

SX-2000設定ソフトウェアを使用して、SX-2000SMに設定されている時刻をオンラインで確認し、変更することができます。

1 SX-2000SMと、SX-2000設定ソフトウェアをインストールしたパソコンを通信接続する。

通信接続のしかたは、P. 149「SX-2000SMとパソコンを通信接続する」をお読みください。

通信接続が完了すると、画面右下に「接続中」と表示されます。

2 [読込] ボタンをクリックする。

現在、SX-2000SMに設定されている時刻が表示されます。

The screenshot shows the 'SX-2000 Management tool(Superuser)' window. The 'Basic Settings' tab is selected. The 'Language' section has 'Japanese' selected. The 'System Name' is 'SX-2000'. The 'Network Setting' section includes fields for IP Address (10.1.30.1), Subnet Mask (255.255.255.0), Default Gateway (0.0.0.0), and HTTP Server Port (80). The 'Common Setting' section includes dropdowns for AI/AO Display Setting (5分後消灯), Fault Detection Function (使用しない), Power Off Business Broadcast (継続), and Emergency Broadcast Function (使用しない). The 'Time Setting' section shows the current date and time (2009/1/16 20:23:29) and a 'Read' button circled in red. The status bar at the bottom right indicates '接続中' (Connected).

- 3 時刻を変更するときは、変更したいボックスの値を変更し、[変更] ボタンをクリックする。
変更した時刻がSX-2000SMに設定されます。

SX-2000 Management tool(Superuser)

ファイル(F) 表示(V) 通信(C) ヘルプ(H)

基本設定 ▶ システム設定 ▶ 故障検知設定 ▶ 優先度設定 ▶ パターン設定 ▶ イベント設定 ▶ ユーティリティ

基本設定

言語 ☐ English ☒ Japanese ☐ Other

システム名称

ネットワーク設定

IP アドレス: . . .

サブネットマスク: . . .

デフォルトゲートウェイ: . . .

HTTPサーバーポート:

共通設定

AI/AO表示設定 ▼

故障検知機能 ▼

停電時の業務放送 ▼

緊急放送機能 ▼

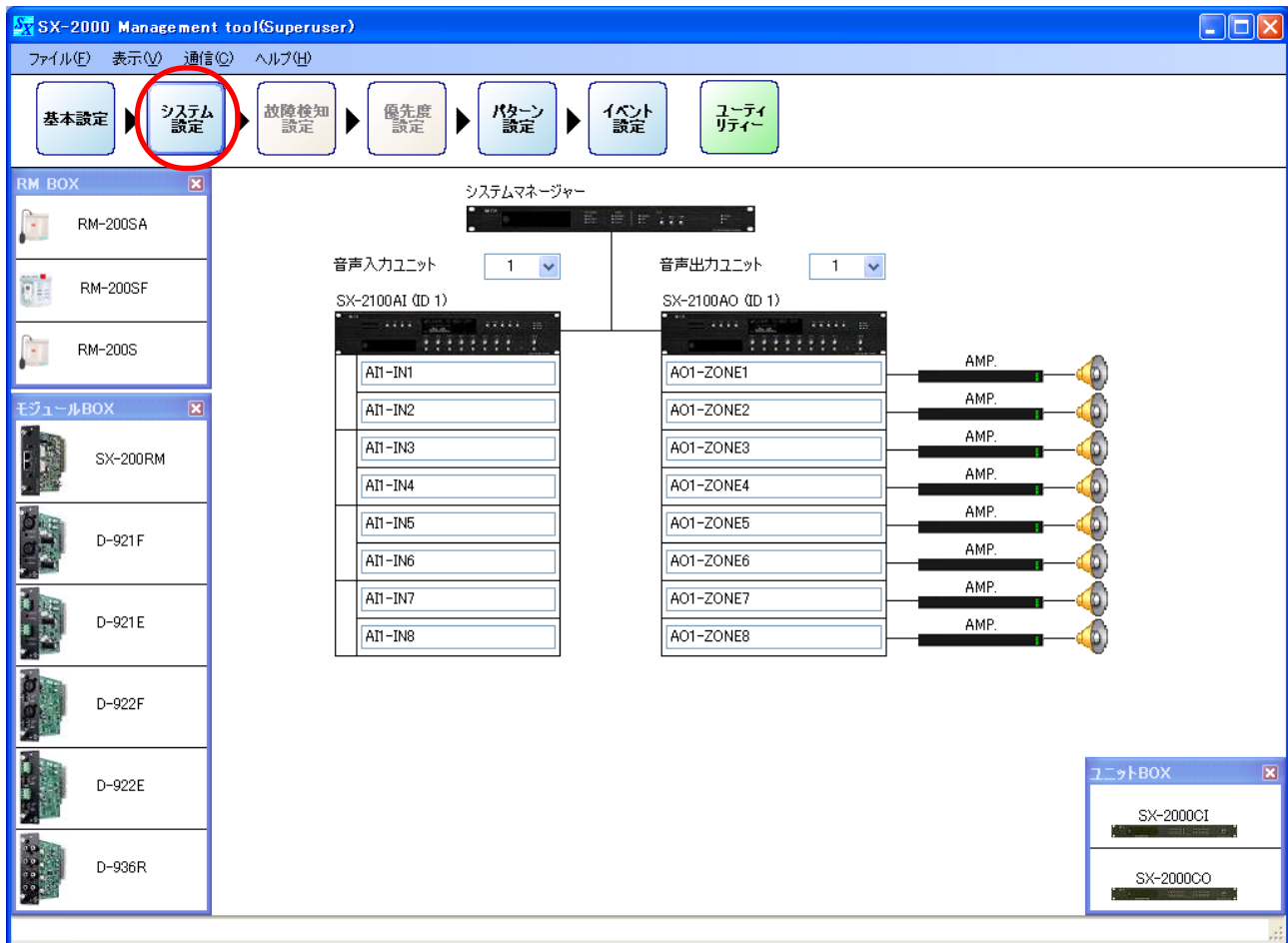
時刻設定

年	月	日	時	分	秒
2009	1	16	20	28	43

接続中

システム設定

メニュー項目の「システム設定」ボタンをクリックすると、システム設定画面が表示されます。



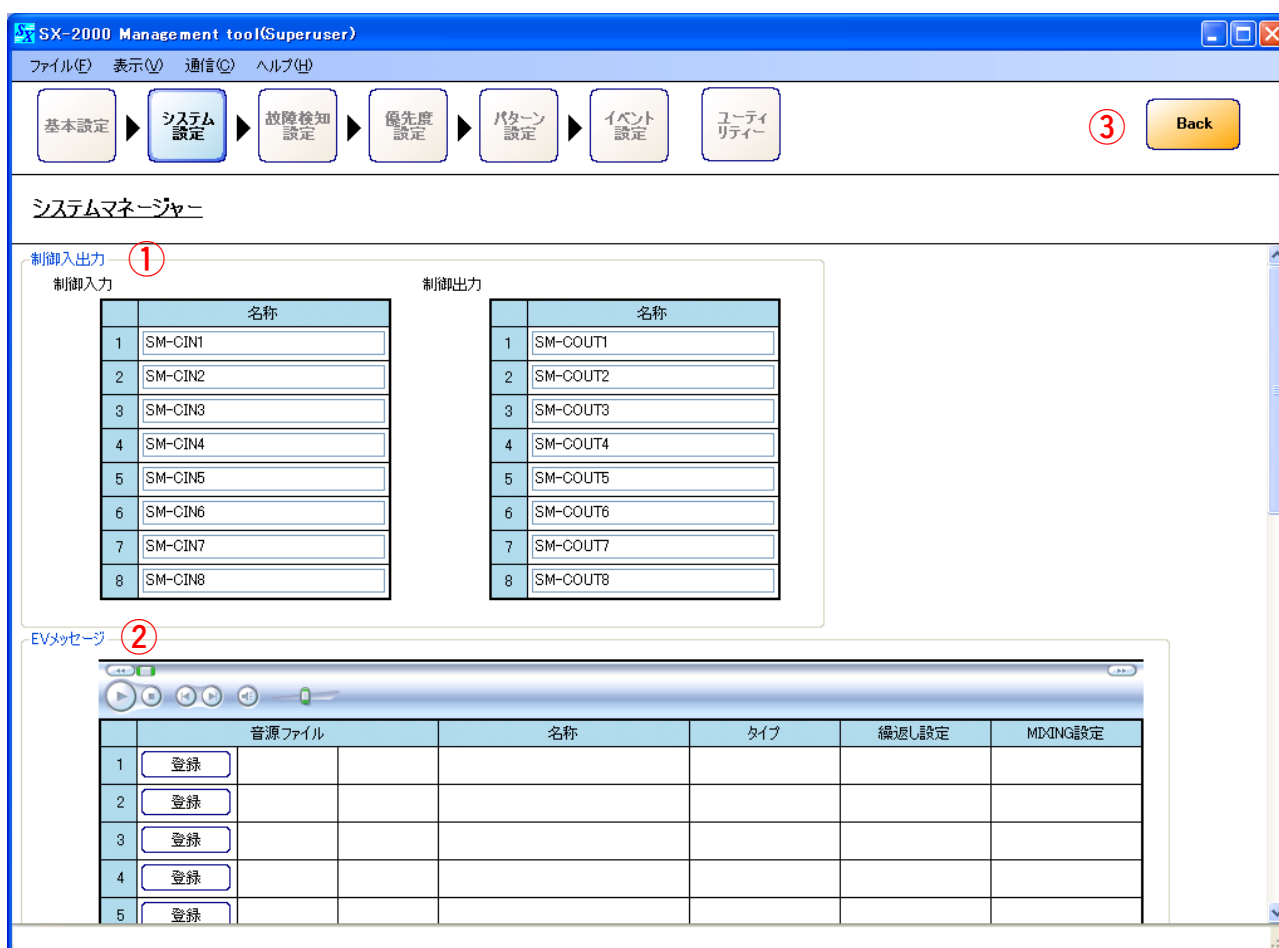
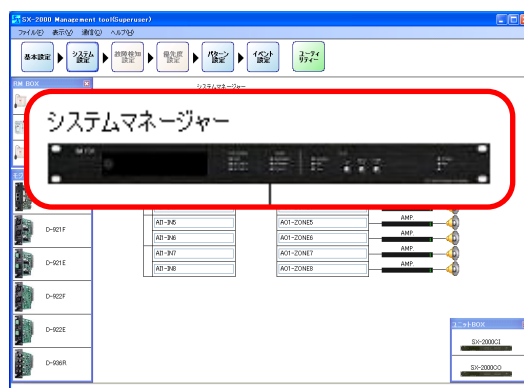
メモ

機器がすでに設置されている場合は、システムの構成をオンラインで取得することもできます。

([P. 155](#)「システムの構成をオンラインで取得する」)

■ SX-2000SM

システム設定画面で、システムマネージャーのアイコンをクリックすると、SX-2000SMの制御入出力およびEVメッセージの設定画面が表示されます。



1. 制御入出力

各制御入出力の名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルトでの名称は、例えば「SM-CIN1」はSX-2000SMの制御入力番号1、「SM-COUT1」はSX-2000SMの制御出力番号1を表します。）
------	---------------------------------------------------------------------------------------------

2. EVメッセージ

音源ファイルの登録・設定を行います。（ P. 46～48）

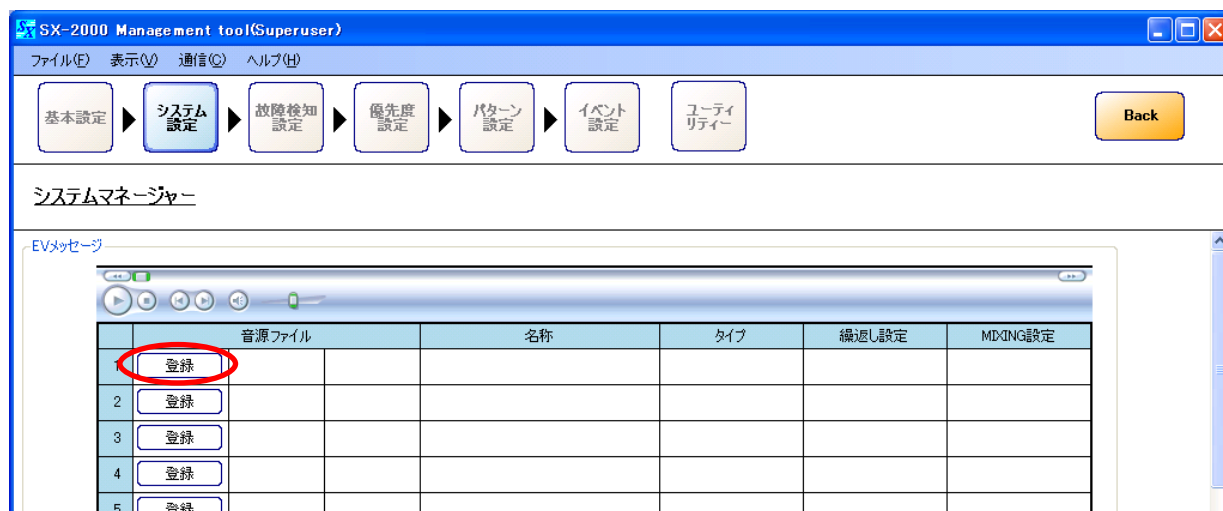
3. Backボタン

前画面に戻ります。

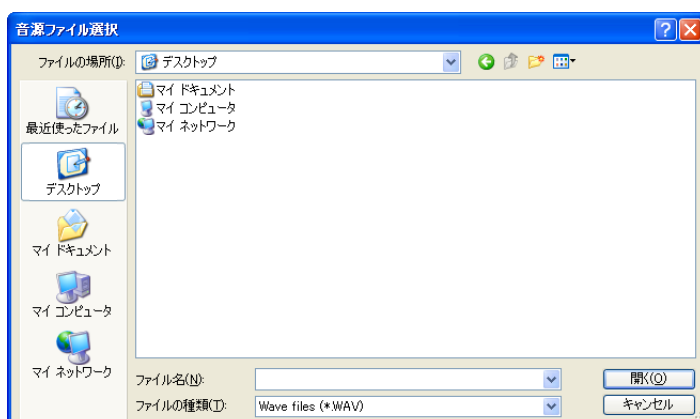
● 音源を登録する

EVメッセージに使用できる音源は、Wav形式のPCM 48 kHzモノラルのみです。
音源データを別途作成し、次の手順で登録してください。

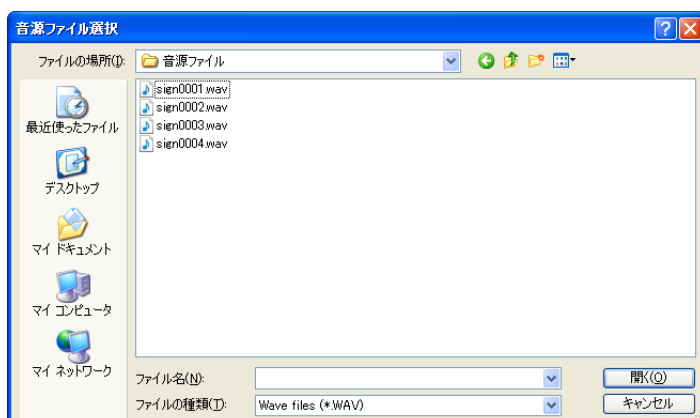
1 [登録] ボタンをクリックする。



「音源ファイル選択」ダイアログが表示されます。



2 音源が保存されているフォルダーを指定し、使用する音源ファイルを選択して、[開く] ボタンを押す。



音源ファイルの読み込みが始まります。読み込み中は次のような画面が表示されます。



登録が完了すると、EVメッセージの画面が次のようになります。

	音源ファイル			名称	タイプ	繰り返し設定	MIXING設定
1	登録	試聴	削除	緊急メッセージ	使用しない		
2	登録						
3	登録						

● 音源を試聴する

登録された音源の「試聴」ボタンをクリックすると、音源が再生されます。音源再生中は上部のボタンが有効になります。

再生・一時停止ボタン

停止ボタン

スキップボタン

ミュートボタン

音量調節つまみ

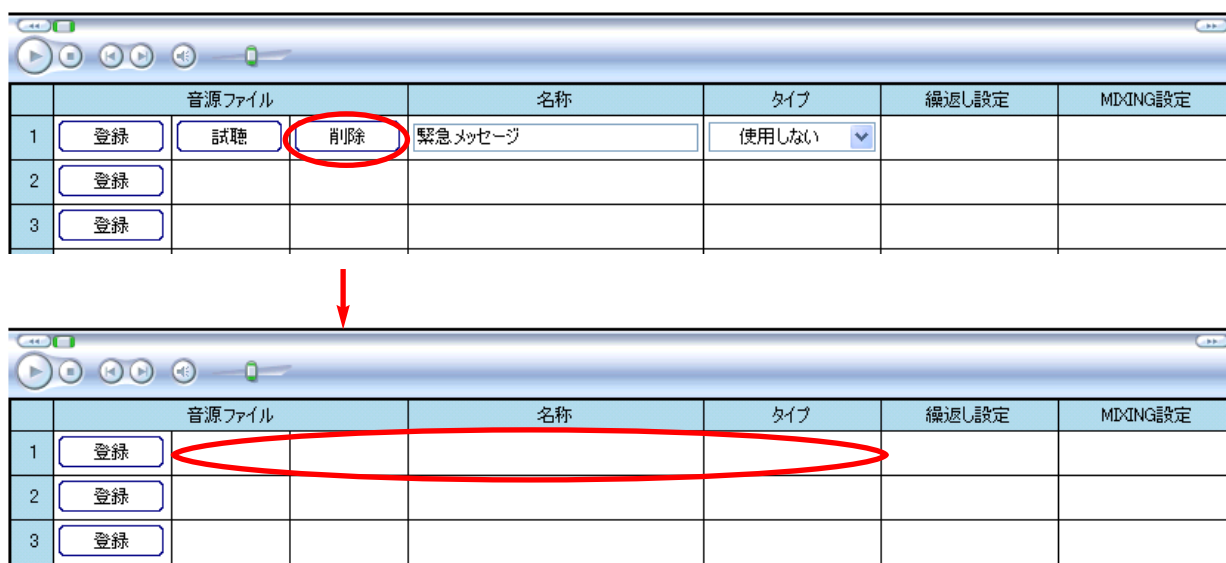
	音源ファイル			名称	タイプ	繰り返し設定	MIXING設定
1	登録	試聴	削除	sign001	使用しない		
2	登録						
3	登録						

ご注意

上部のボタンの表示は、パソコンにインストールされているWindows Media Playerのバージョンにより、異なる場合があります。

● 音源を削除する

登録された音源の「削除」ボタンをクリックします。

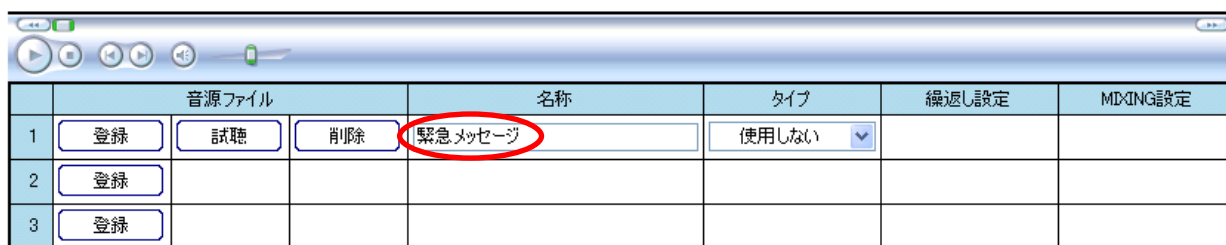


● 音源の名称を変更する

登録された音源の「名称」欄の名称を書き換えてください。
デフォルトは登録した音源のファイル名になります。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルト：登録した音源のファイル名）
------	-----------------------------------

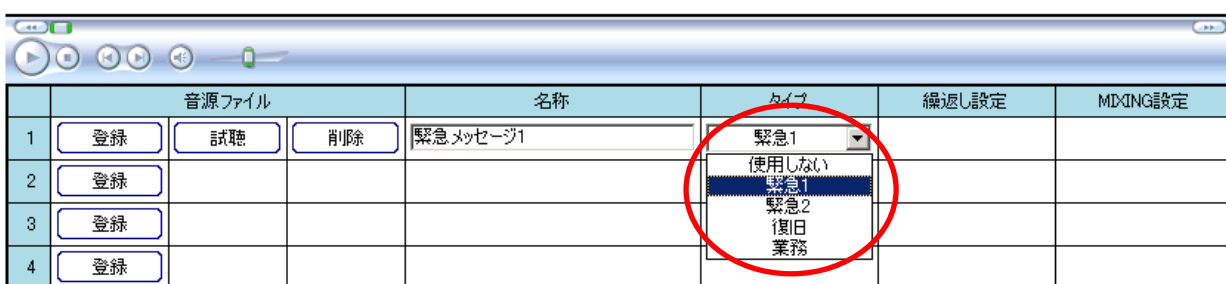
この例では「緊急メッセージ」と書き換えています。



● 音源の種類を設定する

「タイプ」のプルダウンメニューから選択します。
「緊急1」と「緊急2」のEVメッセージは主に緊急事態であることを伝えるために用い、「復旧」のEVメッセージは緊急事態が終了したことを伝えるために用います。
「業務」のEVメッセージは、業務放送パターンで音源として選択することができます。（[P. 76](#)）

設定範囲	使用しない（デフォルト）、緊急1、緊急2、復旧、業務
------	----------------------------



● 繰り返し回数を設定する

EVメッセージの再生回数を設定します。
「タイプ」を「業務」に設定しているときに、選択できます。

設定範囲	1回（デフォルト）、連続
------	--------------



	音源ファイル	名称	タイプ	繰り返し設定	MIXING設定
1	登録 試聴 削除	sign001	業務	1回 連続 1回	MIXING
2	登録				
3	登録				

● MIXING設定をする

EVメッセージを再生したときのBGM放送とのミキシング動作を設定します。
「タイプ」を「業務」に設定しているときに、選択できます。

設定範囲	MIXING（デフォルト）、BGM CUT
------	-----------------------

「MIXING」を選択した場合、EVメッセージを放送しているゾーンのBGMは、SX-2000AIまたはSX-2100AIのMIXING設定（MIXINGまたはREDUCTION）が反映されます。（P. 53「SX-2000AI、SX-2100AI」－「音声入力詳細設定」の「モジュール詳細設定」）

「BGM CUT」を選択した場合、EVメッセージを放送しているゾーンのBGMは、SX-2000AIまたはSX-2100AIのMIXING設定に関係なくカットされます。

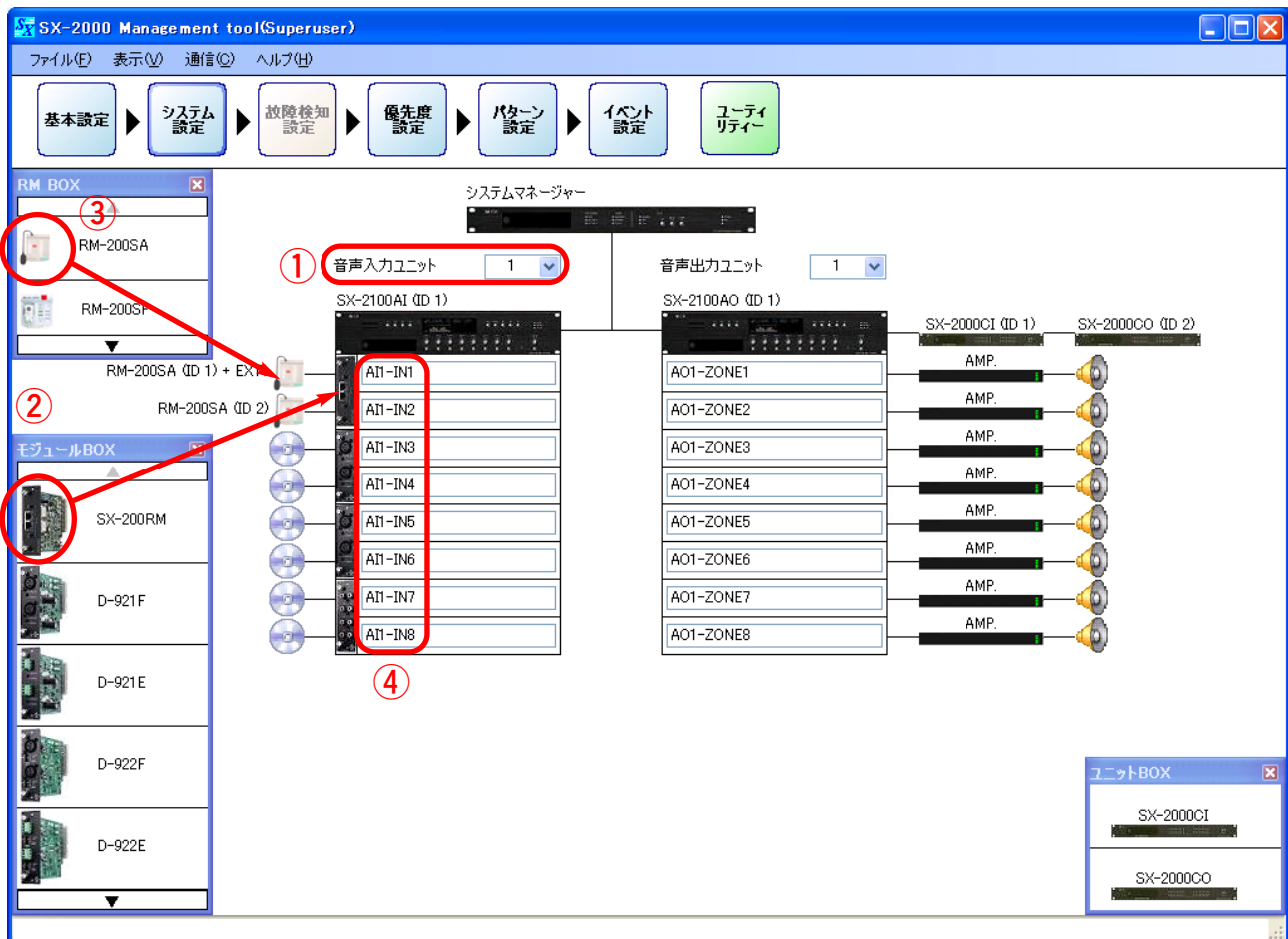


	音源ファイル	名称	タイプ	繰り返し設定	MIXING設定
1	登録 試聴 削除	sign001	業務	1回	MIXING MIXING BGM CUT
2	登録				
3	登録				

■ SX-2000AI、SX-2100AI

システム設定画面で、SX-2000AI、SX-2100AIの台数、および接続するモジュール、使用するリモートマイクの種類を設定します。

● 音声入力設定



1. 音声入力ユニット

「音声入力ユニット」のボックスをクリックし、使用するSX-2000AI、SX-2100AIの台数を設定します。

設定範囲	1～8（デフォルト：1）
------	--------------

2. モジュール

「モジュールBOX」ウィンドウから使用するモジュールをSX-2000AIまたはSX-2100AIのスロットにドラッグ&ドロップして設定します。

設定したモジュールを削除するときは、モジュールにカーソルを合わせて右クリックし、「削除」を選択します。

設定範囲	使用しない（デフォルト）、SX-200RM、D-921F、D-921E、D-922F、D-922E、D-936R
------	----------------------------------------------------------

3. リモートマイク

「RM BOX」ウィンドウから使用するリモートマイクをSX-200RMにドラッグ&ドロップして設定します。
SX-2000AIまたはSX-2100AIのスロットにSX-200RMを設定したときに設定可能です。
設定したリモートマイクを削除するときは、リモートマイクにカーソルを合わせて右クリックし、「削除」を選択します。

設定範囲	使用しない（デフォルト）、RM-200SA、RM-200SF、RM-200S
------	----------------------------------------

ご注意 RM-200SFは、海外のみの販売機種です。

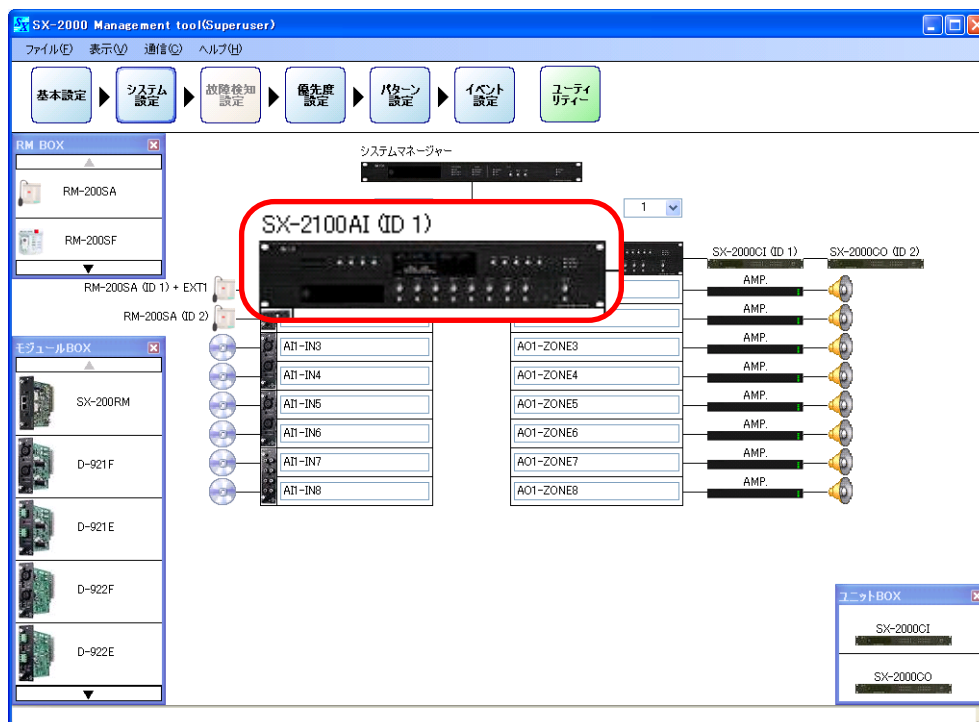
4. 入力チャンネル名称

各入力チャンネルの名称を入力します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルトでの名称は、例えば「AI1-IN1」はSX-2000AIまたはSX-2100AIの入力チャンネル番号1を表します。）
------	-------------------------------------------------------------------------------

● 音声入力詳細設定

設定画面内のSX-2000AIまたはSX-2100AIのアイコンをクリックすると、品番の設定、モジュールの詳細設定、キー名称設定、および制御入出力名称設定（SX-2100AIのみ）の画面が表示されます。



次ページへ

前ページから



SX-2000 Management tool(Superuser)

ファイル(F) 表示(V) 通信(C) ヘルプ(H)

基本設定 ▶ システム設定 ▶ 故障検知設定 ▶ 優先度設定 ▶ パターン設定 ▶ イベント設定 ▶ ユーティリティ

⑦ Back

音声入力ユニット 1

③

タイプ ①

☐ SX-2000AI ☒ SX-2100AI

ユニットNo. ②

1

貼り付け コピー

	入力 1	入力 2	入力 3	入力 4	入力 5	入力 6	入力 7	入力 8
名称	AI1-IN1	AI1-IN2	AI1-IN3	AI1-IN4	AI1-IN5	AI1-IN6	AI1-IN7	AI1-IN8
タイプ	業務	緊急/業務	業務	業務	業務	業務	BGM	BGM
ボリューム(dB)	0	0	0	0	0	0	0	0
MDXING設定	MDXING		MDXING	MDXING	MDXING	MDXING	MDXING	REDUCTION
フェードアウト(秒)								1
フェードイン(秒)								4
減衰量(dB)								-40
PAD(入力感度)			LINE +4dB	LINE -10dB	MIC -36dB	MIC -50dB		
ファンタム電源					OFF	ON		

キー名称 ④

機能キー

	名称
1	AI1-FKEY1
2	AI1-FKEY2
3	AI1-FKEY3
4	AI1-FKEY4

チャンネルキー

	名称
1	AI1-CHKEY1
2	AI1-CHKEY2
3	AI1-CHKEY3
4	AI1-CHKEY4
5	AI1-CHKEY5
6	AI1-CHKEY6
7	AI1-CHKEY7
8	AI1-CHKEY8

制御入出力 ⑤

制御入力

	名称
1	AI1-CIN1
2	AI1-CIN2
3	AI1-CIN3
4	AI1-CIN4
5	AI1-CIN5
6	AI1-CIN6
7	AI1-CIN7
8	AI1-CIN8
9	AI1-CIN9
10	AI1-CIN10
11	AI1-CIN11
12	AI1-CIN12
13	AI1-CIN13
14	AI1-CIN14
15	AI1-CIN15
16	AI1-CIN16

制御出力

	名称
1	AI1-COUT1
2	AI1-COUT2
3	AI1-COUT3
4	AI1-COUT4
5	AI1-COUT5
6	AI1-COUT6
7	AI1-COUT7
8	AI1-COUT8
9	AI1-COUT9
10	AI1-COUT10
11	AI1-COUT11
12	AI1-COUT12
13	AI1-COUT13
14	AI1-COUT14
15	AI1-COUT15
16	AI1-COUT16

1. タイプ

使用する音声入力ユニットの品番を選択します。

設定範囲	SX-2000AI、SX-2100AI（デフォルト）
------	----------------------------

2. ユニット No.

ボックスまたは矢印キーをクリックし、設定したいSX-2000AIまたはSX-2100AIの番号を選択します。

設定範囲	1 ～ 前ページで設定した音声入力ユニットの数（デフォルト：1）
------	----------------------------------

3. モジュール詳細設定

● タイプ

放送の種類を選択します。

「モジュール」(P. 50) で、モジュールをSX-200RM以外に設定しているときに選択できます。

モジュールをSX-200RMに設定した場合は、SX-200RMに接続されているリモートマイクのタイプが表示されます。リモートマイクがRM-200Sのときは業務固定、RM-200SAのときはRM-200SAのシステム設定 (P. 56) で設定したタイプになります。

設定範囲	業務 (デフォルト)、緊急／業務、BGM
------	----------------------

● ボリューム (dB)

入力音源の音量を選択します。

設定範囲	0～-69、-∞ (デフォルト：0) ※1 dB ステップ
------	-------------------------------

● MIXING設定

BGMと業務放送のミキシング設定を行います。

「タイプ」を「業務」または「BGM」に設定しているときに、選択できます。

1) 「タイプ」を「業務」に設定しているとき

設定範囲	MIXING (デフォルト)、BGM CUT
------	------------------------

「MIXING」に設定したとき、業務放送とBGMはミキシングします。

「BGM CUT」に設定したとき、業務放送をしているゾーンのBGMは、BGM側のMIXING設定に関係なくカットされます。

2) 「タイプ」を「BGM」に設定しているとき

設定範囲	REDUCTION (デフォルト)、MIXING
------	--------------------------

業務放送のMIXING設定を「MIXING」に設定しているときのミキシング動作を設定します。

「REDUCTION」に設定したとき、業務放送をしているゾーンのBGMは、設定された減衰量と時間でフェードアウトし、業務放送とBGMはミキシングします。

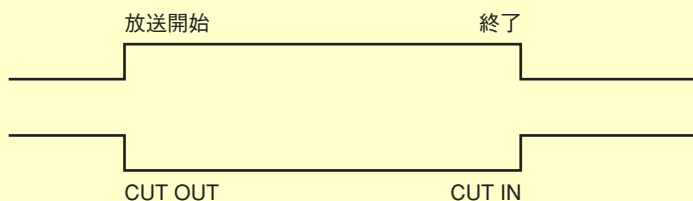
「MIXING」に設定したとき、業務放送とBGMはミキシングします。業務放送中もBGMの音量は変化しません。

※ 「タイプ」を「緊急／業務」に設定しているとき、自動的にBGMはカットされます。

[ミキシング設定の組み合わせ]

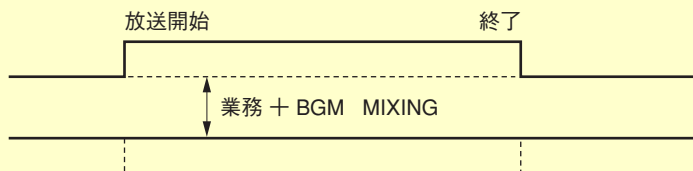
① 業務放送 (BGM CUT)

BGM放送 (REDUCTION
または MIXING)



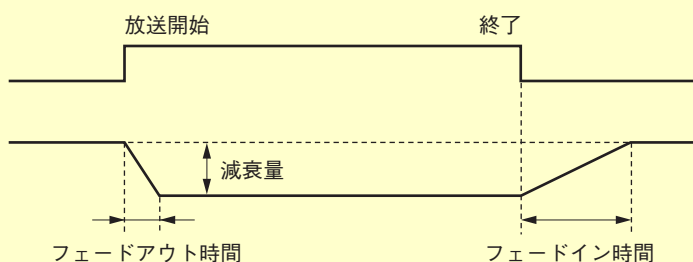
② 業務放送 (MIXING)

BGM放送 (MIXING)



③ 業務放送 (MIXING)

BGM放送 (REDUCTION)



● フェードアウト時間（秒）

「MIXING設定」を「REDUCTION」に設定しているときに、選択できます。

設定範囲	0～6（デフォルト：1） ※1秒ステップ
------	----------------------

● フェードイン時間（秒）

「MIXING設定」を「REDUCTION」に設定しているときに、選択できます。

設定範囲	0～6（デフォルト：4） ※1秒ステップ
------	----------------------

● 減衰量（dB）

「MIXING設定」を「REDUCTION」に設定しているときに、選択できます。

設定範囲	-1～-40、-∞（デフォルト：-40） ※1dBステップ
------	-------------------------------

● PAD（入力感度）

PAD（入力感度）を選択します。「モジュール」(P. 50)を「D-921F」または「D-921E」に設定しているときのみ選択できます。

設定範囲	LINE +4 dB（デフォルト）、LINE -10 dB、MIC -36 dB、MIC -50 dB
------	-----------------------------------------------------

● ファンタム電源

ファンタム電源の使用を選択します。

「モジュール」(P. 50)を「D-921F」または「D-921E」に設定し、「PAD（入力感度）」(上記の項目)を「MIC -36 dB」または「MIC -50 dB」に設定しているときに、選択できます。

設定範囲	OFF（デフォルト）、ON
------	---------------

4. キー名称

SX-2000AIまたはSX-2100AI前面パネルの機能キーおよびチャンネルキーの名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルトでの名称は、例えば「AI1-FKEY1」はSX-2000AIまたはSX-2100AIの機能キー番号1、「AI1-CHKEY1」はSX-2000AIまたはSX-2100AIのチャンネルキー番号1を表します。）
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 制御入出力（SX-2100AIのみ）

SX-2100AIの制御入出力の名称を設定します。

「タイプ」を「SX-2100AI」に設定しているときに設定できます。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルトでの名称は、例えば「AI1-CIN1」はSX-2100AIの制御入力番号1、「AI1-COUT1」はSX-2100AIの制御出力番号1を表します。）
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

6. コピー・貼り付けボタン

「コピー」ボタンを押すと、表示画面内のすべての項目について、設定した内容をコピーすることができます。ただし、デフォルトの名称はコピーされません。

コピーした内容は、②で他のSX-2000AIまたはSX-2100AIを選択しているときに「貼り付け」ボタンを押すことで貼り付けることができます。

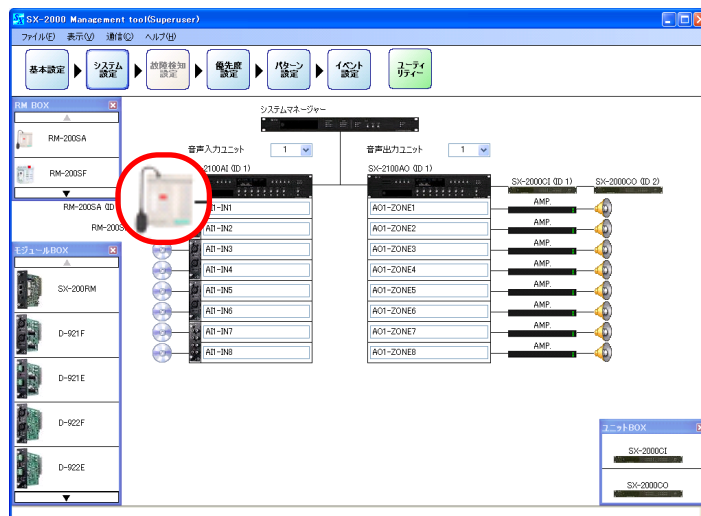
7. Backボタン

前の画面に戻ります。

■ RM-200S、RM-200SA

リモートマイクRM-200S、RM-200SAの基本構成を設定します。

システム設定画面内でRM-200S、RM-200SAのアイコンをクリックすると、詳細設定画面が表示されます。



SX-2000 Management tool(Superuser)

ファイル(F) 表示(V) 通信(C) ヘルプ(H)

基本設定 ▶ システム設定 ▶ 故障検知設定 ▶ 優先度設定 ▶ パターン設定 ▶ イベント設定 ▶ ユーティリティ

リモートマイク

名称: AI1-RM1 AI-1 ID:1 Model:RM-200SA 貼り付け コピー

②

設定	
名称	AI1-RM1
タイプ	業務
PTT or LOCK	PTT
Time out(分)	
Start chime	なし
End chime	なし
チャイム音量(dB)	-6
待ち時間(秒)	0
RM-210台数	1

③

名称	
EMG	EMGKEY
SYS1	SYSKEY1
SYS2	SYSKEY2
SYS3	SYSKEY3
1	KEY1
2	KEY2
3	KEY3
4	KEY4
5	KEY5
6	KEY6
7	KEY7
8	KEY8
9	KEY9
10	KEY10

④

RM-210 1

⑤

名称	
11	KEY11
12	KEY12
13	KEY13
14	KEY14
15	KEY15
16	KEY16
17	KEY17
18	KEY18
19	KEY19
20	KEY20

⑦ Back

1. 名称

ボックスまたは矢印キーをクリックし、設定したいRM-200SまたはRM-200SAを選択します。

デフォルトでの名称は、例えば「AI1-RM1」は機器番号1のSX-2000AIまたはSX-2100AIに接続された、機器番号1のRM-200SまたはRM-200SAを表します。

2. 機能設定

● 名称

RM-200S または RM-200SA の名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルトでの名称は、例えば「AI1-RM1」は機器番号1のSX-2000AIまたはSX-2100AIに接続された、機器番号1のRM-200SまたはRM-200SAを表します。）
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

● タイプ

放送の種類を選択します。

設定範囲	業務（デフォルト）、緊急／業務
------	-----------------

ご注意 RM-200Sのタイプは「業務」に固定されています。

● PTT or LOCK

RM-200S または RM-200SA のトークキーの操作方式を選択します。

設定範囲	PTT（デフォルト）、LOCK
------	-----------------

[PTT と LOCK]

トークキーの操作方式には、プレストーク式（PTT）とロック式（LOCK）があります。

PTT : トークキーを押している間だけマイク放送が可能です。

LOCK : トークキーを一度押すとマイク放送が可能になり、もう一度押すとマイク放送を終了します。

● Time out（分）

マイクを切り忘れたときのために、自動的にリモートマイク放送を終了させる時間を選択します。

※ トークキーの操作方式が「LOCK」の場合に選択できます。

設定範囲	連続（デフォルト）、1～20（分）
------	-------------------

● Start chime

リモートマイク放送開始時のチャイム音を選択します。

設定範囲	なし（デフォルト）、1（Chime 1）、2（Chime 2）、3（Chime 3）、4（Chime 4） ※ 内蔵チャイムは、1（上り4音）、2（下り4音）、3（2音）、4（ゴング）に設定されています。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

● End chime

リモートマイク放送終了時のチャイム音を選択します。

設定範囲	なし（デフォルト）、1（Chime 1）、2（Chime 2）、3（Chime 3）、4（Chime 4） ※ 内蔵チャイムは、1（上り4音）、2（下り4音）、3（2音）、4（ゴング）に設定されています。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

● チャイム音量（dB）

リモートマイクから放送されるチャイムの音量を選択します。

設定範囲	0～-20（デフォルト：-6） ※ 2 dB ステップ
------	-----------------------------

● 待ち時間（秒）

リモートマイクのトークキーを押してから放送開始までの時間*を設定します。

パワーアンプや回線選択リレーの起動時間に合わせて設定してください。

* マイク放送開始時のチャイム音を「なし」に設定している場合はマイク放送が始まるまでの時間、チャイム音を放送する設定にしている場合はチャイムが放送されるまでの時間になります。

設定範囲	0（デフォルト）、0.5、1.0、1.5、2.0、3.0、4.0
------	----------------------------------

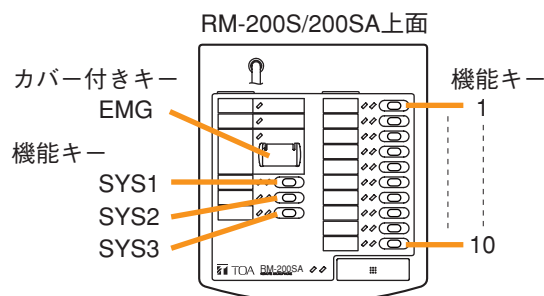
● RM-210台数

リモートマイク拡張ユニットRM-210の台数を選択します。

設定範囲	なし（デフォルト）、1～4
------	---------------

3. キー名称

RM-200SまたはRM-200SA上面のカバー付きキーと機能キーの名称を設定します。



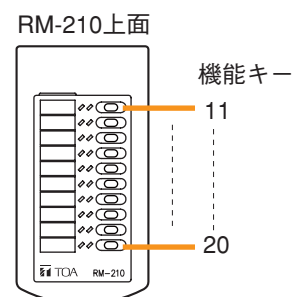
設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルト：カバー付きキーは「EMGKEY」、機能キー（左）は「SYSKEY1～3」、機能キー（右）は「KEY1～10」）
------	-----------------------------------------------------------------------------

4. RM-210の選択

リモートマイクの機能設定（2）でRM-210の台数を1～4に設定しているときに選択できます。ボックスまたは矢印キーをクリックし、設定したいRM-210を選択します。

5. キー名称

RM-210上面の機能キーの名称を設定します。



設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルト：「KEY11～50」）
------	---------------------------------

6. コピー・貼り付けボタン

[コピー] ボタンを押すと、表示画面内のすべての項目について、設定した内容をコピーすることができます。ただし、デフォルトの名称はコピーされません。

コピーした内容は、①で他のRM-200SまたはRM-200SAを選択しているときに[貼り付け] ボタンを押すことで貼り付けることができます。

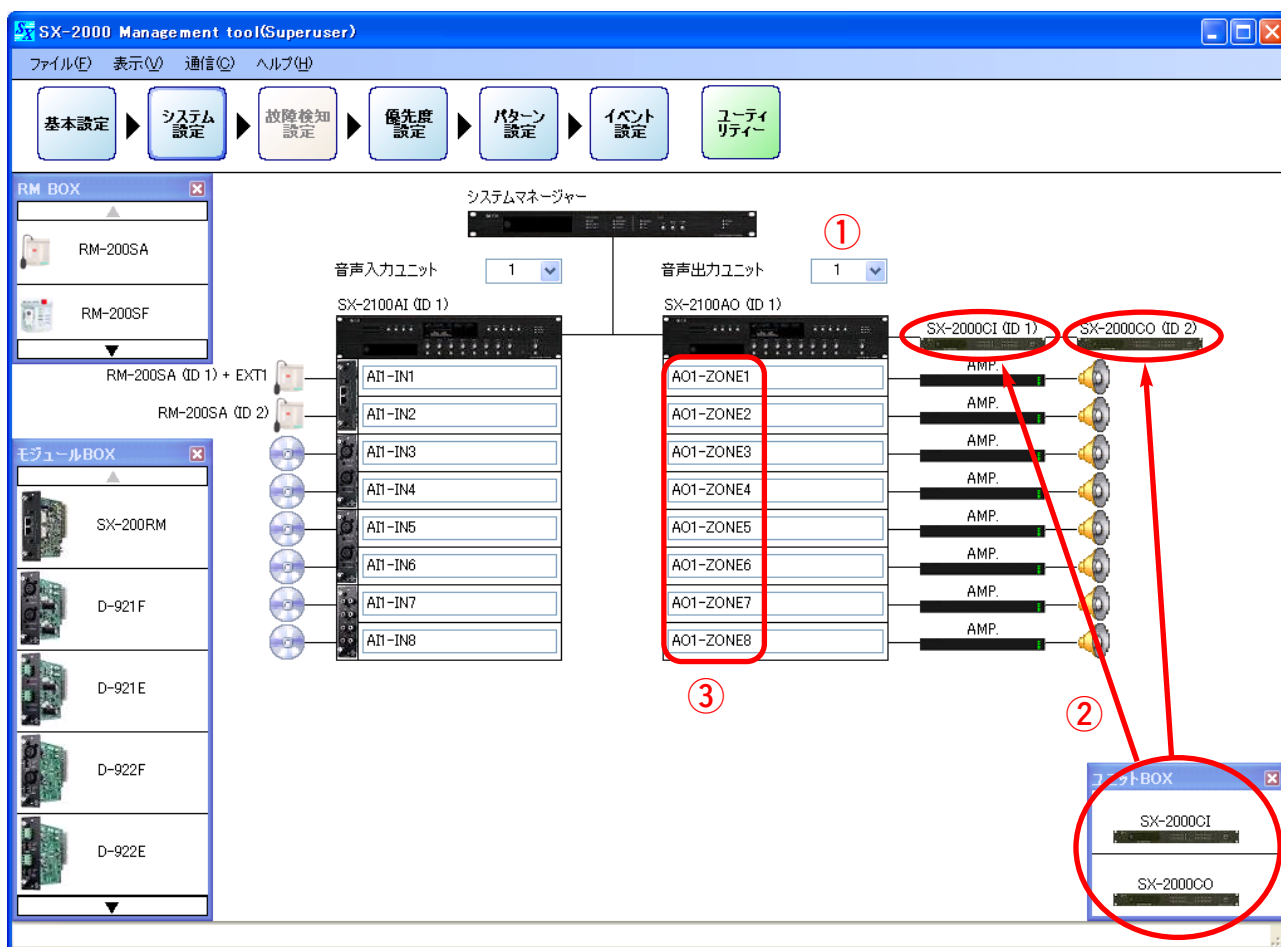
7. Backボタン

前の画面に戻ります。

SX-2000AO

● 音声出力設定

SX-2000AOの台数、および接続するSX-2000CIとSX-2000COを設定します。



1. 音声出力ユニットの台数

使用する音声出力ユニットの台数を選択します。

設定範囲	1～32（デフォルト：1）
------	---------------

2. 制御入出力ユニット

音声出力ユニット1台につきSX-2000CIとSX-2000COを各1台、カスケード接続することができます。「ユニットBOX」ウィンドウから、SX-2000CIとSX-2000COのアイコンをドラッグ&ドロップして、設定します。

設定したSX-2000CIとSX-2000COを削除するときは、アイコンにカーソルを合わせて右クリックし、ポップアップメニューから「削除」を選択します。

設定範囲	使用しない（デフォルト）、SX-2000CI、SX-2000CO
------	----------------------------------

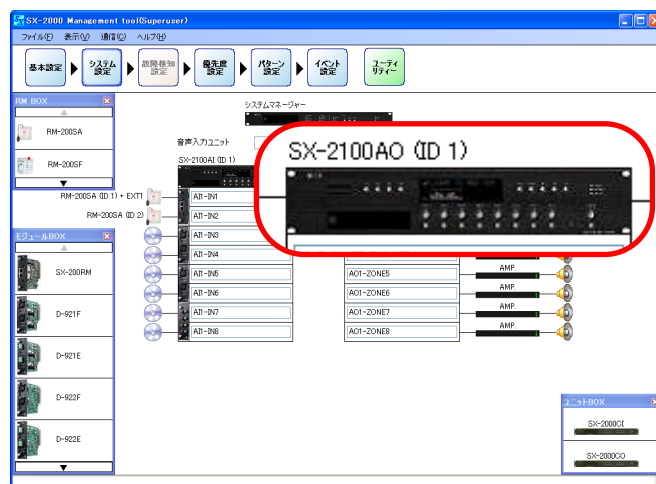
3. 出力チャンネル名称

各出力チャンネルの名称を入力します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルトでの名称は、例えば「AO1-ZONE1」はSX-2000AOの出力チャンネル番号1を表します。）
------	---------------------------------------------------------------------

● 音声出力詳細設定

設定画面内のSX-2000AOまたはSX-2100AOのアイコンをクリックすると、品番の設定、出力ゾーン設定、キー名称設定、および制御入出力名称設定の画面が表示されます。



ご注意

SX-2100AOは海外のみの販売機種です。



SX-2000 Management tool(Superuser)

ファイル(F) 表示(V) 通信(C) ヘルプ(H)

基本設定 ▶ システム設定 ▶ 故障検知設定 ▶ 優先度設定 ▶ パターン設定 ▶ イベント設定 ▶ ユーティリティ

Back

音声出力ユニット 1

タイプ: ☐ SX-2000AO ☒ SX-2100AO

ユニットNo. 1

貼り付け コピー

	Zone 1	Zone 2	Zone 3	Zone 4	Zone 5	Zone 6	Zone 7	Zone 8
名称	A01-ZONE1	A01-ZONE2	A01-ZONE3	A01-ZONE4	A01-ZONE5	A01-ZONE6	A01-ZONE7	A01-ZONE8
ボリューム (dB)	0	0	0	0	0	0	0	0
BGMオフセット (dB)	0	0	0	0	0	0	0	0
アンプ	VP-2064	VP-2064	VP-2064	VP-2064	VP-2064	VP-2064	VP-2064	VP-2064
SPライン電圧	100V	100V	100V	100V	100V	100V	100V	100V
アッテネーター	使用しない	使用しない	使用しない	使用しない	使用しない	使用しない	使用しない	使用しない
EOL	使用しない	使用しない	使用しない	使用しない	使用しない	使用しない	使用しない	使用しない

キー名称

機能キー

	名称
1	A01-FKEY1
2	A01-FKEY2
3	A01-FKEY3
4	A01-FKEY4

チャンネルキー

	名称
1	A01-CHKEY1
2	A01-CHKEY2
3	A01-CHKEY3
4	A01-CHKEY4
5	A01-CHKEY5
6	A01-CHKEY6
7	A01-CHKEY7
8	A01-CHKEY8

制御入出力

制御入力

	名称
1	A01-CIN1
2	A01-CIN2
3	A01-CIN3
4	A01-CIN4
5	A01-CIN5
6	A01-CIN6
7	A01-CIN7
8	A01-CIN8

制御出力

	名称
1	A01-COUT1
2	A01-COUT2
3	A01-COUT3
4	A01-COUT4
5	A01-COUT5
6	A01-COUT6
7	A01-COUT7
8	A01-COUT8

ローカル入力

	ローカル入力1	ローカル入力2
名称	A01-LocalIn1	A01-LocalIn2
ボリューム (dB)	0	0

スタンバイアンプ

	アンプ	SPライン電圧
	VP-2064	100V

1. タイプ

SX-2000AOを選択してください。

設定範囲	SX-2000AO、SX-2100AO（デフォルト）
------	----------------------------

SX-2000AOを選択すると、次の画面が表示されます。

2. ユニット No.

ボックスまたは矢印キーをクリックし、設定したいSX-2000AOの番号を選択します。

設定範囲	1 ～ 前ページで設定した音声出力ユニットの数（デフォルト：1）
------	----------------------------------

3. 出力ゾーンの設定

- 「名称」は編集できません。
- ボリューム（dB）
出力音量を設定します。

設定範囲	0～-69、-∞（デフォルト：0） ※ 1 dB ステップ
------	-------------------------------

● BGM オフセット (dB)

BGM 音源の減衰量を設定します。

設定範囲	0～-69、-∞（デフォルト：0） ※ 1 dB ステップ
------	-------------------------------

※ 上記の設定範囲は、ボリュームがデフォルトの値のときのものです。

BGM オフセットの設定範囲は、ボリュームの設定値により変動します。例えば、ボリュームを「-10 dB」に設定すると、BGM オフセットの設定範囲は「0～-60 dB」になります。

● アンプ

出力ゾーンを使用するかどうかを設定します。

設定範囲	使用する（デフォルト）、使用しない
------	-------------------

● パイロットトーン (20 kHz)

パイロットトーンを使用するかどうかを設定します。

※「基本設定」の「故障検知機能」(P. 30)を「使用する」に設定し、「音声出力詳細設定」の「アンプ」(上記)を「使用する」に設定しておく必要があります。

設定範囲	使用しない（デフォルト）、使用する
------	-------------------

4. キー名称

SX-2000AO 前面パネルの機能キーおよびチャンネルキーの名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルトでの名称は、例えば「AO1-FKEY1」はSX-2000AOの機能キー番号1、「AO1-CHKEY1」はSX-2000AOのチャンネルキー番号1を表します。）
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 制御入出力

SX-2000AOの制御入出力の名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルトでの名称は、例えば「AO1-CIN1」はSX-2000AOの制御入力番号1、「AO1-COUT1」はSX-2000AOの制御出力番号1を表します。）
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

6. コピー・貼り付けボタン

〔コピー〕ボタンを押すと、表示画面内のすべての項目について、設定した内容をコピーすることができます。ただし、デフォルトの名称はコピーされません。

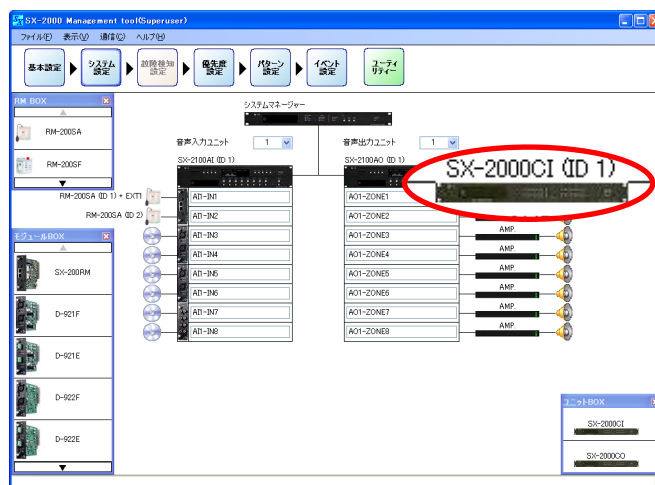
コピーした内容は、②で他のSX-2000AOを選択しているときに〔貼り付け〕ボタンを押すことで貼り付けることができます。

7. Back ボタン

前の画面に戻ります。

■ SX-2000CI

制御入力ユニットSX-2000CIの基本構成を設定します。
システム設定画面内でSX-2000CIのアイコンをクリックすると、詳細設定画面が表示されます。



SX-2000 Management tool(Superuser)

ファイル(F) 表示(V) 通信(T) ヘルプ(H)

基本設定 ▶ システム設定 ▶ 故障検知設定 ▶ 優先度設定 ▶ パターン設定 ▶ イベント設定 ▶ ユーティリティ

④ Back

③

① 名称 SX-2000CI AO1-CI1 AO-1 ID:1 貼り付け コピー

②

	名称
1	AO1-CI-1
2	AO1-CI-2
3	AO1-CI-3
4	AO1-CI-4
5	AO1-CI-5
6	AO1-CI-6
7	AO1-CI-7
8	AO1-CI-8
9	AO1-CI-9
10	AO1-CI-10
11	AO1-CI-11
12	AO1-CI-12
13	AO1-CI-13
14	AO1-CI-14
15	AO1-CI-15
16	AO1-CI-16

	名称
17	AO1-CI-17
18	AO1-CI-18
19	AO1-CI-19
20	AO1-CI-20
21	AO1-CI-21
22	AO1-CI-22
23	AO1-CI-23
24	AO1-CI-24
25	AO1-CI-25
26	AO1-CI-26
27	AO1-CI-27
28	AO1-CI-28
29	AO1-CI-29
30	AO1-CI-30
31	AO1-CI-31
32	AO1-CI-32

1. 名称

ボックスまたは矢印キーをクリックし、設定したいSX-2000CIを選択します。
デフォルトでの名称は、例えば「AO1-CI1」は機器番号1のSX-2000AOに接続された、機器番号1のSX-2000CIを表します。

2. 制御入力

SX-2000CIの制御入力の名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字 （デフォルトでの名称は、例えば「AO1-CI-1」は機器番号1のSX-2000AOに接続されたSX-2000CIの制御入力番号1を表します。）
------	---------------------------------------------------------------------------------------

3. コピー・貼り付けボタン

〔コピー〕 ボタンを押すと、表示画面内のすべての項目について、設定した内容をコピーすることができます。ただし、デフォルトの名称はコピーされません。

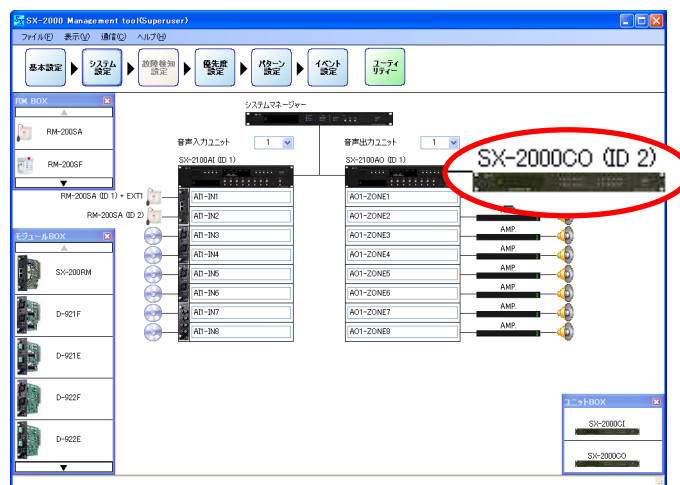
コピーした内容は、①で他のSX-2000CIを選択しているときに〔貼り付け〕 ボタンを押すことで貼り付けることができます。

4. Backボタン

前の画面に戻ります。

■ SX-2000CO

制御入力ユニットSX-2000COの基本構成を設定します。
システム設定画面内でSX-2000COのアイコンをクリックすると、詳細設定画面が表示されます。



SX-2000 Management tool(Superuser)

ファイル(F) 表示(V) 通信(T) ヘルプ(H)

基本設定 ▶ システム設定 ▶ 故障検知設定 ▶ 優先度設定 ▶ パターン設定 ▶ イベント設定 ▶ ユーティリティ

④ Back

SX-2000CO 名称: A01-CO2 ① AO-1 ID:2 貼り付け コピー

②	名称
1	A01-CO-1
2	A01-CO-2
3	A01-CO-3
4	A01-CO-4
5	A01-CO-5
6	A01-CO-6
7	A01-CO-7
8	A01-CO-8
9	A01-CO-9
10	A01-CO-10
11	A01-CO-11
12	A01-CO-12
13	A01-CO-13
14	A01-CO-14
15	A01-CO-15
16	A01-CO-16

	名称
17	A01-CO-17
18	A01-CO-18
19	A01-CO-19
20	A01-CO-20
21	A01-CO-21
22	A01-CO-22
23	A01-CO-23
24	A01-CO-24
25	A01-CO-25
26	A01-CO-26
27	A01-CO-27
28	A01-CO-28
29	A01-CO-29
30	A01-CO-30
31	A01-CO-31
32	A01-CO-32

③

1. 名称

ボックスまたは矢印キーをクリックし、設定したいSX-2000COを選択します。
デフォルトでの名称は、例えば「A01-CO2」は機器番号1のSX-2000AOに接続された、機器番号2のSX-2000COを表します。

2. 制御出力

SX-2000COの制御出力の名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルトでの名称は、例えば「AO1-CO-1」は機器番号1のSX-2000AOに接続されたSX-2000COの制御出力番号1を表します。）
------	--------------------------------------------------------------------------------------

3. コピー・貼り付けボタン

〔コピー〕 ボタンを押すと、表示画面内のすべての項目について、設定した内容をコピーすることができます。ただし、デフォルトの名称はコピーされません。

コピーした内容は、①で他のSX-2000COを選択しているときに〔貼り付け〕 ボタンを押すことで貼り付けることができます。

4. Backボタン

前の画面に戻ります。

故障検知設定

メニュー項目の「故障検知設定」ボタンをクリックすると、故障検知設定画面が表示されます。

「故障検知設定」ボタンは、「基本設定」(P. 29)の共通設定項目において故障検知機能を「使用する」に設定しているときのみ有効になっており、この機能の設定が可能です。

故障検知設定

① バッテリーチェックインターバル

開始時刻:

インターバル:

② アンプ/スピーカー故障検知インターバル(停電時)

開始時刻:

インターバル:

故障検知個別設定 ③

SM	DC POWER	SX LINK	ANALOG LINK		DS LINK		制御入力							
ALL			1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

AII	DC POWER	SX LINK	ANALOG LINK OUT	RM							
ALL				1	2	3	4	5	6	7	8
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						

AO1	DC POWER	SX LINK	ANALOG LINK OUT	DS LINK		CI/CO LINK
ALL				1	2	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>

AO1-C01	DC POWER	制御入力															
ALL		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

AO1-C02	DC POWER
	<input type="checkbox"/>

1. バッテリーチェックインターバル

この設定項目は海外向けシステムにのみ適用します。デフォルト設定のままで変更しないでください。

2. アンプ/スピーカー故障検知インターバル設定 (停電時)

この設定項目は海外向けシステムにのみ適用します。デフォルト設定のままで変更しないでください。

3. 故障検知個別設定

各故障検知機能の有効／無効を設定します。

各チェックボックスにチェックを入れると有効になります。(デフォルト：無効)

[ALL] ボタンをクリックすると、ユニット内のすべての故障検知項目を有効／無効に設定できます。

画面の各故障検知ポイントでは、以下の状態を監視します。

DC POWER : DC電源入力端子に2系統とも正常な電圧が入力されているかどうか。

SX LINK : SXリンクケーブルが正しく接続されているかどうか。

ANALOG LINK : アナログリンクケーブルが正しく接続されているかどうか。

DS LINK : 使用しません。チェックを入れないでください。

制御入力 : 外部機器からの制御ラインが断線または短絡していないかどうか。

ご注意

- SX-2100AI、SX-2000AOの制御入力の故障検知はできません。
- 制御入力の故障検知を「有効」にした場合、設定した制御入力への制御ラインが断線または短絡しているときは、入力を受け付けず、ブレイク状態となります。

ANALOG LINK OUT : アナログリンクケーブルが正しく接続されているかどうか。

ご注意

アナログリンク出力端子にケーブルを接続していないときは、チェックを外してください。

RM : リモートマイクが正常に動作しているかどうか、またはRMリンクのケーブルが断線していないかどうか。

CI/CO LINK : SX-2000CIまたはSX-2000COが正しく接続されているかどうか。

※ 各故障検知箇所における正しい接続方法については、別冊の設置説明書「接続のしかた」をお読みください。

優先度設定

メニュー項目の「優先度設定」ボタンをクリックすると、優先度設定画面が表示されます。

入力音源の優先度を設定します。

優先度設定

③ ソート表示 優先制御 後 ①

ユニット	音源	名称	タイプ	優先度
SM	EV 1	緊急メッセージ1	緊急1	200
	EV 2	緊急メッセージ2	緊急2	150
	EV 3	復旧メッセージ	復旧	250
	EV 4	時報	業務	300

ユニット	音源	名称	タイプ	優先度
AI-1	RM 1	AI1-IN1	業務	300
	RM 2	AI1-IN2	緊急	50
	入力 3	AI1-IN3	業務	300
	入力 4	AI1-IN4	業務	300
	入力 5	AI1-IN5	業務	300
	入力 6	AI1-IN6	業務	300
	入力 7	AI1-IN7	BGM	500
	入力 8	AI1-IN8	BGM	500

②

1. 優先制御

複数の入力音源に同じ優先度を設定した場合に、どの放送を優先させるのか（制御方式）を選択します。

ご注意 制御方式は、複数の音源ごとに異なる設定はできません。

設定範囲	先、後（デフォルト）
------	------------

先取り優先（「先」に設定したとき）

- ・優先度の高い入力音源がすでに放送されているゾーンには放送できません。
- ・優先度の同じ入力音源がすでに放送されているゾーンには 放送できません。
- ・優先度の低い入力音源がすでに放送されているゾーンでは、割り込んで放送します。優先放送後、元の放送は復帰します。

後取り優先（「後」に設定したとき）

- ・優先度の高い入力音源がすでに放送されているゾーンには放送できません。
- ・優先度の同じ入力音源がすでに放送されているゾーンでは、割り込んで放送します。優先放送後、元の放送は復帰します。
- ・優先度の低い入力音源がすでに放送されているゾーンでは、割り込んで放送します。優先放送後、元の放送は復帰します。

2. 優先度

優先度を選択します。数値が小さいほど優先度は高くなります。
音源の種類により、設定できる優先度の範囲が異なります。

- ・緊急 : タイプを「緊急／業務」に設定されたりモートマイクからのマイク放送
- ・緊急2 : タイプを「緊急2」に設定されたEVメッセージ放送
- ・緊急1 : タイプを「緊急1」に設定されたEVメッセージ放送
- ・復旧 : タイプを「復旧」に設定されたEVメッセージ放送
- ・業務 : タイプを「業務」に設定された音源からの業務パターン放送、およびタイプを「業務」に設定されたりモートマイクからのマイク放送
- ・BGM : タイプを「BGM」に設定された音源からの業務パターン放送

[設定範囲]

タイプ	優先度	デフォルト
緊急	1 ~ 128	50
緊急 2	129 ~ 256	150
緊急 1	129 ~ 256	200
復旧	129 ~ 256	250
業務	257 ~ 512	300
BGM	257 ~ 512	500

ご注意

- ここではBGM音源を業務パターン放送で使用する際の優先度を設定します。ここで設定する「業務」と「BGM」の優先度は、業務音源間またはBGM音源間に対して働き、業務音源とBGM音源との間には働きません。
- BGM音源を業務パターン放送で使用する際の業務音源とBGM音源はミキシングされます。ただし、[「MIXING設定」\(P. 53\)](#)の設定でBGM音源の音量を減衰させることができます。
- BGM音源をBGMパターンで使用する際は、ここでの優先度の設定に関係なく、システムで最下位の優先度となります。

3. ソート表示ボタン

このボタンを押すと、下の画面のように、優先度の高い順（数字の小さい順）に並べ替えた表示に切り換わります。

[ソート表示画面]

ソート表示

優先度設定 ④

ユニット	音源	名称	タイプ	優先度
AI-1	RM 2	AI-IN2	緊急	50
SM	EV 2	緊急メッセージ2	緊急2	150
SM	EV 1	緊急メッセージ1	緊急1	200
SM	EV 3	復旧メッセージ	復旧	250
SM	EV 4	コマーシャル	業務	300
AI-1	RM 1	AI-IN1	業務	300
AI-1	入力 3	AI-IN3	業務	300
AI-1	入力 4	AI-IN4	業務	300
AI-1	入力 5	AI-IN5	業務	300
AI-1	入力 6	AI-IN6	業務	300
AI-1	入力 7	AI-IN7	BGM	500
AI-1	入力 8	AI-IN8	BGM	500

4. 優先度設定ボタン

このボタンを押すと、[前ページ](#)の優先度設定の表示に切り換わります。

パターン設定

メニュー項目の「パターン設定」ボタンをクリックすると、パターン設定画面が表示されます。

パターンには、出力ゾーン、BGM、業務放送、制御出力、緊急シーケンス、緊急放送、故障検知の7種類があります。

緊急シーケンス、緊急放送のパターン設定は、「基本設定」(P. 29)で緊急放送機能を「使用する」に設定しているときのみ選択可能です。

故障検知のパターン設定は、「基本設定」(P. 29)で故障検知機能を「使用する」に設定しているときのみ選択可能です。

SX-2000 Management tool(Superuser)

ファイル(F) 表示(V) 通信(C) ヘルプ(H)

基本設定 ▶ システム設定 ▶ 故障検知設定 ▶ 優先度設定 ▶ **パターン設定** ▶ イベント設定 ▶ ユーティリティ

出力ゾーン BGM 業務放送 制御出力 緊急シーケンス 緊急放送 故障検知

出力ゾーンパターン設定

No. 貼り付け コピー

名称

	Zone1	Zone2	Zone3	Zone4	Zone5	Zone6	Zone7	Zone8
A01	A01-ZONE1	A01-ZONE2	A01-ZONE3	A01-ZONE4	A01-ZONE5	A01-ZONE6	A01-ZONE7	A01-ZONE8

●一括でON/OFFをする

出力ゾーン、BGM、制御出力、故障検知の各パターン設定画面において、ユニットごと・出力ゾーンチャンネルごと一括して選択することができます。

複数のユニット設定が必要なシステムの場合などに、この機能を使用すると便利です。

例として、SX-2000AOを5台使用するときの出力ゾーンの一括選択のしかたについて説明します。

[出力ゾーンチャンネルごと一括選択する場合]

ここでは、「Zone 1」の列を一括選択とします。

「Zone 1」のセルの位置にマウスのポインターを移動させます。このとき、ポインターの形が変わります。

	Zone1	Zone2	Zone3	Zone4	Zone5	Zone6	Zone7	Zone8
A01	A01-ZONE1	A01-ZONE2	A01-ZONE3	A01-ZONE4	A01-ZONE5	A01-ZONE6	A01-ZONE7	A01-ZONE8
A02	A02-ZONE1	A02-ZONE2	A02-ZONE3	A02-ZONE4	A02-ZONE5	A02-ZONE6	A02-ZONE7	A02-ZONE8
A03	A03-ZONE1	A03-ZONE2	A03-ZONE3	A03-ZONE4	A03-ZONE5	A03-ZONE6	A03-ZONE7	A03-ZONE8
A04	A04-ZONE1	A04-ZONE2	A04-ZONE3	A04-ZONE4	A04-ZONE5	A04-ZONE6	A04-ZONE7	A04-ZONE8
A05	A05-ZONE1	A05-ZONE2	A05-ZONE3	A05-ZONE4	A05-ZONE5	A05-ZONE6	A05-ZONE7	A05-ZONE8

セルをクリックすると、「A01」～「A05」までの「Zone 1」がすべて選択されます。

	Zone1	Zone2	Zone3	Zone4	Zone5	Zone6	Zone7	Zone8
A01	A01-ZONE1	A01-ZONE2	A01-ZONE3	A01-ZONE4	A01-ZONE5	A01-ZONE6	A01-ZONE7	A01-ZONE8
A02	A02-ZONE1	A02-ZONE2	A02-ZONE3	A02-ZONE4	A02-ZONE5	A02-ZONE6	A02-ZONE7	A02-ZONE8
A03	A03-ZONE1	A03-ZONE2	A03-ZONE3	A03-ZONE4	A03-ZONE5	A03-ZONE6	A03-ZONE7	A03-ZONE8
A04	A04-ZONE1	A04-ZONE2	A04-ZONE3	A04-ZONE4	A04-ZONE5	A04-ZONE6	A04-ZONE7	A04-ZONE8
A05	A05-ZONE1	A05-ZONE2	A05-ZONE3	A05-ZONE4	A05-ZONE5	A05-ZONE6	A05-ZONE7	A05-ZONE8

※ 「Zone 1」のセルをもう一度クリックすると、この選択がすべて解除されます。

[機器番号ごと一括選択する場合]

ここでは、「AO1」の行を一括選択とします。

「AO1」のセルの位置にマウスのポインターを移動させます。このとき、ポインターの形が変わります。

	Zone1	Zone2	Zone3	Zone4	Zone5	Zone6	Zone7	Zone8
AO1	AO1-ZONE1	AO1-ZONE2	AO1-ZONE3	AO1-ZONE4	AO1-ZONE5	AO1-ZONE6	AO1-ZONE7	AO1-ZONE8
AO2	AO2-ZONE1	AO2-ZONE2	AO2-ZONE3	AO2-ZONE4	AO2-ZONE5	AO2-ZONE6	AO2-ZONE7	AO2-ZONE8
AO3	AO3-ZONE1	AO3-ZONE2	AO3-ZONE3	AO3-ZONE4	AO3-ZONE5	AO3-ZONE6	AO3-ZONE7	AO3-ZONE8
AO4	AO4-ZONE1	AO4-ZONE2	AO4-ZONE3	AO4-ZONE4	AO4-ZONE5	AO4-ZONE6	AO4-ZONE7	AO4-ZONE8
AO5	AO5-ZONE1	AO5-ZONE2	AO5-ZONE3	AO5-ZONE4	AO5-ZONE5	AO5-ZONE6	AO5-ZONE7	AO5-ZONE8

セルをクリックすると、「AO1」の「Zone 1」～「Zone 8」がすべて選択されます。

	Zone1	Zone2	Zone3	Zone4	Zone5	Zone6	Zone7	Zone8
AO1	AO1-ZONE1	AO1-ZONE2	AO1-ZONE3	AO1-ZONE4	AO1-ZONE5	AO1-ZONE6	AO1-ZONE7	AO1-ZONE8
AO2	AO2-ZONE1	AO2-ZONE2	AO2-ZONE3	AO2-ZONE4	AO2-ZONE5	AO2-ZONE6	AO2-ZONE7	AO2-ZONE8
AO3	AO3-ZONE1	AO3-ZONE2	AO3-ZONE3	AO3-ZONE4	AO3-ZONE5	AO3-ZONE6	AO3-ZONE7	AO3-ZONE8
AO4	AO4-ZONE1	AO4-ZONE2	AO4-ZONE3	AO4-ZONE4	AO4-ZONE5	AO4-ZONE6	AO4-ZONE7	AO4-ZONE8
AO5	AO5-ZONE1	AO5-ZONE2	AO5-ZONE3	AO5-ZONE4	AO5-ZONE5	AO5-ZONE6	AO5-ZONE7	AO5-ZONE8

※ 「AO1」のセルをもう一度クリックすると、この選択がすべて解除されます。

[全ユニットの全出力ゾーンチャンネルを一括選択する場合]

左端上部のセルの位置にマウスのポインターを移動させます。このとき、ポインターの形が変わります。

	Zone1	Zone2	Zone3	Zone4	Zone5	Zone6	Zone7	Zone8
AO1	AO1-ZONE1	AO1-ZONE2	AO1-ZONE3	AO1-ZONE4	AO1-ZONE5	AO1-ZONE6	AO1-ZONE7	AO1-ZONE8
AO2	AO2-ZONE1	AO2-ZONE2	AO2-ZONE3	AO2-ZONE4	AO2-ZONE5	AO2-ZONE6	AO2-ZONE7	AO2-ZONE8
AO3	AO3-ZONE1	AO3-ZONE2	AO3-ZONE3	AO3-ZONE4	AO3-ZONE5	AO3-ZONE6	AO3-ZONE7	AO3-ZONE8
AO4	AO4-ZONE1	AO4-ZONE2	AO4-ZONE3	AO4-ZONE4	AO4-ZONE5	AO4-ZONE6	AO4-ZONE7	AO4-ZONE8
AO5	AO5-ZONE1	AO5-ZONE2	AO5-ZONE3	AO5-ZONE4	AO5-ZONE5	AO5-ZONE6	AO5-ZONE7	AO5-ZONE8

セルをクリックすると、すべて選択されます。

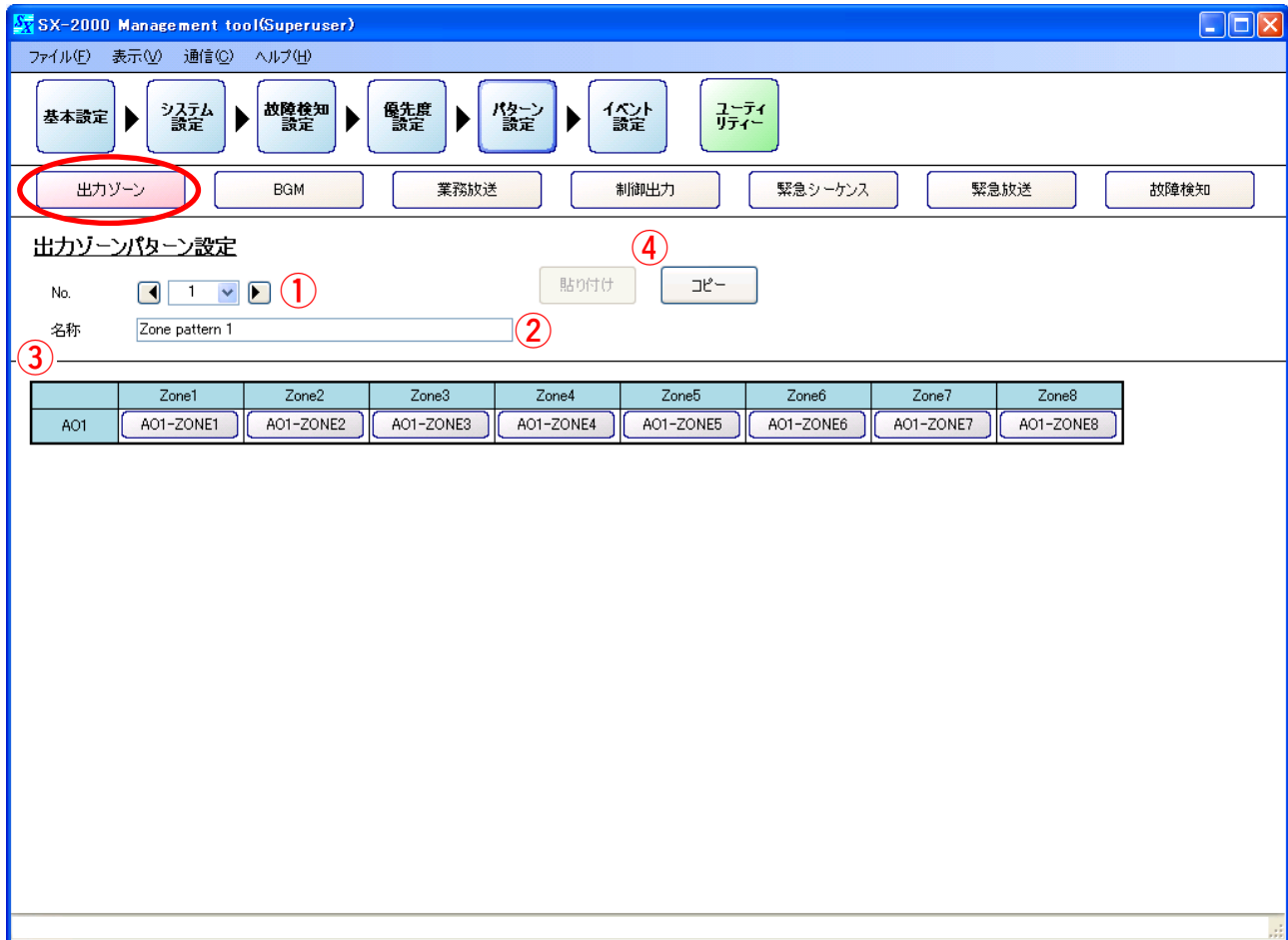
	Zone1	Zone2	Zone3	Zone4	Zone5	Zone6	Zone7	Zone8
AO1	AO1-ZONE1	AO1-ZONE2	AO1-ZONE3	AO1-ZONE4	AO1-ZONE5	AO1-ZONE6	AO1-ZONE7	AO1-ZONE8
AO2	AO2-ZONE1	AO2-ZONE2	AO2-ZONE3	AO2-ZONE4	AO2-ZONE5	AO2-ZONE6	AO2-ZONE7	AO2-ZONE8
AO3	AO3-ZONE1	AO3-ZONE2	AO3-ZONE3	AO3-ZONE4	AO3-ZONE5	AO3-ZONE6	AO3-ZONE7	AO3-ZONE8
AO4	AO4-ZONE1	AO4-ZONE2	AO4-ZONE3	AO4-ZONE4	AO4-ZONE5	AO4-ZONE6	AO4-ZONE7	AO4-ZONE8
AO5	AO5-ZONE1	AO5-ZONE2	AO5-ZONE3	AO5-ZONE4	AO5-ZONE5	AO5-ZONE6	AO5-ZONE7	AO5-ZONE8

※ 左端上部のセルをもう一度クリックすると、この選択がすべて解除されます。

■ 出力ゾーンパターン設定

パターン設定画面で「出力ゾーン」ボタンをクリックすると、出力ゾーンのパターン設定ができます。

放送（業務、緊急）を行うときに、設定した出力ゾーンパターンを各種放送パターンに割り当てることで、任意のゾーンへ放送することができます。



1. No.

ボックスまたは矢印キーをクリックし、出力ゾーンパターン番号を選択します。

設定範囲	1～128（デフォルト：1）
------	----------------

2. 名称

出力ゾーンパターンの名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルト：「Zone pattern 1～128」）
------	-------------------------------------------

3. ゾーンON/OFFボタン

使用するゾーンのボタンをクリックして選択します。

※ 複数のセルを選択する方法については、P. 72「一括でON/OFFをする」を参照してください。

[選択時]

	Zone1
A01	A01-ZONE1

設定範囲	有色（ゾーンを選択する）、無色（ゾーンを選択しない、デフォルト）
------	----------------------------------

4. コピー・貼り付けボタン

［コピー］ボタンを押すと、設定したパターンをコピーすることができます。ただし、デフォルトの名称はコピーされません。

コピーした内容は、①で他のパターン番号を選択しているときに［貼り付け］ボタンを押すことで貼り付けることができます。

■ BGMパターン設定

パターン設定画面で [BGM] ボタンをクリックすると、BGMのパターン設定ができます。

1. No.

ボックスまたは矢印キーをクリックし、BGMパターン番号を選択します。

設定範囲	1～16（デフォルト：1）
------	---------------

2. 名称

BGMパターンの名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルト：「BGM pattern 1～16」）
------	-----------------------------------------

3. 音源

「システム設定」(P. 51) で設定したSX-2000AIまたはSX-2100AIの入力チャンネル名称を選択します。
「タイプ」(P. 53) を「BGM」に設定している音源が選択できます。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された入力名称
------	---------------------

4. ゾーンON/OFFボタン

「音源」(3) で音源の入力名称を選択した状態で、使用するゾーンを選択します。[選択時]
選択すると出力ゾーン名称の下部のボックスに、入力名称が表示されます。

※ 複数のセルを選択する方法については、P. 72「一括でON/OFFをする」を参照してください。

A01	A01-ZONE1
	A01-IN3

設定範囲	有色（ゾーンを選択する）、無色（ゾーンを選択しない、デフォルト）
------	----------------------------------

5. コピー・貼り付けボタン

〔コピー〕 ボタンを押すと、設定したパターンをコピーすることができます。ただし、デフォルトの名称はコピーされません。

コピーした内容は、①で他のパターン番号を選択しているときに〔貼り付け〕 ボタンを押すことで貼り付けることができます。

■ 業務放送パターン設定

パターン設定画面で〔業務放送〕 ボタンをクリックすると、業務放送のパターン設定ができます。

1. No.

ボックスまたは矢印キーをクリックし、業務放送パターン番号を選択します。

設定範囲	1～128（デフォルト：1）
------	----------------

2. 名称

業務放送パターンの名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルト：「General pattern 1～128」）
------	----------------------------------------------

3. 音源

「システム設定」(P. 46) 内のSX-2000SMに設定したEVメッセージ、または「システム設定」(P. 51) で設定したSX-2000AIまたはSX-2100AIの入力チャンネル名称を選択します。
「タイプ」(P. 53) を「業務」または「BGM」に設定している音源が選択できます。

設定範囲	なし (デフォルト)、設定された入力名称
------	----------------------

4. 出力先

業務放送の出力ゾーンを選択します。「音源」(3) で入力名称を選択しているときに選択が可能です。

設定範囲	個別 (デフォルト)、パターン
------	-----------------

出力先に「パターン」を選択すると、出力ゾーンパターンの選択ができます。

設定範囲	なし (デフォルト)、設定された出力ゾーンパターン
------	---------------------------

5. ゾーンON/OFFボタン

[選択時]

「出力先」(4) を「個別」に選択しているときに設定ができます。
「パターン」を選択していると、「出力ゾーンパターン設定」(P. 74) で設定したゾーンパターンが表示されます。

	Zone1
A01	A01-ZONE1

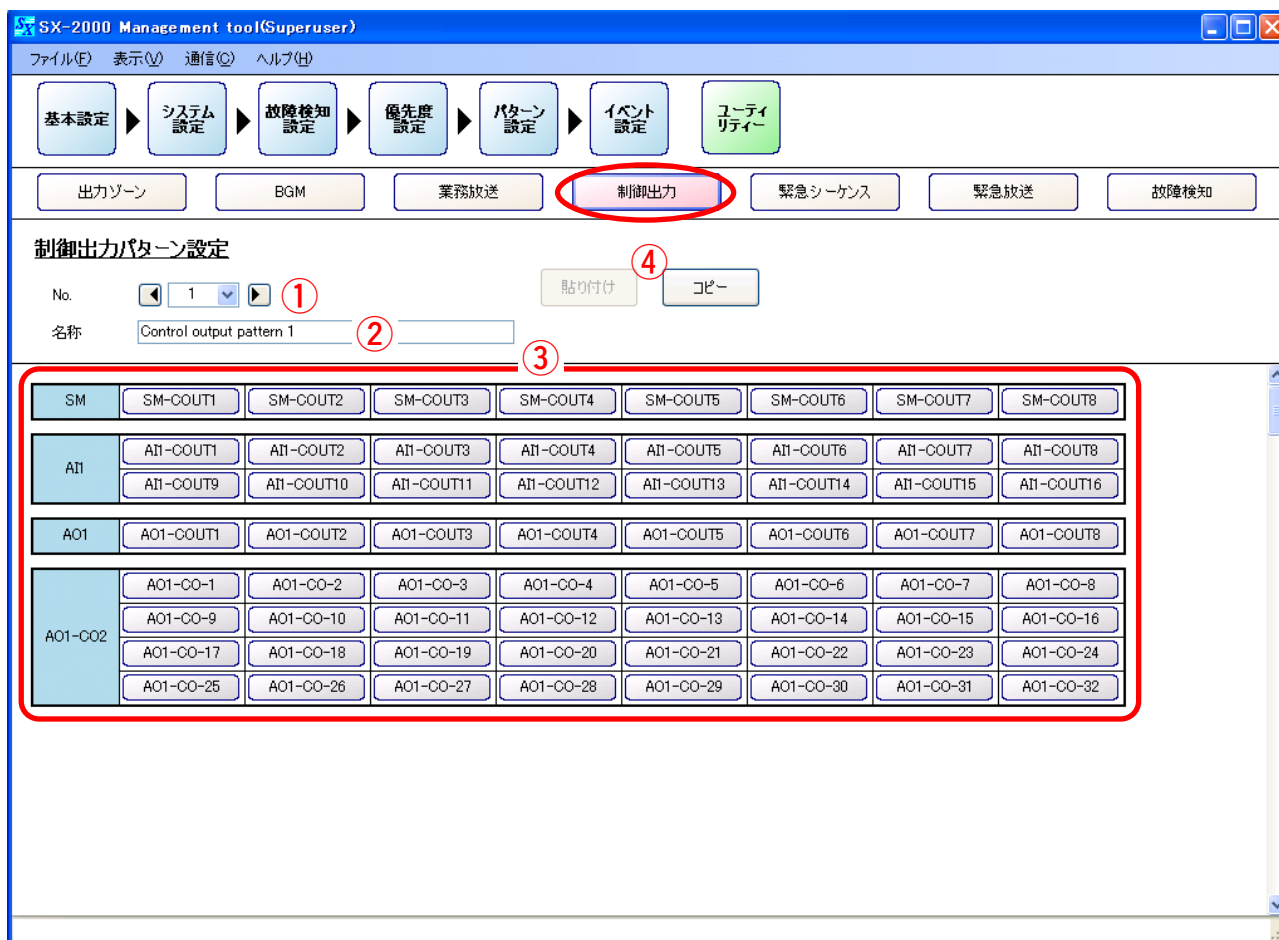
設定範囲	有色 (ゾーンを選択する)、無色 (ゾーンを選択しない、デフォルト)
------	------------------------------------

6. コピー・貼り付けボタン

「コピー」ボタンを押すと、設定したパターンをコピーすることができます。ただし、デフォルトの名称はコピーされません。
コピーした内容は、①で他のパターン番号を選択しているときに「貼り付け」ボタンを押すことで貼り付けることができます。

■ 制御出力パターン設定

パターン設定画面で「制御出力」ボタンをクリックすると、制御出力のパターン設定ができます。



1. No.

ボックスまたは矢印キーをクリックし、制御出力パターン番号を選択します。

設定範囲	1～256（デフォルト：1）
------	----------------

2. 名称

制御出力パターンの名称を設定します。

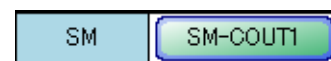
設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルト：「Control output pattern 1～256」）
------	-----------------------------------------------------

3. 制御出力ON/OFF ボタン

制御を行う制御出力端子を選択します。

[選択時]

※ 複数のセルを選択する方法については、P. 72「一括でON/OFFをする」を参照してください。



設定範囲	有色（選択する）、無色（選択しない、デフォルト）
------	--------------------------

4. コピー・貼り付けボタン

[コピー] ボタンを押すと、設定したパターンをコピーすることができます。ただし、デフォルトの名称はコピーされません。

コピーした内容は、①で他のパターン番号を選択しているときに [貼り付け] ボタンを押すことで貼り付けることができます。

■ 緊急シーケンス設定

パターン設定画面で「緊急シーケンス」ボタンをクリックすると、緊急シーケンス設定ができます。

1. No.

ボックスまたは矢印キーをクリックし、緊急シーケンス番号を選択します。

設定範囲	1～4（デフォルト：1）
------	--------------

2. 名称

緊急シーケンスの名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルト：「Emergency sequence 1～4」）
------	-----------------------------------------------

3. メッセージ（第1フェーズ）

「システム設定」(P. 46) 内のSX-2000SMに設定したEVメッセージを選択します。
 選択できるEVメッセージのタイプは「緊急1」と「緊急2」のいずれかになります。
 選択されたEVメッセージのタイプが右側のボックスに表示されます。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定されたEVメッセージ
------	------------------------

4. 継続時間（分）（第1フェーズ）

繰り返して放送されるEVメッセージの再生時間を選択します。

設定範囲	連続（デフォルト）、1～20（分）
------	-------------------

※ 第2フェーズ、第3フェーズは、設定するフェーズの1つ前のフェーズの「継続時間（分）」が「連続」以外のときに設定できます。

5. コピー・貼り付けボタン

「コピー」ボタンを押すと、設定したシーケンスをコピーすることができます。ただし、デフォルトの名称はコピーされません。

コピーした内容は、①で他のシーケンス番号を選択しているときに「貼り付け」ボタンを押すことで貼り付けることができます。

■ 緊急放送パターン設定

パターン設定画面で「緊急放送」ボタンをクリックすると、緊急放送のパターン設定ができます。

1. No.

ボックスまたは矢印キーをクリックし、緊急放送パターン番号を選択します。

設定範囲	1～128（デフォルト：1）
------	----------------

2. 名称

緊急放送パターンの名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルト：「Emergency pattern 1～128」）
------	------------------------------------------------

3. シーケンス

「緊急シーケンス設定」（P. 79）で設定したシーケンス名称を選択します。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された緊急シーケンス
------	------------------------

4. 出力先

各フェーズの状態におけるEVメッセージの出力ゾーンを設定します。

設定範囲	個別（デフォルト）、パターン
------	----------------

出力先に「個別」を選択した場合は「音声出力ユニットの出力ゾーン（個別）」を選択することができます。

設定範囲	なし（デフォルト）、出力ゾーン（個別）
------	---------------------

出力先に「パターン」を選択した場合は「[出力ゾーンパターン設定](#)」(P. 74) の項目で設定した出力ゾーンパターン名称を選択することができます。

設定範囲	なし（デフォルト）、出力ゾーン（パターン）
------	-----------------------

5. 制御出力パターン

「[制御出力パターン設定](#)」(P. 78) で設定した制御出力パターン名称を選択します。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された制御出力パターン
------	-------------------------

6. フェーズ1/2と同じボタン

「フェーズ1と同じ」ボタンをクリックすると、第1フェーズで設定した出力ゾーンおよび制御出力の設定がそのまま第2フェーズの出力ゾーンおよび制御出力にコピーされます。

「フェーズ2と同じ」のボタンをクリックすると、第2フェーズで設定した出力ゾーンおよび制御出力の設定がそのまま第3フェーズの出力ゾーンおよび制御出力にコピーされます。

7. コピー・貼り付けボタン

「コピー」ボタンを押すと、設定したパターンをコピーすることができます。ただし、デフォルトの名称はコピーされません。

コピーした内容は、①で他のパターン番号を選択しているときに「貼り付け」ボタンを押すことで貼り付けることができます。

■ 故障パターン設定

パターン設定画面で「故障検知」ボタンをクリックすると、故障検知のパターン設定ができます。

ここでの設定は、「故障検知設定」(P. 66)と関連しています。

ユニットまたは故障検知ポイントを選択します。

● ユニットの選択 (故障パターン発生のをユニットで指定)

ここで選択するユニットは、「故障検知設定」(P. 66)で、少なくとも1つ以上の故障検知ポイントが設定されている必要があります。

選択されたユニットの故障検知ポイントに故障が発生したときに、この故障パターンが起動します。故障パターンの起動方法は、「イベント設定」(P. 84)で行います。

画面の各設定ボタンは、以下のユニットを示しています。

- SM : SX-2000SM
- AI1 : 機器番号「1」に設定されているSX-2000AIまたはSX-2100AI
- AI1-RM1 : AI1の入力1に接続されているRM-200SとRM-210またはRM-200SAとRM-210
- AI1-RM2 : AI1の入力2に接続されているRM-200SとRM-210またはRM-200SAとRM-210
- AO1 : 機器番号「1」に設定されているSX-2000AOと、そのSX-2000AOに接続されているSX-2000CIおよびSX-2000CO

● 故障検知ポイントの選択 (故障パターン発生のを故障検知ポイントで指定)

「システム異常」の中の設定ボタンは、「故障検知設定」(P. 66)で、システム内のいずれかのユニットに以下の故障検知ポイントがチェックされているときに有効となります。

システム内のいずれかのユニットで、選択された故障検知ポイントに故障が発生したときに、この故障パターンが起動します。故障パターンの起動方法は、「イベント設定」(P. 84)で行います。

画面の各設定ボタンは、以下の故障検知ポイントを示しています。

- DC POWER : SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AO、SX-2000CI、またはSX-2000COのDC POWER

SX LINK : SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOのSX LINK
RM LINK : SX-2000AIまたはSX-2100AIに接続されたりモートマイクのRM LINK

ご注意

「DC FUSE」または「DS LINK」のボタンが表示された場合は、他の画面での設定が間違っている可能性があります。

これらの設定項目は海外向けシステムにのみ適用しますので、設定しないでください。

以下のように正しく設定し直してください。

- ・「音声出力詳細設定」(P. 59) で、すべての音声出力ユニットの「タイプ」を「SX-2000AO」にしてください。
- ・「故障検知設定」(P. 66) で「DS LINK」のチェックをすべて外してください。

1. No.

ボックスまたは矢印キーをクリックし、故障検知パターン番号を選択します。

設定範囲	1～256（デフォルト：1）
------	----------------

2. 名称

故障検知パターンの名称を設定します。

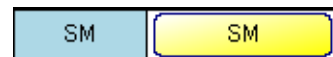
設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルト：「Failure output pattern 1～256」）
------	-----------------------------------------------------

3. 故障検出ユニットまたは故障検知ポイントの設定

故障検知パターン発生要因となるユニットまたは故障検知ポイントを選択します。

[選択時]

※ 複数のセルを選択する方法については、P. 72「一括でON/OFFをする」を参照してください。



設定範囲	有色（選択する）、無色（選択しない、デフォルト）
------	--------------------------

4. 外部故障入力

SX-2000SM、SX-2100AI、SX-2000AO、SX-2000CIの制御入力端子に「外部故障入力」(P. 94) の機能を設定した場合に選択が可能です。

※ 制御入力端子の機能設定は、「イベント設定」項目の各ユニットのイベントで設定します。（詳しくはP. 98～P. 113をお読みください。）

設定範囲	なし（デフォルト）、「イベント設定」で設定された外部故障入力端子
------	----------------------------------

5. 故障状態出力

設定した故障検知パターンが発生しているときに出力させる制御出力パターンを設定します。

「故障検出ユニットの設定」(3) でいずれかのボックスを選択しているときに設定が可能です。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された制御出力パターン
------	-------------------------

6. コピー・貼り付けボタン

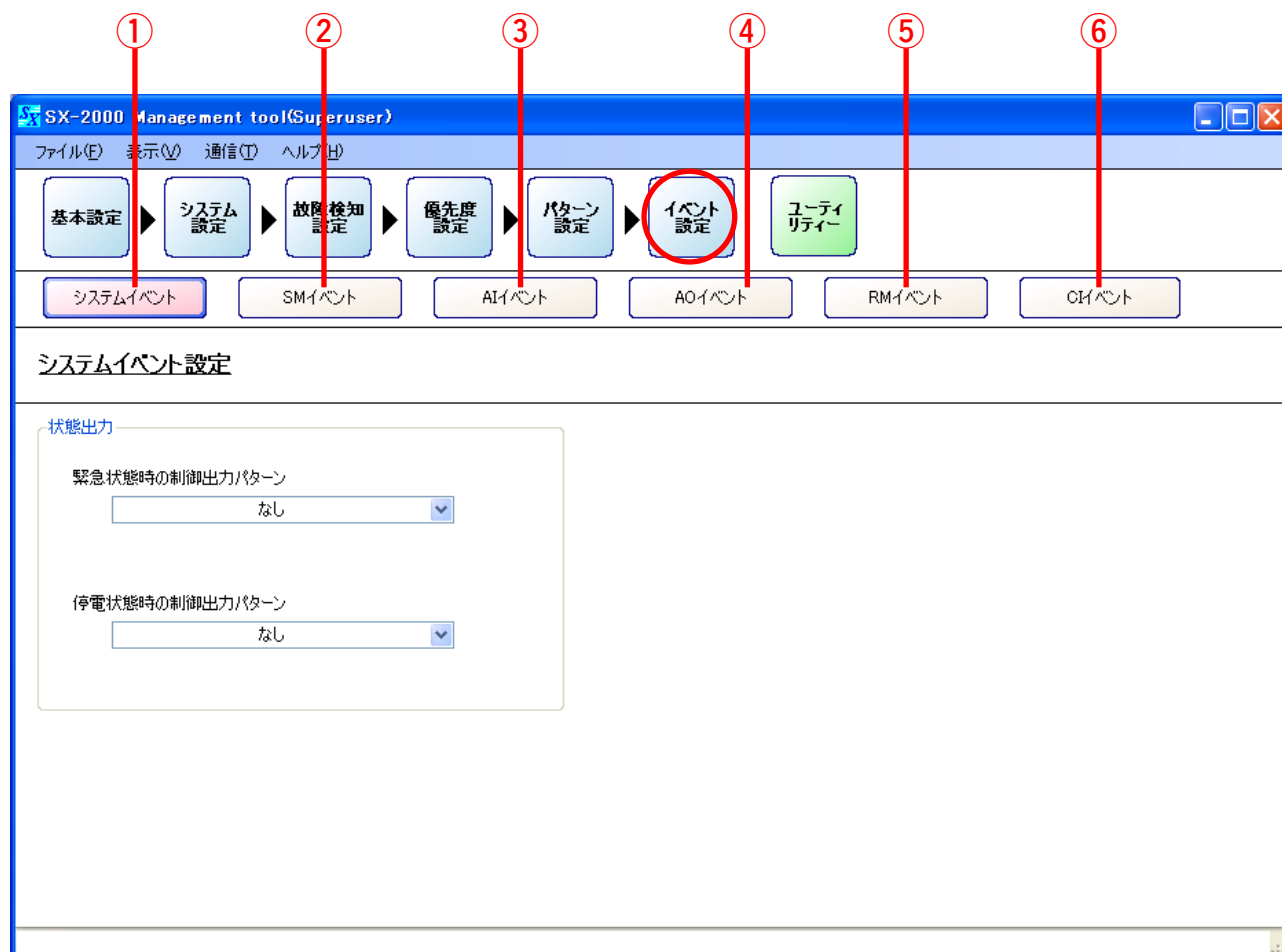
[コピー] ボタンを押すと、設定したパターンをコピーすることができます。ただし、デフォルトの名称はコピーされません。

コピーした内容は、①で他のパターン番号を選択しているときに[貼り付け] ボタンを押すことで貼り付けることができます。

イベント設定

メニュー項目の「イベント設定」ボタンをクリックすると、イベント設定画面が表示されます。

システムイベントの設定と、SX-2000SM、SX-2100AI、SX-2000AO、SX-2000CIの制御入力端子、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AO、RM-200SA、RM-200S、RM-210の機能キー、およびSX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOのチャンネルキーへの割り当てを行います。



※ 「SM」はSX-2000SM、「AI」はSX-2000AIとSX-2100AI、「AO」はSX-2000AO、「CI」はSX-2000CI、「RM」はRM-200S、RM-200SA、およびRM-210を表しています。

①～⑥の各ボタンを押すと、各設定画面が表示されます。

① システムイベントボタン

システムが緊急状態のときおよび停電状態のときの制御出力パターンを設定します。([P. 97](#))

② SM イベントボタン

SX-2000SMの制御入力端子に割り当てる機能を設定します。([P. 98](#))

③ AI イベントボタン

SX-2000AI、SX-2100AIの制御入力端子 (SX-2100AIのみ)、機能キー、およびチャンネルキーに割り当てる機能を設定します。([P. 102](#))

④ AO イベントボタン

SX-2000AOの制御入力端子、機能キー、およびチャンネルキーに割り当てる機能を設定します。([P. 106](#))

⑤ RM イベントボタン

RM-200SA、RM-200S、RM-210のキーに割り当てる機能を設定します。([P. 108](#))

⑥ CI イベントボタン

SX-2000CIの制御入力端子に割り当てる機能を設定します。([P. 113](#))

■ 割り当てできる機能と機能の概要

割り当て先 機能	制御入力端子		機能キー	チャンネルキー	リモートマイクのキー	参照 ページ
	SX-2000SM	SX-2100AI SX-2000AO SX-2000CI	SX-2000AI SX-2100AI SX-2000AO	SX-2000AI SX-2100AI SX-2000AO	RM-200S RM-200SA RM-210 *1	
業務パターン放送			○	○	○	P. 87
業務パターン放送 (Level)	○	○				P. 87
業務パターン放送 (Pulse)	○	○				P. 88
BGM パターン変更／終了	○	○	○		○	P. 89
Zone 音量調整 (Pulse)	○	○				P. 90
Zone 音量減衰 (Level)	○	○				P. 90
時刻補正	○					P. 90
緊急放送パターン起動 *2	○	○			○ *2	P. 91
緊急放送パターン停止 *2	○	○			○ *2	P. 91
緊急シーケンス停止 *2	○	○			○ *2	P. 91
緊急シーケンスフェーズ移行 *2	○	○			○ *2	P. 91
緊急復旧 *2	○	○			○ *2	P. 91
故障受理 *3	○	○			○	
故障リセット *3	○	○			○	
外部故障入力 *3	○	○				P. 94
RM 放送状態表示					○	P. 95
業務 EV 放送					○	P. 96
チャンネル ON/OFF				○		
ゾーン選択 (パターン)					○	
ゾーン選択 (個別)					○	
ゾーン選択クリア					○	
ランプテスト					○ *4	

*1 RM-210に割り当てできる機能は、どのリモートマイクに接続しているかにより異なります。接続しているリモートマイク (RM-200SAまたはRM-200S) と同じ機能を割り当てできます。

*2 「基本設定」で緊急放送機能を「使用する」に設定しているときに、これらの機能が選択できます。
RM-200SAの場合は、これに加えて、「システム設定」でタイプを「緊急／業務」に設定しているときにこれらの機能が選択できます。
RM-200Sの場合は、上記の設定の有無に関わらず、これらの機能は設定できません。

*3 「基本設定」で故障検知機能を「使用する」に設定しているときに、これらの機能が選択できます。

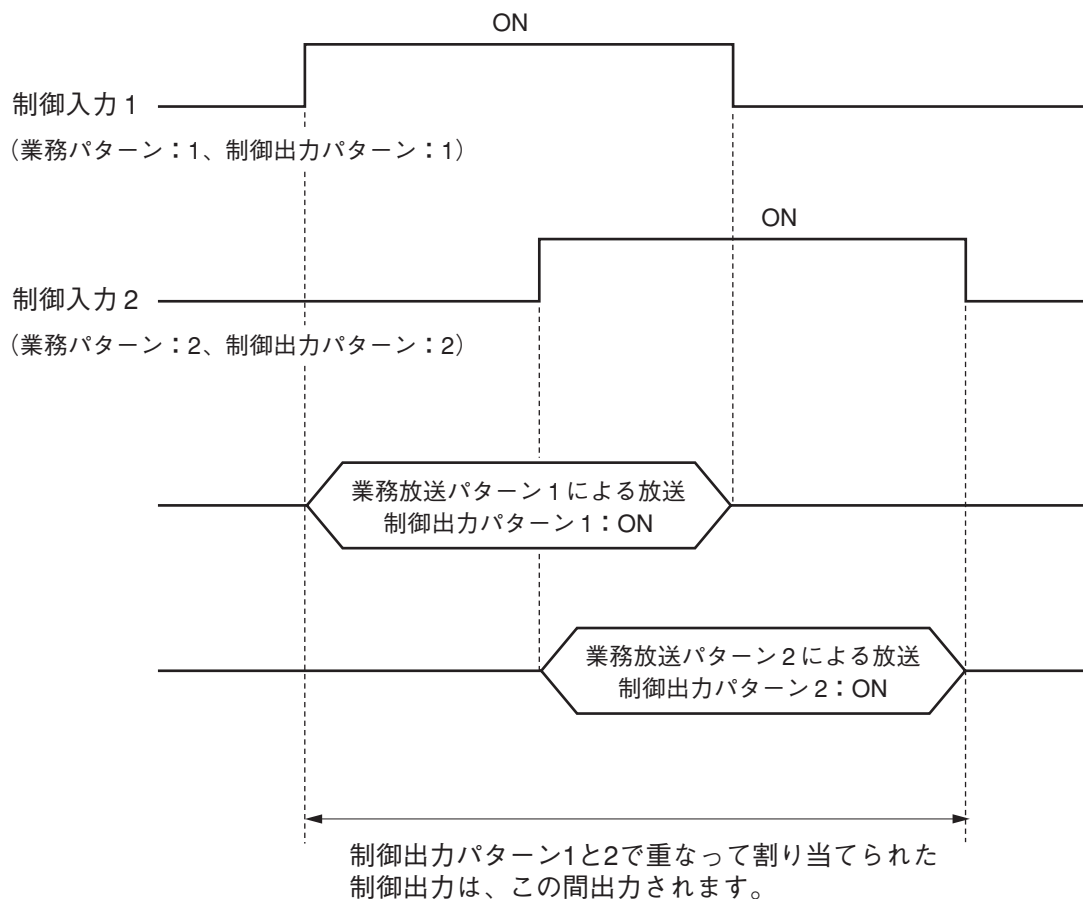
*4 RM-200Sの場合は、設定できません。

- ・業務パターン放送 : キーで業務パターン放送を起動します。(詳細 [P. 87](#))
- ・業務パターン放送 (Level) : 制御入力 (レベル) で業務パターン放送を起動します。(詳細 [P. 87](#))
- ・業務パターン放送 (Pulse) : 制御入力 (パルス) で業務パターン放送を起動します。(詳細 [P. 88](#))
- ・BGMパターン変更/終了 : 制御入力またはキーでBGMパターン放送を起動する、または終了します。(詳細 [P. 89](#))
- ・Zone 音量調整 (Pulse) : 制御入力 (パルス) またはキーでゾーン出力パターンの音量を調節します。(詳細 [P. 90](#))
- ・Zone 音量減衰 (Level) : 制御入力 (レベル) またはキーでゾーン出力パターンの音量を減衰します。(詳細 [P. 90](#))
- ・時刻補正 : SX-2000SM内の時刻をゼロアジャストします。(詳細 [P. 90](#))
- ・緊急放送パターン起動 : 制御入力またはキーで緊急放送パターンを起動します。(詳細 [P. 91](#))
- ・緊急放送パターン停止 : 制御入力またはキーで緊急放送パターンを停止します。(詳細 [P. 91](#))
- ・緊急シーケンス停止 : 制御入力またはキーで、指定された緊急シーケンスを含むすべての緊急放送パターンを停止します。(詳細 [P. 91](#))
- ・緊急シーケンスフェーズ移行 : 制御入力またはキーで緊急放送パターンのシーケンス内のフェーズを移行します。(詳細 [P. 91](#))
- ・緊急復旧 : 制御入力またはキーで緊急放送状態を終了させ、通常状態に戻します。(詳細 [P. 91](#))
- ・故障受理 : 制御入力またはキーで、発生している故障パターンを受理します。制御入力の場合は、システム内のすべての故障パターンを受理します。リモートマイクのキーの場合は、そのキーに割り当てられた故障パターンのみを受理します。(詳細は、別冊の操作説明書「操作のしかた」をお読みください。)
- ・故障リセット : 制御入力またはキーで、システム内の故障状態をすべてリセットします。(詳細は、別冊の操作説明書「操作のしかた」をお読みください。)
- ・外部故障入力 : 外部機器の故障状態を取り込みます。(詳細 [P. 94](#))
- ・RM放送状態表示 : リモートマイクの機能キーに、他のリモートマイクの現在の放送状態を表示します。(詳細 [P. 95](#))
- ・業務EV放送 : リモートマイクの機能キーから業務EVメッセージを呼び出して放送します。(詳細 [P. 96](#))
- ・チャンネルON/OFF : チャンネルをON/OFFします。
- ・ゾーン選択 (パターン) : リモートマイク放送の出力ゾーンをパターンで選択します。(詳細は、別冊の操作説明書「操作のしかた」をお読みください。)
- ・ゾーン選択 (個別) : リモートマイク放送の出力ゾーンを個々のSX-2000AOのチャンネル単位で選択します。(詳細は、別冊の操作説明書「操作のしかた」をお読みください。)
- ・ゾーン選択クリア : リモートマイクで選択されているゾーンを解除します。(詳細は、別冊の操作説明書「操作のしかた」をお読みください。)
- ・ランプテスト : リモートマイクの表示灯の点灯テストをします。(詳細は、別冊の操作説明書「操作のしかた」をお読みください。)

■ 機能の詳細

● 業務パターン放送、業務パターン放送（Level）

異なる制御入力*が重なったときは、それぞれの制御入力で起動された業務パターンの放送が同時に行われます。



この設定による、業務パターンと制御出力パターンの動作は次のようになります。

[業務パターンの動作例]

制御入力1のONで起動された業務パターン1は、制御入力1がOFFになるまで継続し、制御入力2のONで起動された業務パターン2は、制御入力2がOFFになるまで継続します。

[制御出力の動作例]

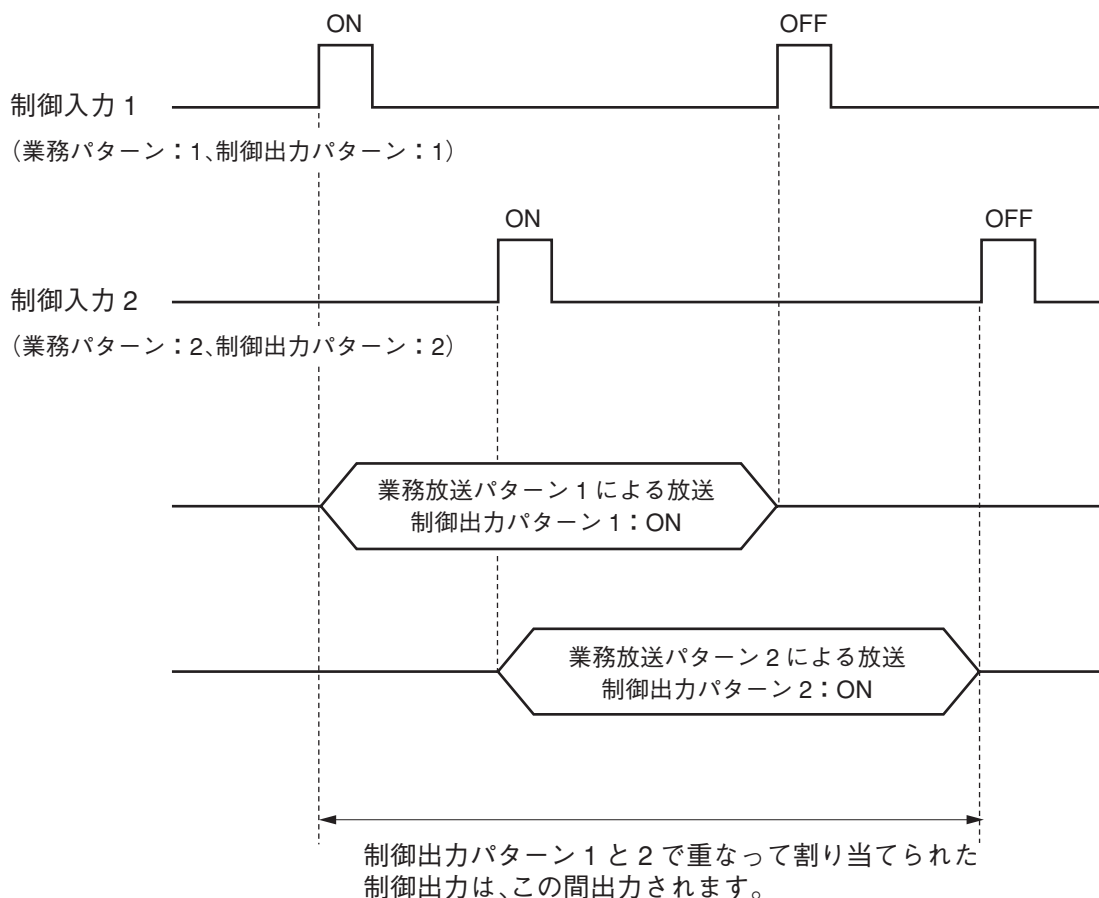
制御入力1のONで起動された制御出力パターン1は、制御入力1がOFFになるまで継続し、制御入力2のONで起動された制御出力パターン2は、制御入力2がOFFになるまで継続します。

制御出力パターン1と2で重なって割り当てられた制御出力の状態は、制御入力1がONになってから制御入力2がOFFになるまで継続します。(OR出力)

* SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOの機能キー・チャンネルキー、RM-200S、RM-200SA、RM-210の機能キーを押して業務パターン放送を起動させたときも、同様です。

● 業務パターン放送 (Pulse)

異なる制御入力*が重なったときは、それぞれの制御入力で起動された業務パターンの放送が同時に行われます。



この設定による、業務パターンと制御出力パターンの動作は次のようになります。

[業務パターンの動作例]

制御入力1のONで起動された業務パターン1は、制御入力1がOFFになるまで継続し、制御入力2のONで起動された業務パターン2は、制御入力2がOFFになるまで継続します。

[制御出力の動作例]

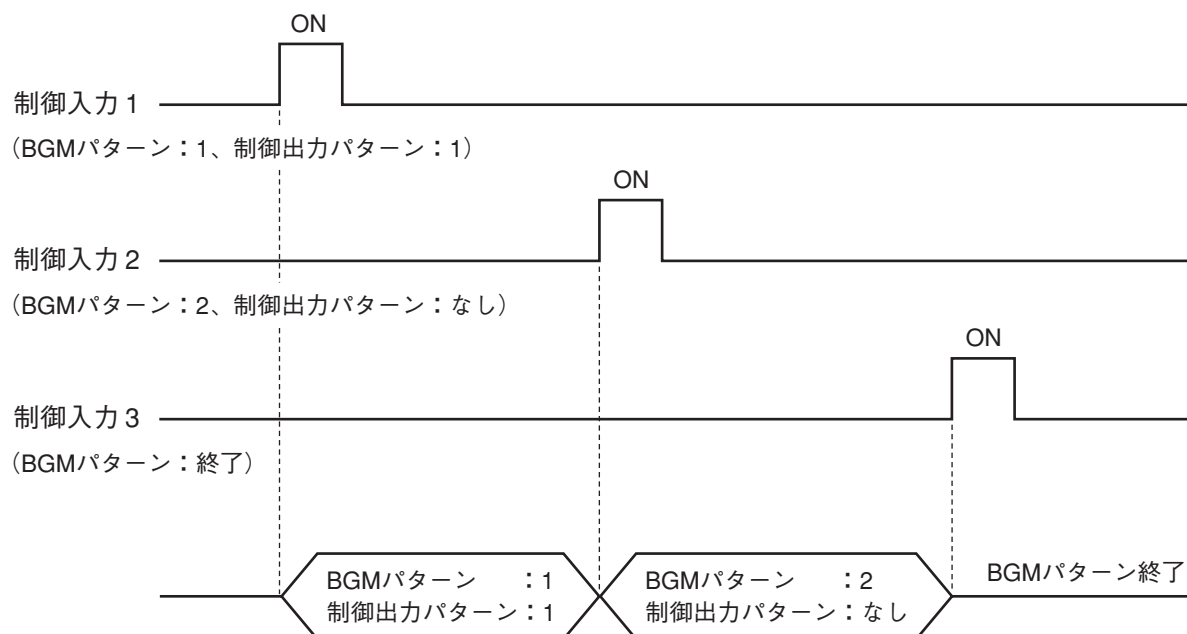
制御入力1のONで起動された制御出力パターン1は、制御入力1がOFFになるまで継続し、制御入力2のONで起動された制御出力パターン2は、制御入力2がOFFになるまで継続します。

制御出力パターン1と2で重なって割り当てられた制御出力の状態は、制御入力1がONになってから制御入力2がOFFになるまで継続します。(OR出力)

* SX-2000SM、SX-2100AI、SX-2000AO、SX-2000CIの制御入力のみを設定できます。

● BGMパターン変更／終了

BGMパターン（制御出力パターン）放送は、制御入力*によって切り換えられます。



この設定による、BGMパターンと制御出力パターンの動作は次のようになります。

[BGMパターンの動作例]

制御入力1により起動しているBGMパターン1は、制御入力2によりBGMパターン2に切り換わります。

[制御出力の動作例]

制御入力1により起動している制御出力の状態（制御出力パターン1で割り当てられた制御出力）は、制御入力2により起動された「制御出力パターン：なし」により、OFFになります。

* SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOの機能キー、RM-200S、RM-200SA、RM-210の機能キーを押してBGMパターン放送を切り換えたときも上記と同様です。

● 音量変更の制御信号

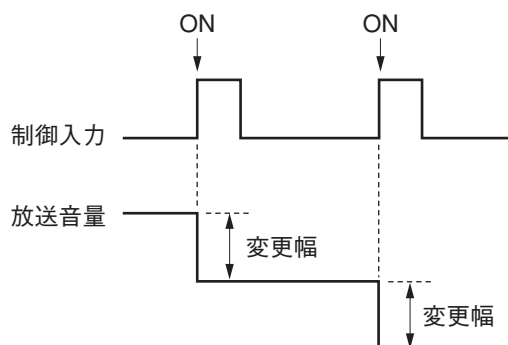
現在放送中の音量を変更する機能です。

音量を変更する制御信号は、パルスとレベルから選択することができます。

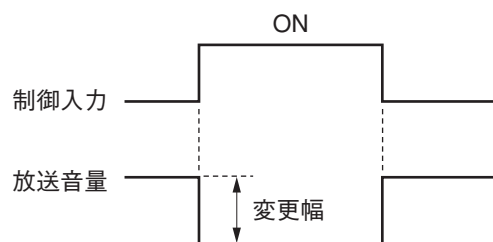
パルス：制御入力をONにするたびに、設定された変更幅の量だけ音量を大きく、または小さくします。

レベル：制御入力をONにしている間、設定された変更幅の量だけ音量を減衰します。OFFにすると、もとの音量に戻ります。

● パルス信号による動作例 (音量を小さくするとき)



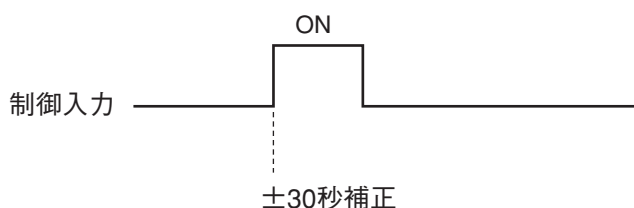
● レベル信号による動作例



● 時刻補正

親時計や電波時計などから時刻補正信号を受けて、±30秒単位の補正を行います。

補正は、制御入力がONされたタイミングで行われます。



次のように補正されます。

- 0～29秒のとき → 0秒

例) SX-2000SMの時刻が「7時15分15秒」のとき → 「7時15分00秒」に補正されます。

- 30～59秒のとき → +1分、0秒

例) SX-2000SMの時刻が「7時15分45秒」のとき → 「7時16分00秒」に補正されます。

● 緊急放送

制御入力によって、緊急放送パターンの起動や停止、パターン内のシーケンスフェーズ移行、緊急放送状態から通常放送状態への復旧などが行えます。

[設定例]

あらかじめ各項目を以下のように設定します。

● EV メッセージの設定

EV メッセージ 1		EV メッセージ 2		EV メッセージ 3	
メッセージ名称	タイプ	メッセージ名称	タイプ	メッセージ名称	タイプ
EV1	緊急 1	EV2	緊急 2	EV3	緊急 1

EV メッセージ 4		EV メッセージ 5	
メッセージ名称	タイプ	メッセージ名称	タイプ
EV4	緊急 2	EV5	復旧

● 緊急シーケンスの設定

緊急シーケンス 1	第 1 フェーズ	第 2 フェーズ	第 3 フェーズ
	EV メッセージ 1、5 分放送	EV メッセージ 2、連続放送	—

緊急シーケンス 2	第 1 フェーズ	第 2 フェーズ	第 3 フェーズ
	EV メッセージ 3、5 分放送	EV メッセージ 4、連続放送	—

※ この例では第 3 フェーズは設定しません。

● 緊急放送パターンの設定

緊急放送 パターン 1	緊急 シーケンス 1	第 1 フェーズ	第 2 フェーズ	第 3 フェーズ
	出力ゾーン	出力ゾーンパターン 1	出力ゾーンパターン 2	—
	制御出力 パターン	制御出力パターン 1	制御出力パターン 2	—

緊急放送 パターン 2	緊急 シーケンス 2	第 1 フェーズ	第 2 フェーズ	第 3 フェーズ
	出力ゾーン	出力ゾーンパターン 3	出力ゾーンパターン 4	—
	制御出力 パターン	制御出力パターン 3	制御出力パターン 4	—

緊急放送 パターン 3	緊急 シーケンス 1	第 1 フェーズ	第 2 フェーズ	第 3 フェーズ
	出力ゾーン	出力ゾーンパターン 5	出力ゾーンパターン 6	—
	制御出力 パターン	制御出力パターン 5	制御出力パターン 6	—

・制御入力の設定

制御入力1：緊急放送パターン1起動

制御入力2：緊急放送パターン2起動

制御入力3：緊急放送パターン3起動

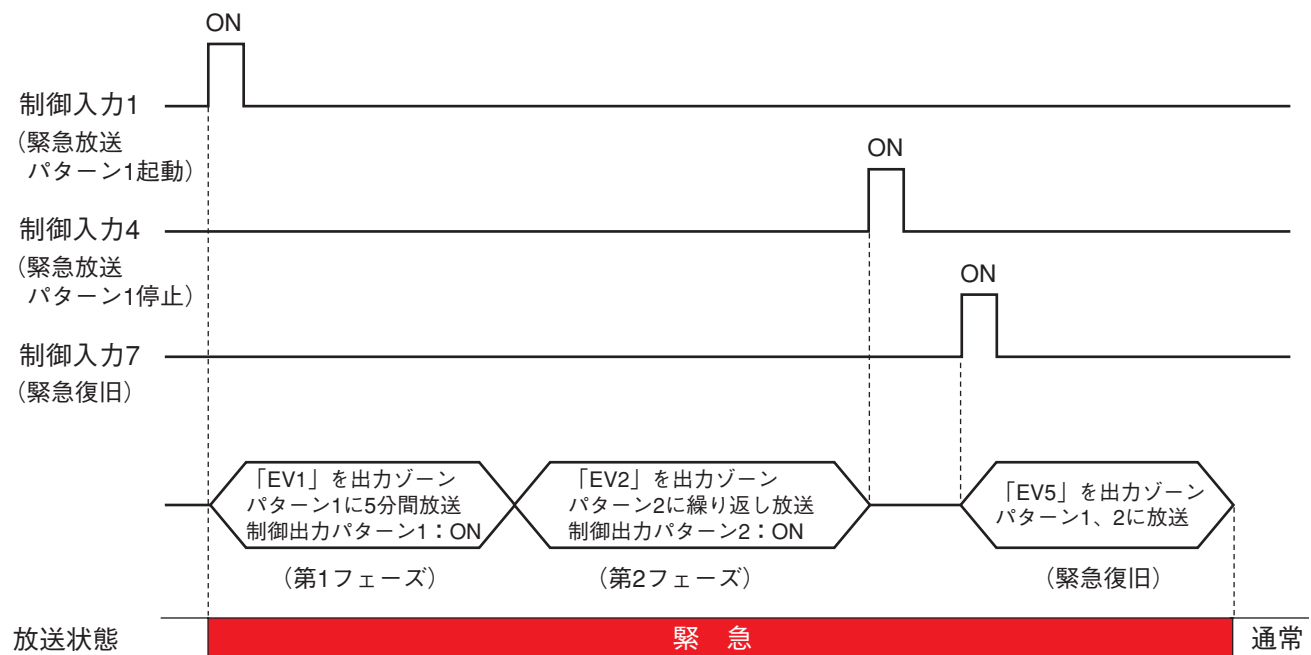
制御入力4：緊急放送パターン1停止

制御入力5：緊急シーケンス1フェーズ移行

制御入力6：緊急シーケンス1停止

制御入力7：緊急復旧（EV5再生）

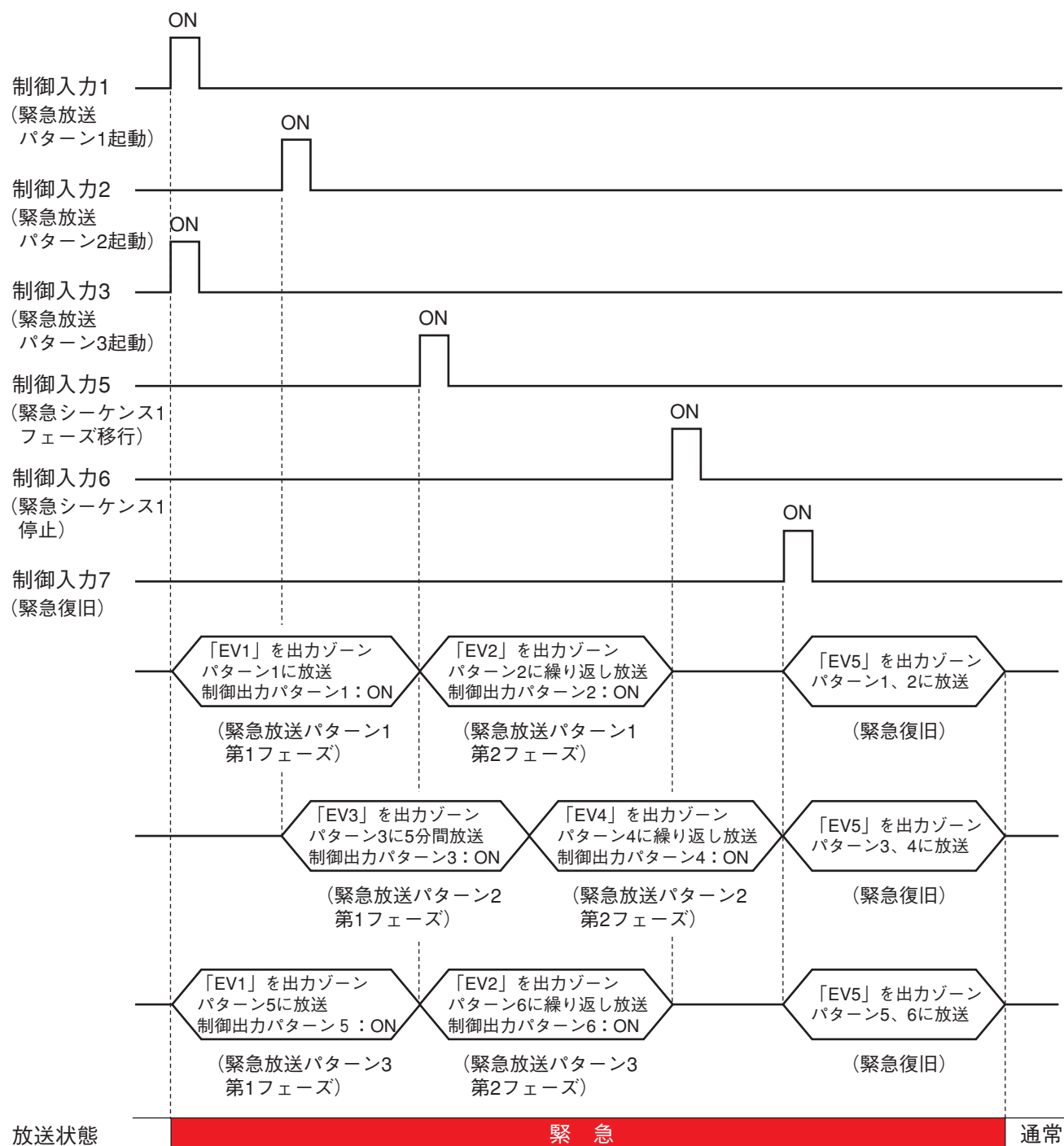
[動作例1]



この例では、次のような動作になっています。

- 第1フェーズから第2フェーズへは、設定された時間が経過すると、自動的に切り換わります。
- 「連続放送」に設定されたEVメッセージは「緊急放送パターン1停止」または「緊急復旧」の制御入力により停止します。
- 緊急放送パターンが停止しても緊急放送状態は解除されません。「緊急復旧」の制御入力により復旧のEVメッセージが放送された後、通常放送状態に戻ります。

[動作例2]



ご注意

緊急放送パターン1、緊急放送パターン2、および緊急放送パターン3の各フェーズ内のゾーン出力パターンで同じゾーンが設定されていた場合は、優先度の高いEVメッセージが設定されている緊急放送パターンが放送されます。

この例では、次のような動作になっています。

- 第1フェーズの放送が終わる前に、「緊急シーケンス1フェーズ移行」の制御入力5で第2フェーズに切り換えています。
- 「緊急シーケンス1停止」の制御入力により、緊急シーケンス1を含むすべての緊急放送パターンが停止します。
- 「緊急復旧」の制御入力により、すべての緊急放送パターンが停止します。そして、緊急放送パターンが放送されていたすべてのゾーンに復旧のEVメッセージが放送された後、通常放送状態に戻ります。

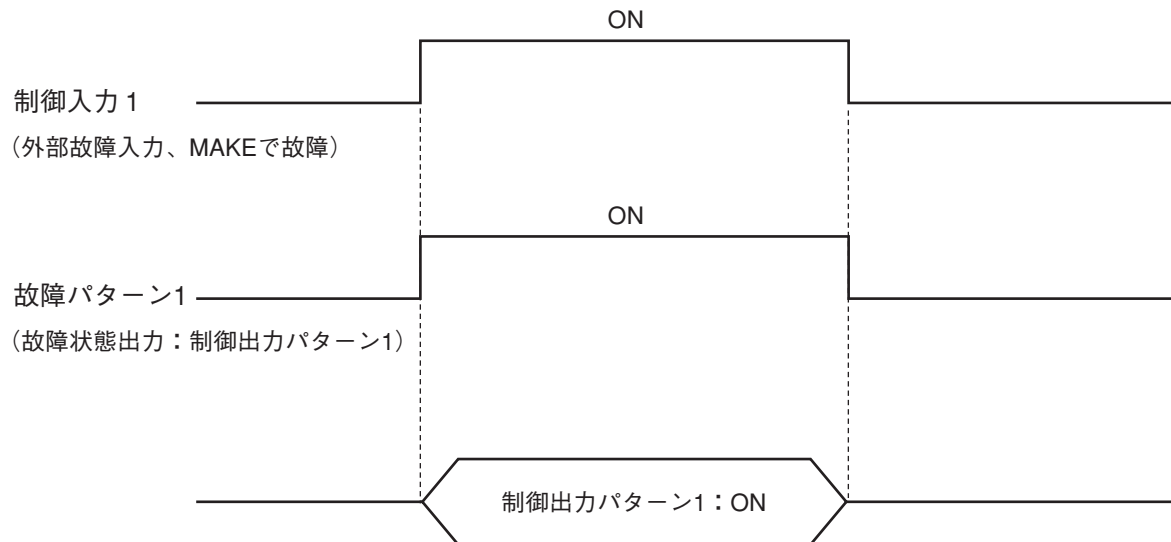
● 外部故障入力

外部機器の故障状態を取り込む機能です。

外部機器の故障状態は、制御入力メイク（短絡）されるかブレイク（開放）されるか、どちらかに合わせて設定を行います。

外部故障状態が入力されると、その外部故障入力が割り当てられている故障パターンが起動します。

[外部機器の故障時にメイクされる場合の例]

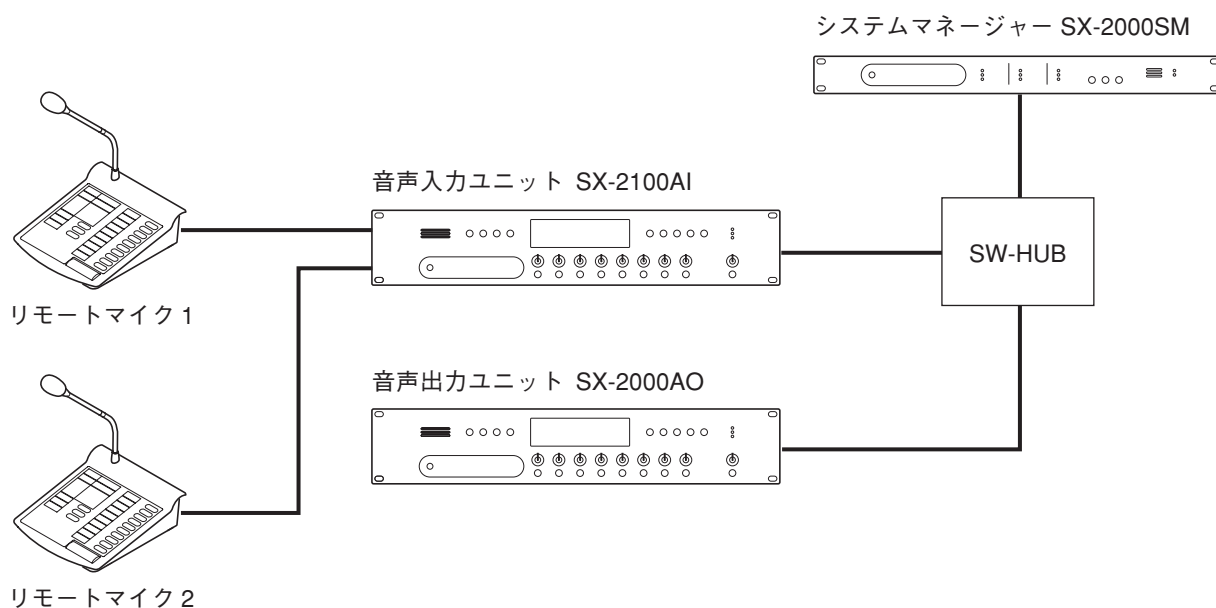


※ 外部機器がどのような条件で故障状態になるかについては、その機器の説明書をお読みください。

● RM放送状態表示

リモートマイクの機能キーに、他のリモートマイクの現在の放送状態を表示します。

[動作例]



リモートマイク2の機能キー1に、リモートマイク1の放送状態表示を設定します。

RMイベント設定

名称: リモートマイク2 AI-1 ID:2 Model:RM-200SA タイプ業務

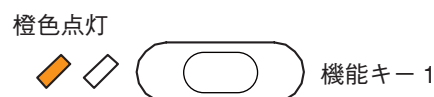
貼り付け コピー

機能キー

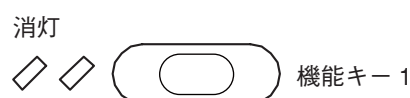
	名称	機能	内容
EMG	EMGKEY		
SYS1	SYSKEY1	-	
SYS2	SYSKEY2	-	
SYS3	SYSKEY3	-	
1	機能キー1	RM放送状態表示	リモートマイク1

リモートマイク1の放送を開始します。

リモートマイク1が放送している間、リモートマイク2の機能キー1に設定した放送状態表示灯が橙色点灯します。



リモートマイク1の放送が終了すると、リモートマイク2の機能キー1に設定した放送状態表示灯が消灯します。



● 業務EV放送

リモートマイクの機能キーの操作で放送したいゾーンに業務EV放送ができます。

業務EVをリモートマイク以外の機器から放送するときは、「パターン設定 → 業務放送パターン設定」(P. 76)で業務EVを用いた業務放送パターンを作成し、「イベント設定」(P. 84)で各機器のキーや制御入力に割り当てる必要があります。

業務EV放送は、「システム設定 → SX-2000SM」の「繰返し設定」(P. 49)によって、動作が次のようになります。

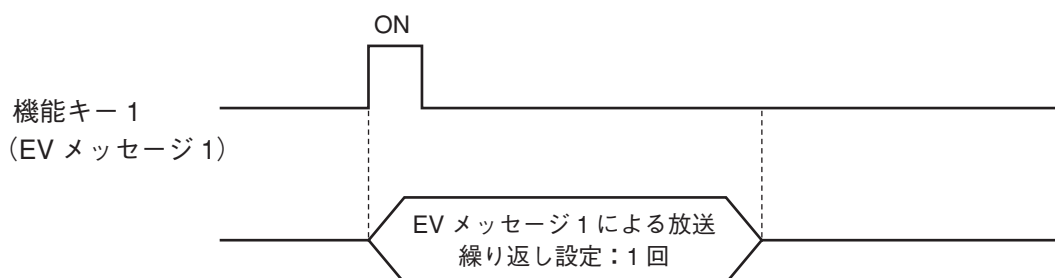
[EVメッセージ設定例]

	繰返し設定
EVメッセージ1	1回
EVメッセージ2	連続

● EVメッセージ1：繰返し設定が「1回」の場合

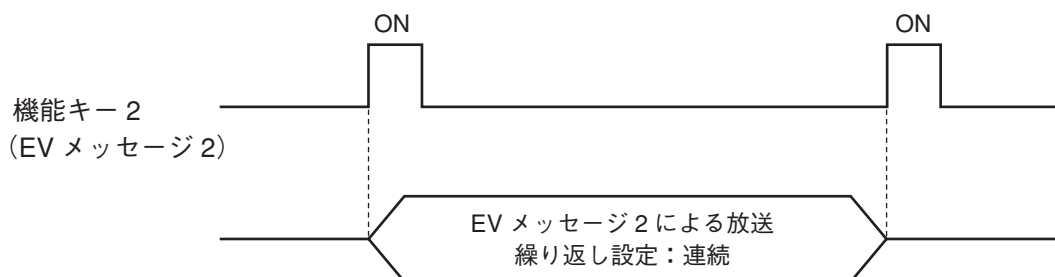
EVメッセージが1回放送されると終了します。

EVメッセージ再生中にリモートマイクの機能キーを押すと、業務EV放送は終了します。



● EVメッセージ2：繰返し設定が「連続」の場合

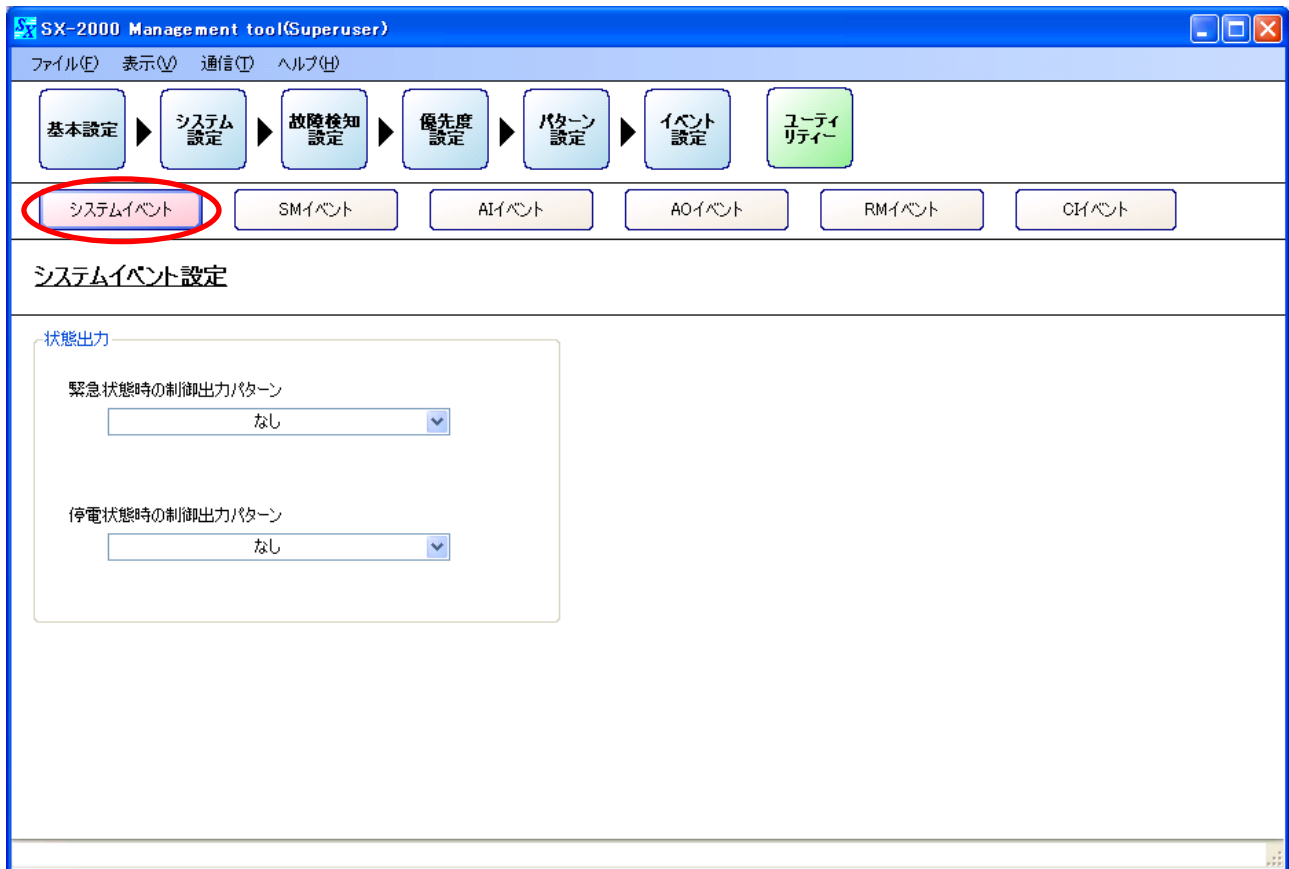
リモートマイクの機能キーが押されるまで業務EV放送を継続します。



■ システムイベント設定

システムの各状態における制御出力パターンを設定します。

イベント設定画面で「システムイベント」ボタンを押すと、システムイベント設定画面が表示されます。



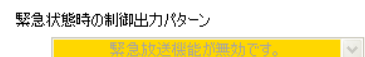
1. 緊急状態時の制御出力パターン

システムが緊急放送状態のときに発生させる制御出力パターンを選択します。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された制御出力パターン
------	-------------------------

ご注意

この項目は「基本設定」(P. 29) で緊急放送機能を「使用する」に設定しているときのみ選択可能です。
緊急放送機能を「使用しない」に選択していると右のような画面になり、制御出力パターンが選択できません。



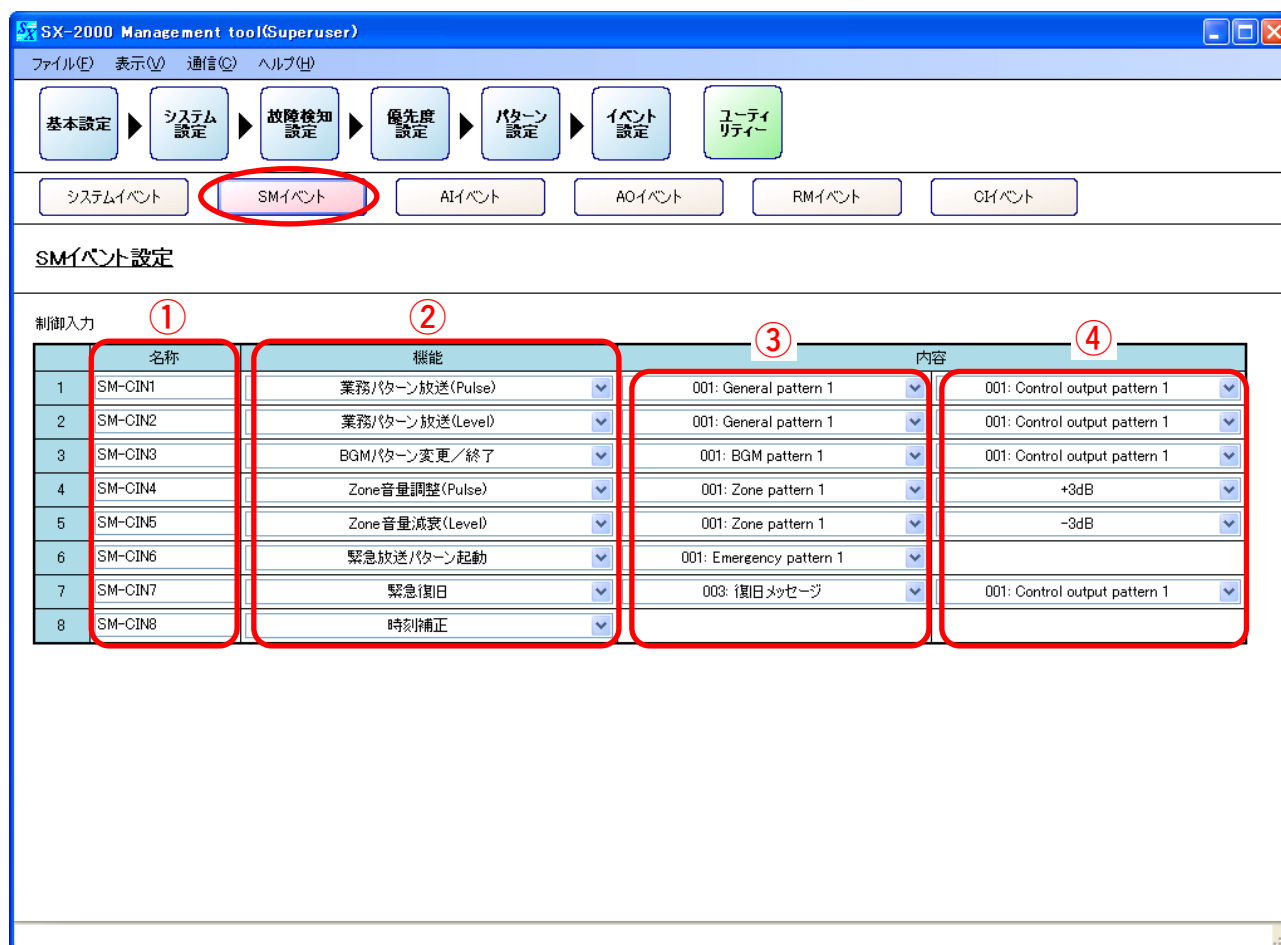
2. 停電状態時の制御出力パターン

この設定項目は海外向けシステムにのみ適用します。
デフォルト設定のままで、変更しないでください。

■ SM イベント設定

SX-2000SMの制御入力の割り当てを設定します。

イベント設定画面で「SM イベント」 ボタンを押すと、SM イベント設定画面が表示されます。



1. 名称

SX-2000SMの制御入力の名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルトでの名称は、例えば「SM-CIN 1」はSX-2000SMの制御入力番号1を表します。）
------	-----------------------------------------------------------------

2. 機能

SX-2000SMの制御入力の機能を設定します。

選択した機能に関する詳細設定がある場合は、「内容」(3)(4)に表示されます。

設定範囲	<p>なし（デフォルト）、業務パターン放送（Pulse）*、業務パターン放送（Level）*、BGMパターン変更/終了*、Zone音量調整（Pulse）*、Zone音量減衰（Level）*、時刻補正</p> <p>* あらかじめパターンを作成しないと選択できません。</p> <p>※ 「基本設定」(P. 29) で緊急放送機能を「使用する」に選択した場合は、次の機能が選択できます。</p> <p>緊急放送パターン起動、緊急放送パターン停止、緊急シーケンス停止、緊急シーケンスフェーズ移行、緊急復旧</p> <p>※ 「基本設定」(P. 29) で故障検知機能を「使用する」に選択した場合は、次の機能が選択できます。</p> <p>故障受理、故障リセット、外部故障入力</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

[機能の選択＝業務パターン放送（Level）のとき]

3. 内容（左側）

制御入力で起動する業務放送のパターンを選択します。

放送パターンは「[パターン設定 → 業務放送パターン設定](#)」(P. 76) で設定します。

放送パターンを「なし」に設定し、「制御出力パターン」(次項目) を設定すると、制御入力に連動して制御出力だけを動作させることができます。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された業務放送パターン
------	-------------------------

4. 内容（右側）

制御入力に連動して動作する制御出力パターンを選択します。

制御出力パターンは「[パターン設定 → 制御出力パターン設定](#)」(P. 78) で設定します。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された制御出力パターン
------	-------------------------

[機能の選択＝業務パターン放送（Pulse）のとき]

3. 内容（左側）

制御入力で起動する業務放送のパターンを選択します。

放送パターンは「[パターン設定 → 業務放送パターン設定](#)」(P. 76) で設定します。

放送パターンを「なし」に設定し、「制御出力パターン」(次項目) を設定すると、制御入力に連動して制御出力だけを動作させることができます。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された業務放送パターン
------	-------------------------

4. 内容（右側）

制御入力に連動して動作する制御出力パターンを選択します。

制御出力パターンは「[パターン設定 → 制御出力パターン設定](#)」(P. 78) で設定します。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された制御出力パターン
------	-------------------------

[機能の選択＝BGMパターン変更／終了のとき]

3. 内容（左側）

制御入力で起動するBGM放送のパターンを選択します。

放送パターンは「[パターン設定 → BGMパターン設定](#)」(P. 75) で設定します。

BGM放送パターンを「終了」に設定すると、「制御出力パターン」(次項目) は設定できません。

設定範囲	終了（デフォルト）、設定されたBGM放送パターン
------	--------------------------

4. 内容（右側）

制御入力に連動して動作する制御出力を選択します。

制御出力パターンは「[パターン設定 → 制御出力パターン設定](#)」(P. 78) で設定します。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された制御出力パターン
------	-------------------------

[機能の選択=Zone 音量調整 (Pulse) のとき]

3. 内容 (左側)

音量を調整する出力ゾーンパターンを選択します。
出力ゾーンを「なし」に設定すると、「増減量」(次項目) は設定できません。

設定範囲	なし (デフォルト)、設定された出力ゾーンパターン
------	---------------------------

4. 内容 (右側)

出力ゾーンパターンの音量の増減量を調節します。

設定範囲	0 dB (デフォルト)、-10 dB ~ +10 dB ※ 1 dB ステップ
------	------------------------------------------

[機能の選択=Zone 音量減衰 (Level) のとき]

3. 内容 (左側)

音量を減衰する出力ゾーンパターンを選択します。
出力ゾーンを「なし」に設定すると、「減衰量」(次項目) は設定できません。

設定範囲	なし (デフォルト)、設定された出力ゾーンパターン
------	---------------------------

4. 内容 (右側)

出力ゾーンパターンの音量の増減量を選択します。

設定範囲	-1 dB、-2 dB、-3 dB、-6 dB、-10 dB、-20 dB (デフォルト)、-40 dB、-∞ dB
------	------------------------------------------------------------

[機能の選択=緊急放送パターン起動のとき]

3. 内容 (左側)

制御入力で起動する緊急放送パターンを選択します。
緊急放送パターンは「パターン設定 → 緊急放送パターン設定」(P. 80) で設定します。

設定範囲	なし (デフォルト)、設定された緊急放送パターン
------	--------------------------

[機能の選択=緊急放送パターン停止のとき]

3. 内容 (左側)

制御入力で停止する緊急放送パターンを選択します。
緊急放送パターンは「パターン設定 → 緊急放送パターン設定」(P. 80) で設定します。

設定範囲	設定された緊急放送パターン (デフォルトは No. 1 のパターン)
------	------------------------------------

[機能の選択=緊急シーケンス停止のとき]

3. 内容 (左側)

制御入力で停止する緊急シーケンスを選択します。
緊急シーケンスは「パターン設定 → 緊急シーケンス設定」(P. 79) で設定します。

設定範囲	設定された緊急シーケンス (デフォルトは No. 1 のシーケンス)
------	------------------------------------

[機能の選択＝緊急シーケンスフェーズ移行のとき]

3. 内容（左側）

制御入力で移行させる緊急シーケンスを選択します。

緊急シーケンスは「[パターン設定 → 緊急シーケンス設定](#)」(P. 79) で設定します。

設定範囲	設定された緊急シーケンス（デフォルトはNo. 1のシーケンス）
------	---------------------------------

[機能の選択＝緊急復旧のとき]

3. 内容（左側）

制御入力で放送するEVメッセージ（タイプ：復旧）を選択します。

EVメッセージは「[システム設定 → システムマネージャー → EVメッセージ](#)」(P. 46) で設定します。

EVメッセージを「なし」に設定すると、「制御出力パターン」（次項目）は設定できません。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定されたEVメッセージ
------	------------------------

4. 内容（右側）

制御入力に連動して動作する制御出力パターンを選択します。

制御出力パターンは「[パターン設定 → 制御出力パターン設定](#)」(P. 78) で設定します。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された制御出力パターン
------	-------------------------

[機能の選択＝外部故障入力のとき]

3. 内容（左側）

外部故障入力の故障判定方法を選択します。

※ この機能を設定すると、「[故障パターン設定](#)」の「[外部故障入力](#)」項目 (P. 83) で選択できるようになります。

設定範囲	Breakで故障（デフォルト）、Makeで故障
------	-------------------------

■ AI イベント設定

SX-2000AI、SX-2100AIの機能キー、チャンネルキー、制御入力の割り当てを設定します。

イベント設定画面で [AI イベント] ボタンを押すと、AI イベント設定画面が表示されます。

AI イベント設定

ユニットNo. 1

機能キー

名称	機能	内容
API-FKEY1	業務パターン放送	001: General pattern 1
API-FKEY2	BGMパターン変更/終了	001: BGM pattern 1
API-FKEY3	BGMパターン変更/終了	終了
API-FKEY4	-	-

チャンネルキー

名称	機能	内容
API-CHKEY1	Channel ON/OFF	
API-CHKEY2	Channel ON/OFF	
API-CHKEY3	Channel ON/OFF	
API-CHKEY4	Channel ON/OFF	
API-CHKEY5	Channel ON/OFF	
API-CHKEY6	Channel ON/OFF	
API-CHKEY7	Channel ON/OFF	
API-CHKEY8	Channel ON/OFF	

制御入力

名称	機能	内容
API-CIN1	業務パターン放送(Pulse)	001: General pattern 1
API-CIN2	業務パターン放送(Level)	001: General pattern 1
API-CIN3	BGMパターン変更/終了	001: BGM pattern 1
API-CIN4	BGMパターン変更/終了	終了
API-CIN5	Zone音量調整(Pulse)	001: Zone pattern 1
API-CIN6	Zone音量減衰(Level)	001: Zone pattern 1
API-CIN7	緊急放送パターン起動	001: Emergency pattern 1
API-CIN8	緊急放送パターン停止	001: Emergency pattern 1
API-CIN9	緊急シーケンス停止	001: Emergency sequence 1
API-CIN10	緊急シーケンスフェーズ移行	001: Emergency sequence 1
API-CIN11	緊急復旧	003: 復旧メッセージ
API-CIN12	故障受理	
API-CIN13	故障リセット	
API-CIN14	外部故障入力	Breakで故障
API-CIN15	-	
API-CIN16	-	

1. ユニット No.

ボックスまたは矢印キーをクリックし、設定したいSX-2000AIまたはSX-2100AIを選択します。

2. コピー・貼り付けボタン

[コピー] ボタンを押すと、表示画面内のすべての項目について、設定した内容をコピーすることができます。ただし、デフォルトの名称はコピーされません。

コピーした内容は、①で他のSX-2000AIまたはSX-2100AIを選択しているときに [貼り付け] ボタンを押すことで貼り付けることができます。

3. 機能キー

機能キー

	名称	機能	内容	
1	AI1-FKEY1	業務パターン放送	001: General pattern 1	001: Control output pattern 1
2	AI1-FKEY2	BGMパターン変更／終了	001: BGM pattern 1	001: Control output pattern 1
3	AI1-FKEY3	BGMパターン変更／終了	終了	
4	AI1-FKEY4	-		

● 名称

機能キーの名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルトでの名称は、例えば「AI1-FKEY1」は機器番号1のSX-2000AIまたはSX-2100AIの機能キー番号1を表します。）
------	------------------------------------------------------------------------------------

● 機能

機能キーに割り当てる機能を選択します。

選択した機能に関する詳細設定がある場合は、「内容」に表示されます。

設定範囲	なし（デフォルト）、業務パターン放送、BGMパターン変更／終了
------	---------------------------------

[機能の選択＝業務パターン放送のとき]

● 内容（左側）

機能キーの操作で起動する業務放送のパターンを選択します。

放送パターンは「[パターン設定 → 業務放送パターン設定](#)」(P. 76) で設定します。

放送パターンを「なし」に設定し、「制御出力パターン」(次項目)を設定すると、制御入力に連動して制御出力だけを動作させることができます。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された業務放送パターン
------	-------------------------

● 内容（右側）

機能キーの操作に連動して動作する制御出力パターンを選択します。

制御出力パターンは「[パターン設定 → 制御出力パターン設定](#)」(P. 78) で設定します。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された制御出力パターン
------	-------------------------

[機能の選択＝BGMパターン変更／終了のとき]

● 内容（左側）

機能キーの操作で起動するBGM放送のパターンを選択します。

放送パターンは「[パターン設定 → BGMパターン設定](#)」(P. 75) で設定します。

BGM放送パターンを「終了」に設定すると、「制御出力パターン」(次項目)は設定できません。

設定範囲	終了（デフォルト）、設定されたBGM放送パターン
------	--------------------------

● 内容（右側）

機能キーの操作に連動して動作する制御出力を選択します。

制御出力パターンは「[パターン設定 → 制御出力パターン設定](#)」(P. 78) で設定します。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された制御出力パターン
------	-------------------------

4. チャンネルキー

チャンネルキー

	名称	機能	内容	
1	AI1-CHKEY1	Channel ON/OFF		
2	AI1-CHKEY2	Channel ON/OFF		
3	AI1-CHKEY3	Channel ON/OFF		
4	AI1-CHKEY4	Channel ON/OFF		
5	AI1-CHKEY5	Channel ON/OFF		
6	AI1-CHKEY6	Channel ON/OFF		
7	AI1-CHKEY7	Channel ON/OFF		
8	AI1-CHKEY8	Channel ON/OFF		

● 名称

チャンネルキーの名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルトでの名称は、例えば「AI1-CH1」は機器番号1のSX-2000AIまたはSX-2100AIのチャンネルキー番号1を表します。）
------	-------------------------------------------------------------------------------------

● 機能

チャンネルキーに割り当てる機能を選択します。

選択した機能に関する詳細設定がある場合は、「内容」に表示されます。

設定範囲	なし、業務パターン放送、チャンネルON/OFF（デフォルト）
------	--------------------------------

[機能の選択＝業務パターン放送のとき]

● 内容（左側）

チャンネルキーの操作で起動する業務放送のパターンを選択します。

放送パターンは「[パターン設定 → 業務放送パターン設定](#)」(P. 76) で設定します。

放送パターンを「なし」に設定し、「制御出力パターン」(次項目) を設定すると、制御入力に連動して制御出力だけを動作させることができます。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された業務放送パターン
------	-------------------------

● 内容（右側）

チャンネルキーの操作に連動して動作する制御出力パターンを選択します。

制御出力パターンは「[パターン設定 → 制御出力パターン設定](#)」(P. 78) で設定します。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された制御出力パターン
------	-------------------------

5. 制御入力（SX-2100AIのみ）

制御入力

	名称	機能	内容	
1	AI1-CIN1	業務パターン放送(Pulse) ▼	001: General pattern 1 ▼	001: Control output pattern 1 ▼
2	AI1-CIN2	業務パターン放送(Level) ▼	001: General pattern 1 ▼	001: Control output pattern 1 ▼
3	AI1-CIN3	BGMパターン変更/終了 ▼	001: BGM pattern 1 ▼	なし ▼
4	AI1-CIN4	BGMパターン変更/終了 ▼	終了 ▼	
5	AI1-CIN5	Zone音量調整(Pulse) ▼	001: Zone pattern 1 ▼	+6dB ▼
6	AI1-CIN6	Zone音量減衰(Level) ▼	001: Zone pattern 1 ▼	-6dB ▼
7	AI1-CIN7	緊急放送/パターン起動 ▼	001: Emergency pattern 1 ▼	
8	AI1-CIN8	緊急放送/パターン停止 ▼	001: Emergency pattern 1 ▼	
9	AI1-CIN9	緊急シーケンス停止 ▼	001: Emergency sequence 1 ▼	
10	AI1-CIN10	緊急シーケンスフェーズ移行 ▼	001: Emergency sequence 1 ▼	
11	AI1-CIN11	緊急復旧 ▼	003: 復旧メッセージ ▼	001: Control output pattern 1 ▼
12	AI1-CIN12	故障受理 ▼		
13	AI1-CIN13	故障リセット ▼		
14	AI1-CIN14	外部故障入力 ▼	Breakで故障 ▼	
15	AI1-CIN15	- ▼		
16	AI1-CIN16	- ▼		

SX-2100AIの制御入力に割り当てる機能を設定します。

設定のしかたは、SM イベント設定（SX-2000SMの制御入力の機能設定 ■ P. 98）と同様です。

ただし、「時刻補正」の機能を割り当てることはできません。

■ AO イベント設定

SX-2000AOの機能キー、チャンネルキー、制御入力の割り当てを設定します。

イベント設定画面で「AOイベント」ボタンを押すと、AOイベント設定画面が表示されます。

SX-2000 Management tool(Superuser)

ファイル(F) 表示(V) 通信(C) ヘルプ(H)

基本設定 ▶ システム設定 ▶ 故障検知設定 ▶ 優先度設定 ▶ パターン設定 ▶ イベント設定 ▶ ユーティリティ

システムイベント SMイベント AIイベント **AOイベント** RMイベント CIイベント

AOイベント設定 ① ユニットNo. 1 ② 貼り付け コピー

機能キー ③

	名称	機能	内容	
1	AO1-FKEY1	業務パターン放送	001: General pattern 1	001: Control output pattern 1
2	AO1-FKEY2	BGM/パターン変更/終了	001: BGM pattern 1	001: Control output pattern 1
3	AO1-FKEY3	BGM/パターン変更/終了	終了	
4	AO1-FKEY4	-		

チャンネルキー ④

	名称	機能	内容	
1	AO1-CHKEY1	Channel ON/OFF		
2	AO1-CHKEY2	Channel ON/OFF		
3	AO1-CHKEY3	Channel ON/OFF		
4	AO1-CHKEY4	Channel ON/OFF		
5	AO1-CHKEY5	Channel ON/OFF		
6	AO1-CHKEY6	Channel ON/OFF		
7	AO1-CHKEY7	Channel ON/OFF		
8	AO1-CHKEY8	Channel ON/OFF		

制御入力 ⑤

	名称	機能	内容	
1	AO1-CIN1	業務パターン放送(Pulse)	001: General pattern 1	001: Control output pattern 1
2	AO1-CIN2	業務パターン放送(Level)	001: General pattern 1	001: Control output pattern 1
3	AO1-CIN3	BGM/パターン変更/終了	終了	
4	AO1-CIN4	緊急放送/パターン起動	001: Emergency pattern 1	
5	AO1-CIN5	緊急復旧	003: 復旧メッセージ	なし
6	AO1-CIN6	故障受理		
7	AO1-CIN7	故障リセット		
8	AO1-CIN8	外部故障入力	Breakで故障	

1. ユニット No.

ボックスまたは矢印キーをクリックし、設定したいSX-2000AOを選択します。

2. コピー・貼り付けボタン

「コピー」ボタンを押すと、表示画面内のすべての項目について、設定した内容をコピーすることができます。ただし、デフォルトの名称はコピーされません。

コピーした内容は、①で他のSX-2000AOを選択しているときに「貼り付け」ボタンを押すことで貼り付けることができます。

3. 機能キー

機能キー

	名称	機能	内容	
1	AO1-FKEY1	業務/パターン放送	001: General pattern 1	001: Control output pattern 1
2	AO1-FKEY2	BGM/パターン変更/終了	001: BGM pattern 1	001: Control output pattern 1
3	AO1-FKEY3	BGM/パターン変更/終了	終了	
4	AO1-FKEY4	-		

SX-2000AOの機能キーの名称とキーに割り当てる機能を設定します。
設定のしかたは、AIイベント設定（SX-2000AI、SX-2100AIの機能キーの機能設定 [P. 103](#)）と同様です。

4. チャンネルキー

チャンネルキー

	名称	機能	内容	
1	AO1-CHKEY1	Channel ON/OFF		
2	AO1-CHKEY2	Channel ON/OFF		
3	AO1-CHKEY3	Channel ON/OFF		
4	AO1-CHKEY4	Channel ON/OFF		
5	AO1-CHKEY5	Channel ON/OFF		
6	AO1-CHKEY6	Channel ON/OFF		
7	AO1-CHKEY7	Channel ON/OFF		
8	AO1-CHKEY8	Channel ON/OFF		

SX-2000AOのチャンネルキーの名称とキーに割り当てる機能を設定します。
設定のしかたは、AIイベント設定（SX-2000AI、SX-2100AIのチャンネルキーの機能設定 [P. 104](#)）と同様です。

5. 制御入力

制御入力

	名称	機能	内容	
1	AO1-CIN1	業務/パターン放送(Pulse)	001: General pattern 1	001: Control output pattern 1
2	AO1-CIN2	業務/パターン放送(Level)	001: General pattern 1	001: Control output pattern 1
3	AO1-CIN3	BGM/パターン変更/終了	終了	
4	AO1-CIN4	緊急放送/パターン起動	001: Emergency pattern 1	
5	AO1-CIN5	緊急復旧	003: 復旧メッセージ	なし
6	AO1-CIN6	故障受理		
7	AO1-CIN7	故障リセット		
8	AO1-CIN8	外部故障入力	Breakで故障	

SX-2000AOの制御入力の名称と入力に割り当てる機能を設定します。
設定のしかたは、SMイベント設定（SX-2000SMの制御入力の機能設定 [P. 98](#)）と同様です。
ただし、「時刻補正」の機能を割り当てることはできません。

■ RM イベント設定

RM-200S、RM-200SA、RM-210のカバー付きキーおよび機能キーの割り当てを設定します。

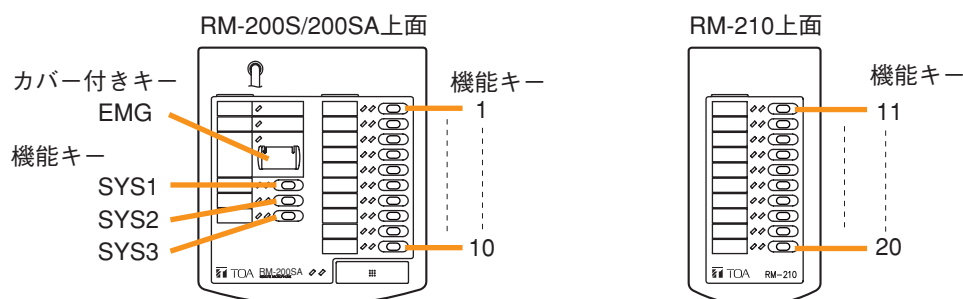
イベント設定画面でRM イベントボタンを押すと、RM イベント設定画面が表示されます。

RM イベント設定 ①

名称: AI1-RM2 AI-1 ID:2 Model:RM-200SA タイプ:緊急/業務 貼り付け コピー ③

機能キー ②

	名称	機能	内容	
EMG	EMGKEY	緊急放送/パターン起動	001: Emergency pattern 1	
SYS1	SYSKEY1	業務パターン放送	001: General pattern 1	001: Control output pattern 1
SYS2	SYSKEY2	BGM/パターン変更/終了	001: BGM pattern 1	001: Control output pattern 1
SYS3	SYSKEY3	BGM/パターン変更/終了	終了	
1	KEY1	ゾーン選択(パターン)	001: Zone pattern 1	001: Control output pattern 1
2	KEY2	ゾーン選択(個別)	AO1-ZONE1	なし
3	KEY3	ゾーン選択(個別)	AO1-ZONE2	なし
4	KEY4	ゾーン選択クリア		
5	KEY5	業務EV放送	004: コマーシャル	
6	KEY6	RM放送状態表示	AI1-RM1	
7	KEY7	緊急復旧	003: 復旧メッセージ	001: Control output pattern 1
8	KEY8	故障受理	001: Failure output pattern 1	
9	KEY9	故障リセット		
10	KEY10	ランプテスト		



1. 名称

ボックスまたは矢印キーをクリックし、設定したいRM-200SまたはRM-200SAを選択します。
RM-210が接続されているRM-200SまたはRM-200SAを選択すると、RM-210の機能キーも画面に表示されます。(P. 57「システム設定 → RM-200S、RM-200SA → RM-210 台数」)

2. 機能設定

● 名称

機能キーの名称を設定します。

設定範囲	半角32文字、全角16文字（デフォルト：カバー付きキーは「EMG」、機能キー（左）は「SYS1～3」、機能キー（右）は「1～10」）
------	--------------------------------------------------------------------

● 機能

RM-200S、RM-200SA、RM-210*のカバー付きキーまたは機能キーの機能を選択します。

選択した機能に関する詳細設定がある場合は、「内容」欄に表示されます。

* RM-210に割り当てできる機能は、どのリモートマイクに接続しているかにより異なります。接続しているリモートマイク（RM-200SAまたはRM-200S）と同じ機能を割り当てできます。

設定範囲	<p>なし（デフォルト）、ゾーン選択（パターン）、ゾーン選択（個別）、ゾーン選択クリア、業務パターン放送*¹、BGMパターン変更／終了*¹、RM放送状態表示、ランプテスト*²</p> <p>*¹ あらかじめパターンを作成しないと選択できません。</p> <p>*² RM-200SAのみ</p> <p>※ 「システム設定」(P. 44) でSX-2000SMに登録した音源の「タイプ」を「業務」に設定した場合は、次の機能が選択できます。</p> <p style="padding-left: 40px;">業務EV放送</p> <p>※ 「基本設定」(P. 29) で緊急放送機能を「使用する」に選択し、かつ「システム設定」(P. 44) でRM-200SAの「タイプ」を「緊急／業務」に設定した場合は、次の機能が選択できます。(RM-200SAのみ)</p> <p style="padding-left: 40px;">緊急放送パターン起動、緊急放送パターン停止、緊急シーケンス停止、緊急シーケンスフェーズ移行、緊急復旧</p> <p>※ 「基本設定」(P. 29) で故障検知機能を「使用する」に選択した場合は、次の機能が選択できます。</p> <p style="padding-left: 40px;">故障受理、故障リセット</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ご注意

- ・カバー付きキーに割り当てることができるのは「緊急放送パターン起動」の機能のみです。
 - ・このソフトウェアでカバー付きキーの機能を「なし」に設定しても「緊急放送パターン起動」に設定しても、カバー付きキーでは緊急一斉放送（ソフトウェア制御を介さないアナログ伝送による一斉放送）を行うことができます。
- 詳しくは、別冊の操作説明書「緊急一斉放送のしかた」をお読みください。

[機能の選択＝ゾーン選択（パターン）のとき]

● 内容（左側）

RM-200S、RM-200SA、RM-210のキーに設定する出力ゾーン（パターン）を選択します。

出力ゾーン（パターン）は「パターン設定 → 出力ゾーンパターン設定」(P. 74) で設定します。

出力ゾーン（パターン）を「なし」に設定すると、「制御出力パターン」（次項目）は設定できません。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された出力ゾーンパターン
------	--------------------------

● 内容（右側）

RM-200S、RM-200SA、RM-210のキーの操作に連動して動作する制御出力パターンを選択します。

制御出力パターンは「パターン設定 → 制御出力パターン設定」(P. 78) で設定します。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された制御出力パターン
------	-------------------------

[機能の選択＝ゾーン選択（個別）のとき]

● 内容（左側）

RM-200S、RM-200SA、RM-210のキーに設定する出力ゾーン（個別）を選択します。
出力ゾーン（個別）は「システム設定 → 音声出力ユニット」(P. 58) で設定します。
出力ゾーン（個別）を「なし」に設定すると、「制御出力パターン」（次項目）は設定できません。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された出力ゾーン（個別）
------	--------------------------

● 内容（右側）

RM-200S、RM-200SA、RM-210のキーの操作に連動して動作する制御出力パターンを選択します。
制御出力パターンは「パターン設定 → 制御出力パターン設定」(P. 78) で設定します。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された制御出力パターン
------	-------------------------

[機能の選択＝業務パターン放送のとき]

● 内容（左側）

RM-200S、RM-200SA、RM-210のキーの操作で起動する業務放送のパターンを選択します。
放送パターンは「パターン設定 → 業務放送パターン設定」(P. 76) で設定します。
放送パターンを「なし」に設定し、「制御出力パターン」（次項目）を設定すると、制御入力に連動して制御出力だけを動作させることができます。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された業務放送パターン
------	-------------------------

● 内容（右側）

RM-200S、RM-200SA、RM-210のキーの操作に連動して動作する制御出力パターンを選択します。
制御出力パターンは「パターン設定 → 制御出力パターン設定」(P. 78) で設定します。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された制御出力パターン
------	-------------------------

[機能の選択＝BGMパターン変更／終了のとき]

● 内容（左側）

RM-200S、RM-200SA、RM-210のキーの操作で起動するBGM放送のパターンを選択します。
放送パターンは「パターン設定 → BGMパターン設定」(P. 75) で設定します。
BGM放送パターンを「終了」に設定すると、「制御出力パターン」（次項目）は設定できません。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定されたBGMパターン
------	------------------------

● 内容（右側）

RM-200S、RM-200SA、RM-210のキーの操作に連動して動作する制御出力を選択します。
制御出力パターンは「パターン設定 → 制御出力パターン設定」(P. 78) で設定します。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された制御出力パターン
------	-------------------------

[機能の選択＝RM放送状態表示のとき]

● 内容（左側）

RM-200S、RM-200SA、RM-210の機能キーに、放送状態を監視したいリモートマイクを設定します。
設定されたりリモートマイクが放送中のときは、機能キーに対応する放送状態表示灯が点灯します。

設定範囲	設定されたりリモートマイク（デフォルトは、一番小さい機器番号のSX-2000AI/2100AIに接続されている、一番小さい機器番号のリモートマイク）
------	----------------------------------------------------------------------------

[機能の選択＝RM放送状態表示のとき]

● 内容（左側）

RM-200S、RM-200SA、RM-210の機能キーに、放送状態を監視したいリモートマイクを設定します。
設定されたリモートマイクが放送中のときは、機能キーに対応する放送状態表示灯が点灯します。

設定範囲	設定されたリモートマイク（デフォルトは、一番小さい機器番号のSX-2000AI/2100AIに接続されている、一番小さい機器番号のリモートマイク）
------	---------------------------------------------------------------------------

[機能の選択＝業務EV放送のとき]

● 内容（左側）

RM-200S、RM-200SA、RM-210のキーの操作で起動する業務EV放送のメッセージを選択します。
業務EVメッセージの登録は、「システム設定 → SX-2000SM」(P. 46「音源を登録する」)で行います。
業務EVメッセージが登録されていない場合は、設定できません。

設定範囲	設定された業務EVメッセージ（デフォルトは、設定された業務EVメッセージの中の一番小さい音源No.）
------	----------------------------------------------------

[機能の選択＝緊急放送パターン起動のとき]

● 内容（左側）

RM-200SA、RM-210のキーの操作で起動する緊急放送パターンを選択します。
緊急放送パターンは「パターン設定 → 緊急放送パターン設定」(P. 80)で設定します。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された緊急放送パターン
------	-------------------------

[機能の選択＝緊急放送パターン停止のとき]

● 内容（左側）

RM-200SA、RM-210のキーの操作で停止する緊急放送パターンを選択します。
緊急放送パターンは「パターン設定 → 緊急放送パターン設定」(P. 80)で設定します。

設定範囲	設定された緊急放送パターン（デフォルトはNo. 1のパターン）
------	---------------------------------

[機能の選択＝緊急シーケンス停止のとき]

● 内容（左側）

RM-200SA、RM-210のキーの操作で停止する緊急シーケンスを選択します。
緊急シーケンスは「パターン設定 → 緊急シーケンス」(P. 79)で設定します。

設定範囲	設定された緊急シーケンス（デフォルトはNo. 1のシーケンス）
------	---------------------------------

[機能の選択＝緊急シーケンスフェーズ移行のとき]

● 内容（左側）

RM-200SA、RM-210のキーの操作で移行させる緊急シーケンスを選択します。
緊急シーケンスは「パターン設定 → 緊急シーケンス」(P. 79)で設定します。

設定範囲	設定された緊急シーケンス（デフォルトはNo. 1のシーケンス）
------	---------------------------------

[機能の選択＝緊急復旧のとき]

● 内容（左側）

RM-200SA、RM-210のキーの操作で放送するEVメッセージ（タイプ：復旧）を選択します。
EVメッセージは「システム設定 → システムマネージャー → EVメッセージ」（P. 46）で設定します。
EVメッセージを「なし」に設定すると、「制御出力パターン」（次項目）は設定できません。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定されたEVメッセージ
------	------------------------

● 内容（右側）

RM-200SA、RM-210のキーの操作に連動して動作する制御出力パターンを選択します。
制御出力パターンは「パターン設定 → 制御出力パターン設定」（P. 78）で設定します。

設定範囲	なし（デフォルト）、設定された制御出力パターン
------	-------------------------

[機能の選択＝故障受理のとき]

● 内容（左側）

RM-200S、RM-200SA、RM-210のキーに割り当てる故障検知パターンを選択します。
故障検知パターンは「パターン設定 → 故障パターン設定」（P. 82）で設定します。

設定範囲	設定された故障検知パターン（デフォルトはNo. 1の故障検知パターン）
------	-------------------------------------

3. コピー・貼り付けボタン

コピーボタンを押すと、表示画面内のすべての項目について、設定した内容をコピーすることができます。
ただし、デフォルトの名称はコピーされません。

コピーした内容は、①で他のRM-200SまたはRM-200SAを選択しているときに[貼り付け]ボタンを押すことで貼り付けることができます。

■ CI イベント設定

SX-2000CIの制御入力の割り当てを設定します。

イベント設定画面でCIイベントボタンを押すと、CIイベント設定画面が表示されます。

CIイベント設定 ①

名称: AO1-CI1 ID: AO-1 ID:1

貼り付け コピー ③

制御入力	名称	機能	内容
1	AO1-CI-1	業務パターン放送(Pulse)	001: General pattern 1
2	AO1-CI-2	業務パターン放送(Level)	001: General pattern 1
3	AO1-CI-3	BGM/パターン変更/終了	001: BGM pattern 1
4	AO1-CI-4	BGM/パターン変更/終了	終了
5	AO1-CI-5	Zone音量調整(Pulse)	001: Zone pattern 1
6	AO1-CI-6	Zone音量減衰(Level)	001: Zone pattern 1
7	AO1-CI-7	緊急放送/パターン起動	001: Emergency pattern 1
8	AO1-CI-8	緊急放送/パターン停止	001: Emergency pattern 1
9	AO1-CI-9	緊急シーケンス停止	001: Emergency sequence 1
10	AO1-CI-10	緊急シーケンスフェーズ移行	001: Emergency sequence 1
11	AO1-CI-11	緊急復旧	なし
12	AO1-CI-12	故障受理	
13	AO1-CI-13	故障リセット	
14	AO1-CI-14	外部故障入力	Breakで故障
15	AO1-CI-15	-	
16	AO1-CI-16	-	
17	AO1-CI-17	-	
18	AO1-CI-18	-	
19	AO1-CI-19	-	
20	AO1-CI-20	-	

1. 名称

ボックスまたは矢印キーをクリックし、設定したいSX-2000CIを選択します。

2. 制御入力

SX-2000CIの制御入力に割り当てる機能を設定します。

設定のしかたは、SMイベント設定（SX-2000SMの制御入力の機能設定 [P. 98](#)）と同様です。

ただし、「時刻補正」の機能を割り当てることはできません。

3. コピー・貼り付けボタン

[コピー] ボタンを押すと、表示画面内のすべての項目について、設定した内容をコピーすることができます。ただし、デフォルトの名称はコピーされません。

コピーした内容は、①で他のSX-2000CIを選択しているときに [貼り付け] ボタンを押すことで貼り付けることができます。

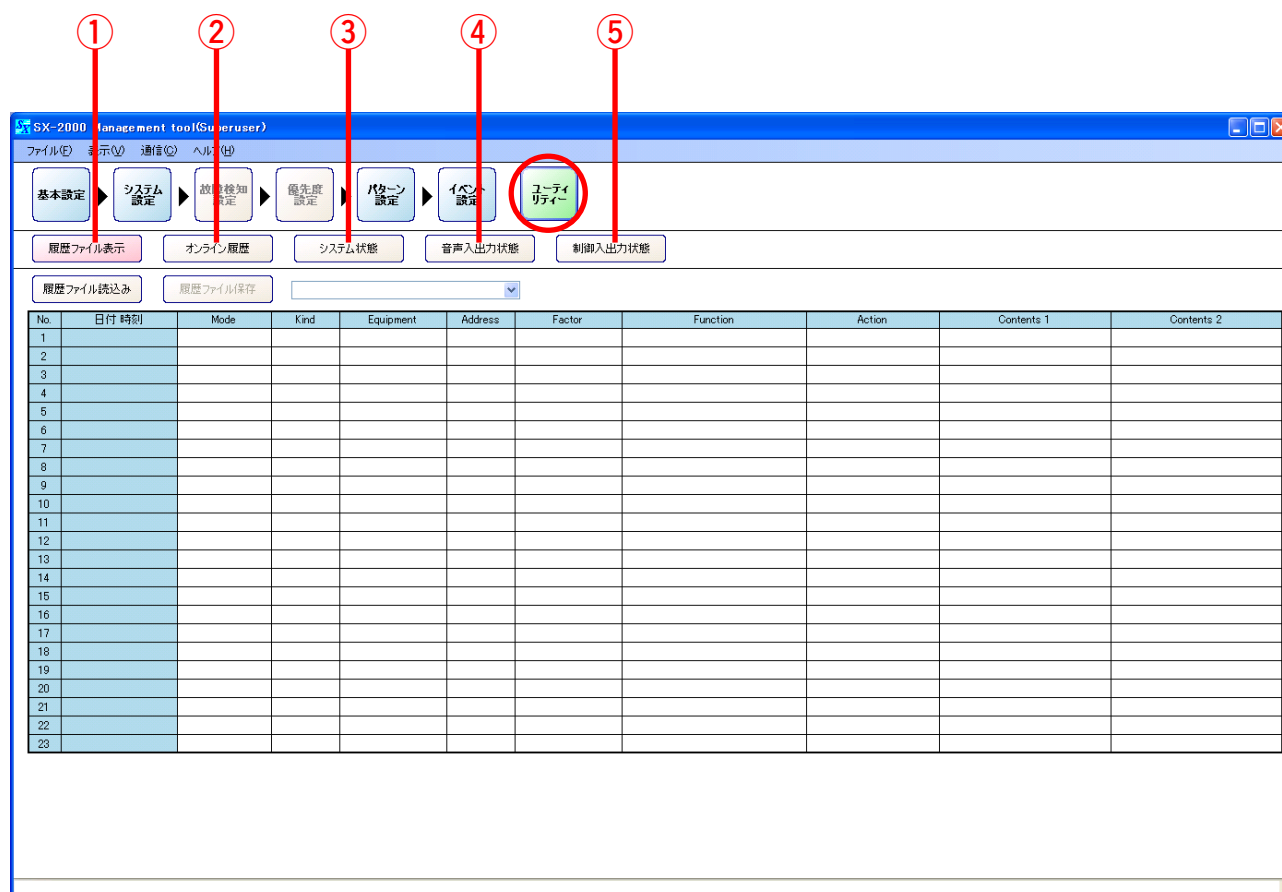
ユーティリティ

メニュー項目の「ユーティリティ」ボタンをクリックすると、ユーティリティ画面が表示されます。

履歴ファイルの表示、オンラインで履歴を取得、システムの状態表示、音声の入出力状態表示、制御入出力の状態表示ができます。

ご注意

履歴ファイルの表示以外の機能を行うためには、あらかじめSX-2000SMとパソコンを通信接続しておく必要があります。詳しくは、P. 149「SX-2000SMとパソコンを通信接続する」をお読みください。



①～⑤の各ボタンを押すと、各設定画面が表示されます。

① 履歴ファイル表示ボタン

CFカードの履歴状態の表示、履歴データの出力をします。(P. 115)

② オンライン履歴ボタン

履歴データをオンラインで表示します。(P. 119)

③ システム状態ボタン

システムの構成や故障状態などをオンラインで表示します。(P. 122)

④ 音声入出力状態ボタン

音声の入出力状態をオンラインで表示します。(P. 143)

⑤ 制御入出力状態ボタン

制御入出力状態をオンラインで表示します。(P. 145)

■ 履歴ファイルの表示

ユーティリティ画面で「履歴ファイル表示」ボタンを押すと、履歴ファイル表示画面が表示されます。

No.	日付時刻	Mode	Kind	Equipment	Address	Factor	Function	Action	Contents 1	Contents 2
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										

SX-2000 システムの履歴を、s2l形式のデータとしてCFカードに保存し、設定ソフトウェアで表示させることができます。

また、表示されている履歴データを Excelの CSV形式のファイルで出力させることができます。

履歴データには、すべてのログを含む動作履歴データと、故障ログのみを含む故障履歴データがあります。動作履歴データは「Sx2kOp**.s2l」というファイル名が、故障履歴データは「Sx2kFa**.s2l」というファイル名が自動的に付けられて、CFカードに保存されます。

「**」の部分には、データが保存された順に00～99までの数字が入ります。

100個を超えて保存すると、自動的に古い順から上書きされます。履歴の新旧は、ファイルの日付で判断してください。

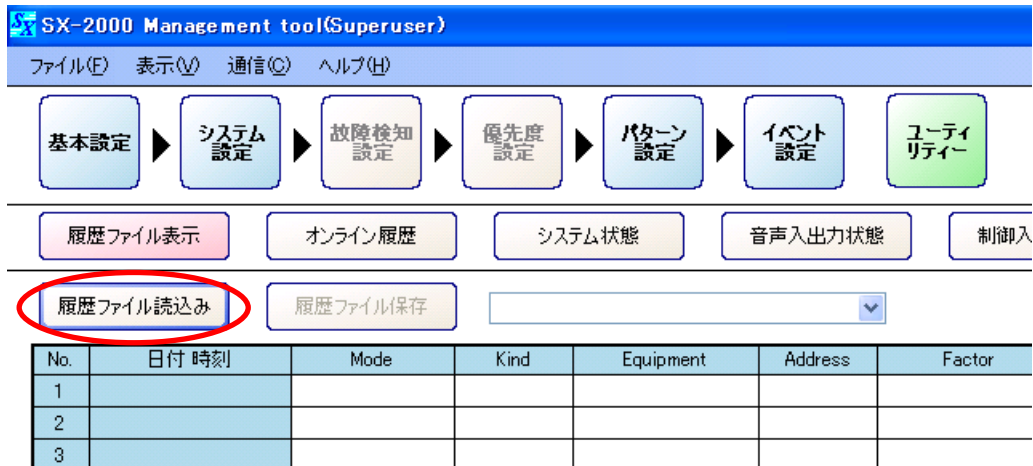
表示できる履歴の件数は、動作履歴で最大1000件、故障履歴で最大100件です。

SX-2000SMの履歴をCFカードに保存する方法については、別冊の操作説明書「履歴データの読み込み」をお読みください。

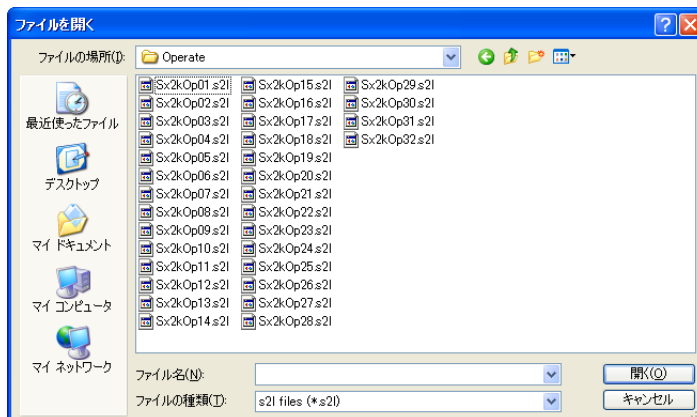
● 履歴ファイルの読み込み

履歴ファイル表示画面に履歴データが表示されていないときや、表示中の履歴データと違うフォルダーに保存されている別の履歴データを表示させたいときは、次の手順で履歴ファイル（.s2l）を読み込みます。

1 履歴ファイル表示画面で「履歴ファイル読み込み」ボタンを押す。



「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。



2 履歴ファイルが保存されている場所を指定し、ファイルを開く。

履歴ファイル表示画面に履歴データが表示されます。



読み込んだ履歴ファイルの作成日時およびファイル名称が表示されます。

SX-2000 Management tool(Superuser)

ファイル(F) 表示(V) 通信(C) ヘルプ(H)

基本設定 ▶ システム設定 ▶ 故障検知設定 ▶ 優先度設定 ▶ パターン設定 ▶ イベント設定 ▶ ユーティリティ

履歴ファイル表示 オンライン履歴 システム状態 音声入出力状態 制御入出力状態

履歴ファイル読み込み 履歴ファイル保存 2008/12/12 11:00:00 Sx2kOp30.s2l

No.	日付 時刻	Mode	Kind	Equipment	Address	Factor	Function
1	2008/12/12 10:15:11	初期化	イベント	SM			
2	2008/12/12 10:15:14	初期化	イベント	システム			初期化モ
3	2008/12/12 10:15:35	初期化	故障検知	SM		DS LINK	DSリンクコ
4	2008/12/12 10:15:36	初期化	故障検知	SM		制御入力	故障
5	2008/12/12 10:15:36	初期化	故障検知	SM		制御入力	故障

プルダウンメニューを開くと、同じフォルダー内に保存されている履歴ファイルが更新時刻順に一覧表示されます。

他のファイルを選択すると、履歴ファイルを切り換えることができます。

SX-2000 Management tool(Superuser)

ファイル(F) 表示(V) 通信(C) ヘルプ(H)

基本設定 ▶ システム設定 ▶ 故障検知設定 ▶ 優先度設定 ▶ パターン設定 ▶ イベント設定 ▶ ユーティリティ

履歴ファイル表示 オンライン履歴 システム状態 音声入出力状態 制御入出力状態

履歴ファイル読み込み 履歴ファイル保存 2008/12/12 11:00:00 Sx2kOp30.s2l

No.	日付 時刻	Mode	Kind	Equipment	Address	Factor	Function
1	2008/12/12 10:15:11	初期化	イベント	SM			
2	2008/12/12 10:15:14	初期化	イベント	システム			初期化モ
3	2008/12/12 10:15:35	初期化	故障検知	SM		DS LINK	DSリンクコ
4	2008/12/12 10:15:36	初期化	故障検知	SM		制御入力	故障
5	2008/12/12 10:15:36	初期化	故障検知	SM		制御入力	故障
6	2008/12/12 10:15:36	初期化	故障検知	SM		制御入力	故障
7	2008/12/12 10:16:02	初期化	イベント	SM KEY			故障受

ご注意

表示中の履歴データと違うフォルダーに保存されている他の履歴データを表示させたいときは、手順1からやり直してください。

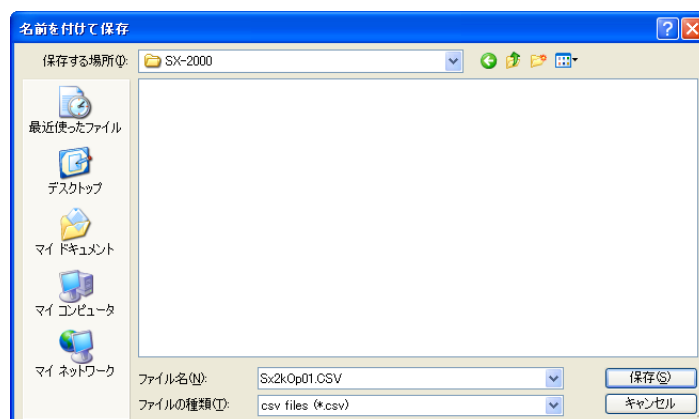
● 履歴ファイルの保存

履歴ファイル表示画面に表示された履歴データを、次の手順でCSV形式のファイルとして保存できます。

1 「履歴ファイル保存」ボタンを押す。



「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。



2 「保存する場所」のプルダウンメニューから履歴ファイルを保存するフォルダーを選択する。

3 「ファイル名」を設定する。

※ デフォルトでは、ファイル名は「(読み込んだファイル名).csv」と設定されています。

ご注意

ファイル名を変更する場合は、必ず拡張子 (csv) を付けてください。

例：0605履歴ファイル.csv

4 「保存」ボタンを押す。

履歴ファイルの保存に成功すると、自動的に「名前を付けて保存」ダイアログが閉じます。

■ オンラインで履歴を確認する

SX-2000 システムの動作履歴および故障履歴をリアルタイムで確認することができます。

- 1 SX-2000SM と、SX-2000 設定ソフトウェアをインストールしたパソコンを通信接続する。
通信接続のしかたは、P. 149 「SX-2000SM とパソコンを通信接続する」をお読みください。

通信接続が完了すると、画面右下に「接続中」と表示されます。

- 2 ユーティリティ画面で [オンライン履歴] ボタンを押す。



履歴が時系列で表示されます。
新しい動作または故障が発生すると、自動的に更新して表示します。

SX-2000 Management tool(Superuser)										
ファイル(F) 表示(V) 通信(C) ヘルプ(H)										
基本設定 ▶ システム設定 ▶ 故障検知設定 ▶ 優先度設定 ▶ パターン設定 ▶ イベント設定 ▶ ユーティリティ										
履歴ファイル表示 オンライン履歴 システム状態 音声入出力状態 制御入出力状態										
一時停止 履歴ファイル保存										
No.	日付 時刻	Mode	Kind	Equipment	Address	Factor				
1										
2										
3										

SX-2000 Management tool(Superuser)										
ファイル(F) 表示(V) 通信(C) ヘルプ(H)										
基本設定 ▶ システム設定 ▶ 故障検知設定 ▶ 優先度設定 ▶ パターン設定 ▶ イベント設定 ▶ ユーティリティ										
履歴ファイル表示 オンライン履歴 システム状態 音声入出力状態 制御入出力状態										
一時停止 履歴ファイル保存										
No.	日付 時刻	Mode	Kind	Equipment	Address	Factor	Function	Action	Contents 1	Contents 2
2	2008/12/24 165405	初期化	イベント	システム			初期化モード			
3	2008/12/24 165435	通常	イベント	システム			通常モード			
4	2008/12/24 165443	通常	イベント	CI	AO1-ID1	制御入力1	業務/ターン放送(Pulse)	開始	業務放送/ターン2	制御出力/ターンなし
5	2008/12/24 165447	通常	イベント	CI	AO1-ID1	制御入力1	業務/ターン放送(Pulse)	終了	業務放送/ターン2	制御出力/ターンなし
6	2008/12/24 165502	通常	イベント	AO	AO1	機能キー-1	BGM/ターン変更/終了	ON	BGM/ターン1	制御出力/ターンなし
7	2008/12/24 165506	通常	イベント	AO	AO1	機能キー-3	業務/ターン放送	開始	業務放送/ターン1	制御出力/ターンなし
8	2008/12/24 165509	通常	イベント	AO	AO1	機能キー-4	業務/ターン放送	開始	業務放送/ターン2	制御出力/ターンなし
9	2008/12/24 165514	通常	イベント	AO	AO1	機能キー-4	業務/ターン放送	終了	業務放送/ターン2	制御出力/ターンなし
10	2008/12/24 165515	通常	イベント	RM	AI1-ID2	KEY9	ゾーン選択/ターン	ON	出力ゾーン/ターン1	制御出力/ターンなし
11	2008/12/24 165516	通常	イベント	RM	AI1-ID2	TALK	TALK	開始	PTT	
12	2008/12/24 165520	通常	イベント	RM	AI1-ID2	TALK	TALK	終了	PTT	
13	2008/12/24 165531	通常	故障検知	AO	AO1	SX LINK	SXリンクエラー	なし	コネクタA	
14	2008/12/24 165536	通常	故障検知	AO	AO1	SX LINK	SXリンクエラー	あり	コネクタA	
15	2008/12/24 165542	通常	イベント	RM	AI1-ID2	SYS1	業務EV放送	開始	EVメッセージ1	
16	2008/12/24 165546	通常	イベント	RM	AI1-ID2	SYS1	業務EV放送	終了	EVメッセージ1	
17	2008/12/24 165558	通常	イベント	システム			設定	カードへ保存		
18	2008/12/24 165558	通常	イベント	システム			履歴	カードへ保存		
19	2008/12/24 165635	通常	イベント	PC			時刻設定		SETDATA	TIME
20	2008/12/24 165635	通常	イベント	システム			時刻	RTO更新		
21	2008/12/24 165640	通常	イベント	システム			時刻	CPU CLOCK更新		
22	2008/12/24 165708	通常	イベント	AO	AO1	機能キー-4	業務/ターン放送	開始	業務放送/ターン2	制御出力/ターンなし
23	2008/12/24 165712	通常	イベント	AO	AO1	機能キー-4	業務/ターン放送	終了	業務放送/ターン2	制御出力/ターンなし
24	2008/12/24 165719	通常	イベント	AO	AO1	機能キー-3	業務/ターン放送	終了	業務放送/ターン1	制御出力/ターンなし
25	2008/12/24 165725	通常	イベント	AO	AO1	機能キー-2	BGM/ターン変更/終了	ON	終了	
26	2008/12/24 165733	通常	イベント	AO	AO1	チャンネルキー-1	Channel ON/OFF	ON		
27	2008/12/24 165738	通常	イベント	AO	AO1	チャンネルキー-1	Channel ON/OFF	OFF		
28	2008/12/24 165748	メンテナンス	イベント	システム			メンテナンスモード			
29	2008/12/24 165752	通常	イベント	システム			通常モード			
30	2008/12/24 165805	通常	イベント	RM	AI1-ID2	KEY10	ゾーン選択クリア	ON		
31	2008/12/24 170000	通常	イベント	システム			履歴	カードへ保存		

接続中

3 履歴の表示が更新されるのを一時的に停止するときは、[一時停止] ボタンを押す。

The screenshot shows the 'SX-2000 Management tool(Superuser)' interface. At the top, there is a menu bar with 'ファイル(F)', '表示(V)', '通信(C)', and 'ヘルプ(H)'. Below this is a navigation bar with buttons for '基本設定', 'システム設定', '故障検知設定', '優先度設定', 'パターン設定', 'イベント設定', and 'ユーティリティ'. The 'ユーティリティ' button is highlighted in green. Below the navigation bar is a row of buttons: '履歴ファイル表示', 'オンライン履歴', 'システム状態', '音声入出力状態', and '制御入出力状態'. Below this row is another row with '一時停止' (highlighted with a red circle) and '履歴ファイル保存'. At the bottom is a table with 8 columns: No., 日付 時刻, Mode, Kind, Equipment, Address, Factor, and Functi.

No.	日付 時刻	Mode	Kind	Equipment	Address	Factor	Functi
2	2008/12/24 16:54:05	初期化	イベント	システム			初期化
3	2008/12/24 16:54:35	通常	イベント	システム			通常
4	2008/12/24 16:54:43	通常	イベント	CI	AO1-ID1	制御入力1	業務パターン
5	2008/12/24 16:54:47	通常	イベント	CI	AO1-ID1	制御入力1	業務パターン
6	2008/12/24 16:55:02	通常	イベント	AO	AO1	機能キー1	BGM/パターン
7	2008/12/24 16:55:06	通常	イベント	AO	AO1	機能キー3	業務パターン
8	2008/12/24 16:55:09	通常	イベント	AO	AO1	機能キー4	業務パターン

[一時停止] ボタンが [更新] ボタンに変わり、[履歴ファイル保存] ボタンが有効になります。

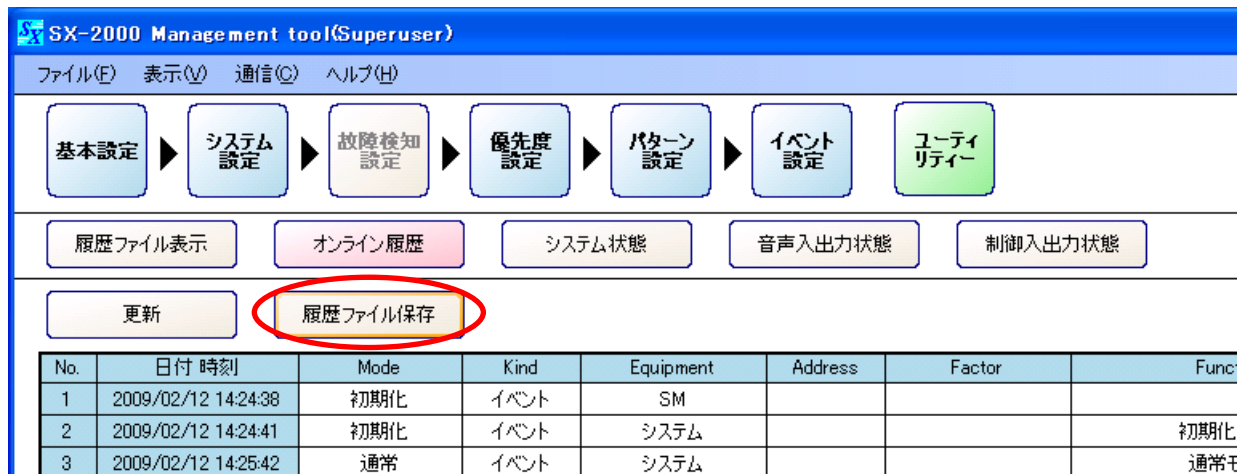
4 履歴を再度表示するときは、[更新] ボタンを押す。

The screenshot shows the same 'SX-2000 Management tool(Superuser)' interface as before, but the '一時停止' button has been replaced by '更新' (highlighted with a red circle). The '履歴ファイル保存' button remains visible next to it. The table at the bottom is not visible in this screenshot.

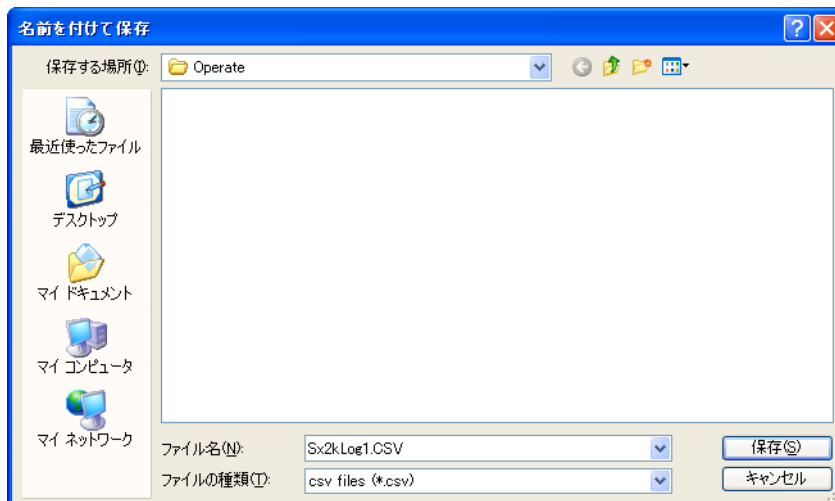
● オンラインで取得した履歴ファイルを保存する

オンライン履歴画面に表示された履歴データを、次の手順でCSV形式のファイルとして保存できます。

1 「履歴ファイル保存」ボタンを押す。



「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。



2 「保存する場所」のプルダウンメニューから履歴ファイルを保存するフォルダーを選択する。

3 「ファイル名」を設定する。

※ デフォルトでは、ファイル名は「Sx2kLog1.csv」と設定されています。

ご注意

ファイル名を変更する場合は、必ず拡張子 (csv) を付けてください。

例：0605履歴ファイル.csv

4 「保存」ボタンを押す。

履歴ファイルの保存に成功すると、自動的に「名前を付けて保存」ダイアログが閉じます。

■ システム状態表示を確認する

ユーティリティ画面で「システム状態」ボタンを押すとシステム状態表示画面が表示され、次の情報をリアルタイムに確認することができます。

- SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AO、SX-2000CI、SX-2000CO、RM-200S、RM-200SA、RM-210
 - ・各ユニットの設定と接続状態
 - ・各ユニットの動作モードと異常状態
 - ・各ユニットのバージョン情報
- アンプ、スピーカーライン、電源の異常状態（SX-2100AO使用時）

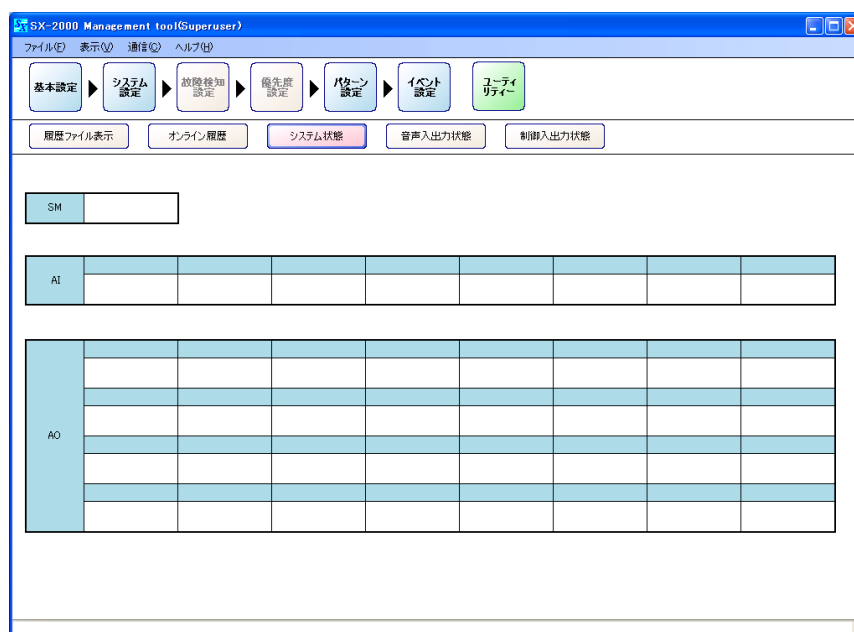
1 SX-2000SMと、SX-2000設定ソフトウェアをインストールしたパソコンを通信接続する。
通信接続のしかたは、P. 149「SX-2000SMとパソコンを通信接続する」をお読みください。

通信接続が完了すると、画面右下に「接続中」と表示されます。

2 ユーティリティ画面で「システム状態」ボタンを押す。



システム状態表示画面が表示されます。

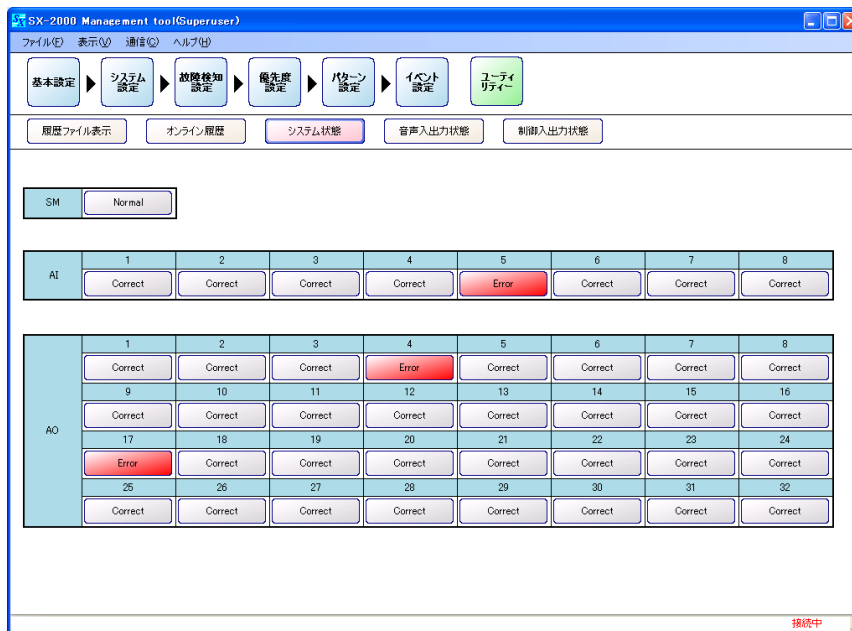


自動的にシステム状態を取得します。



完了すると、システム状態表示画面に現在のシステム状態が表示されます。

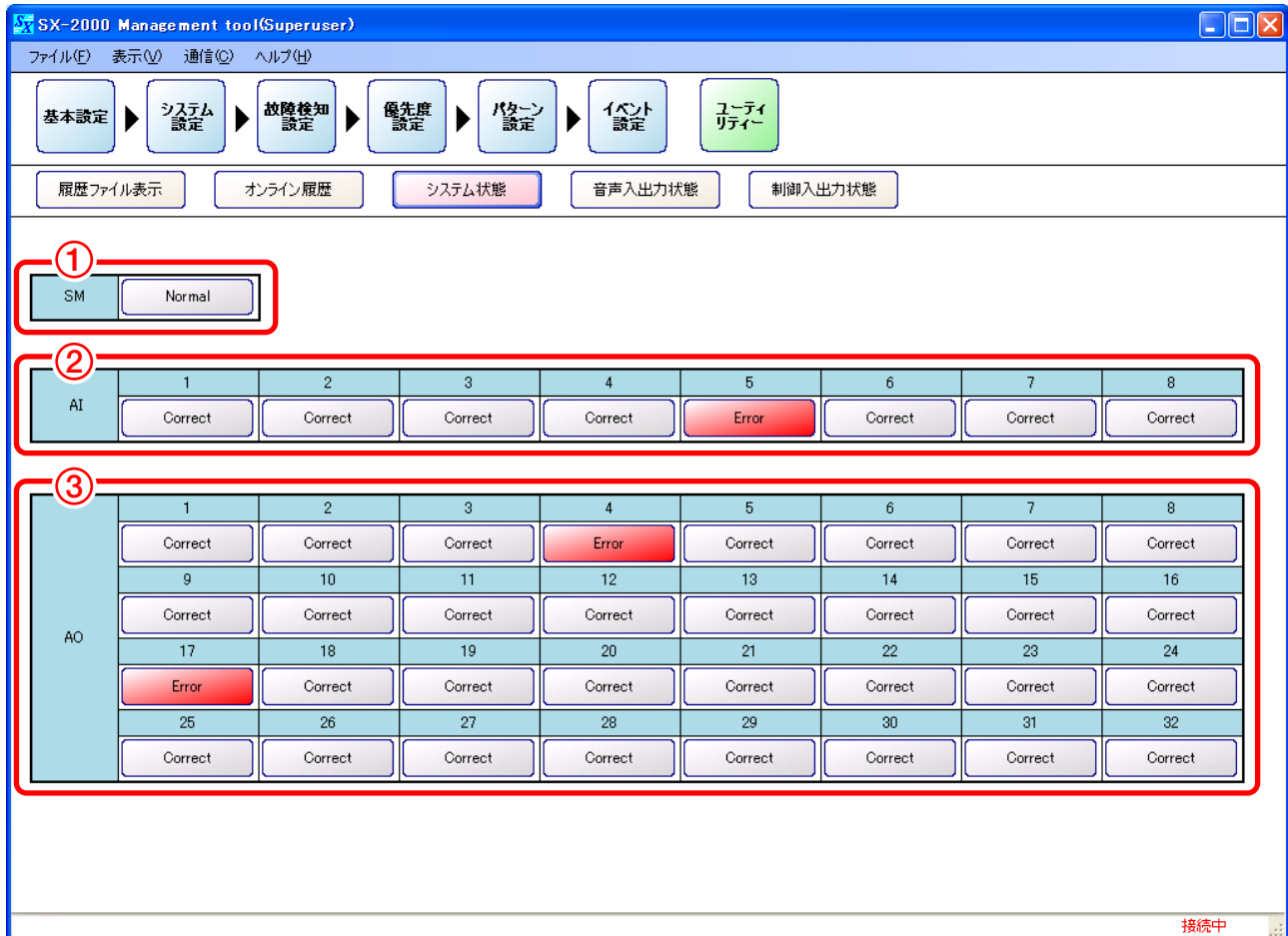
※ システム状態を取得した後は、最新のシステム状態を自動的に更新して表示します。



● システム状態表示画面

各ユニットの状態表示はボタンになっており、クリックすると詳細情報画面が表示されます。
(接続設定されていないユニットのボタンは選択できません。)
詳細情報画面は、複数表示することができます。(接続設定されているユニット台数分)
詳細情報画面が表示されている場合でも、システム状態を更新することができます。

※ 「SM」はSX-2000SM、「AI」はSX-2000AIとSX-2100AI、「AO」はSX-2000AOを表しています。



1. SM

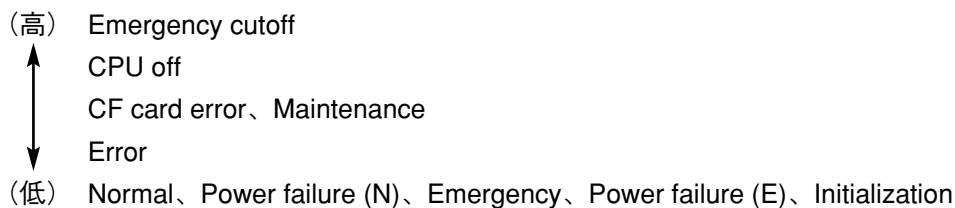


SX-2000SMのシステム状態を表示します。
ボタンをクリックすると、詳細情報画面（SMユニット画面）が表示されます。
(P. 127 「SMユニット画面」)

ボタンの表示	システムの状態
(空白)	接続設定なし
Normal	通常状態で動作中です。
Power failure (N)	VX-2000DSを使用している場合に、停電時のバックアップ電源で動作中です。 (VX-2000DSは、海外のみの販売機種です。)
Emergency	緊急放送中です。
Power failure (E)	VX-2000DSを使用している場合に、緊急放送中で、かつ停電時のバックアップ電源で動作中です。(VX-2000DSは、海外のみの販売機種です。)

ボタンの表示	システムの状態
CF card error	CFカードに異常があります。 <ul style="list-style-type: none"> CFカードが挿入されていません。 SX-2000SMのDIPスイッチ2がONになっているため、CFカードを読み込めませんでした。 設定データがありません。 設定データを読み込めません。 EVメッセージデータがありません。 EVメッセージデータに異常があります。 CFカードの空き容量が不足しています。 CFカードが故障しています。
Maintenance	メンテナンスモードで動作中です。 <ul style="list-style-type: none"> SX-2000SMのDIPスイッチ2がONになっています。 CFカードが挿入されていません。
Initialization	初期化中です。
CPU off	システムがCPUオフ状態になっています。 CPUオフ状態のRM-200S、RM-200SA、RM-210、SX-2000CI、SX-2000COはリセットがかかるため切断状態になります。
Emergency cutoff	SX-2000AOのいずれかが非常断24 V状態になっています。
Error	SX-2000SMに故障があります。

[複数の状態が同時に発生した場合のボタン表示の優先順位]



2. AI

AI	1	2	3	4	5	6	7	8
	Correct	Correct	Correct	Correct	Error	Correct	Correct	Correct

SX-2000AIまたはSX-2100AIのシステム状態を表示します。

番号は、接続設定されているSX-2000AIまたはSX-2100AIの機器番号です。

ボタンをクリックすると、詳細情報画面（AIユニット画面）が表示されます。

( P. 130 「AIユニット画面」)

ボタンの表示	システムの状態
(空白)	接続設定なし
Correct	SX-2000AIまたはSX-2100AIは、正しく動作しています。 (機種設定と実際に接続されている機種の状態が一致しています。)
Error	SX-2000AI、SX-2100AI、RM-200S、RM-200SA、またはRM-210に故障があります。
Difference	機種設定と実際に接続されている機種の状態が一致していません。

[複数の状態が同時に発生した場合のボタン表示の優先順位]

Error > Difference > Correct

3. AO

AO	1	2	3	4	5	6	7	8
	Correct	Correct	Correct	Error	Correct	Correct	Correct	Correct
	9	10	11	12	13	14	15	16
	Correct	Correct	Correct	Correct	Correct	Correct	Correct	Correct
	17	18	19	20	21	22	23	24
	Error	Correct	Correct	Correct	Correct	Correct	Correct	Correct
	25	26	27	28	29	30	31	32
	Correct	Correct	Correct	Correct	Correct	Correct	Correct	Correct

SX-2000AOのシステム状態を表示します。

番号は、接続設定されているSX-2000AOの機種番号です。

ボタンをクリックすると、詳細情報画面（AOユニット画面）が表示されます。

（ P. 135「AOユニット画面」）

ボタンの表示	システムの状態
（空白）	接続設定なし
Correct	SX-2000AOは正しく動作しています。 （機種設定と実際に接続されている機種の状態が一致しています。）
Emergency cutoff	SX-2000AOは非常断24 V状態になっています。
Difference	機種設定と実際に接続されている機種の状態が一致していません。
Error	SX-2000AO、SX-2000CI、またはSX-2000COに故障があります。

[複数の状態が同時に発生した場合のボタン表示の優先順位]

Emergency cutoff > Error > Difference > Correct

● SMユニット画面

システム状態表示画面でSMのボタンをクリックすると、SMユニット画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Unit SM' window with the following sections:

- Unit configuration** (1): A table with 'Version' (3.00) and 'Status' (Error).
- Unit failure status** (2): A table with columns 'Configuration' and 'Status'. It lists DC POWER, SX LINK, Analog LINK1, Analog LINK2, DS LINK1, and DS LINK2. DS LINK1 is highlighted in red with 'Error' status. A '詳細' (Details) button (3) is next to it.
- Control input failure status** (5): A table with columns 'Configuration' and 'Status'. It lists CIN 1 through CIN 8. CIN 1, CIN 2, and CIN 3 are highlighted in red with 'Error' status. A '詳細' (Details) button (4) is next to it.
- A '閉じる' (Close) button (6) is at the bottom.

1. Unit configuration

Version	3.00
Status	Error

SX-2000SMのシステム状態を表示します。

● Version

SX-2000SMのファームウェアのバージョンを表示します。

● Status

SX-2000SMのシステム状態または動作モード状態を表示します。

表示	システムの状態
Normal	通常状態で動作中です。
Power failure (N)	VX-2000DSを使用している場合に、停電時のバックアップ電源で動作中です。(VX-2000DSは、海外のみの販売機種です。)
Emergency	緊急放送中です。
Power failure (E)	VX-2000DSを使用している場合に、緊急放送中で、かつ停電時のバックアップ電源で動作中です。(VX-2000DSは、海外のみの販売機種です。)
CF card error	CFカードに異常があります。 <ul style="list-style-type: none"> CFカードが挿入されていません。 SX-2000SMのDIPスイッチ2がONになっているため、CFカードを読み込めませんでした。 設定データがありません。 設定データが読み込めません。 EVメッセージデータがありません。 EVメッセージデータに異常があります。 CFカードの空き容量が不足しています。 CFカードが故障しています。

表示	システムの状態
Maintenance	メンテナンスモードで動作中です。 ・ SX-2000SMのDIPスイッチ2がONになっています。 ・ CFカードが挿入されていません。
Initialization	初期化中です。
CPU off	システムがCPUオフ状態になっています。
Emergency cutoff	SX-2000AOのいずれかが非常断24 V状態になっています。
Error	SX-2000SMに故障があります。

[複数の状態が同時に発生した場合のボタン表示の優先順位]

(高) Emergency cutoff
 ↑
 CPU off
 CF card error、Maintenance
 ↓
 Error
 (低) Normal、Power failure (N)、Emergency、Power failure (E)、Initialization

2. Unit failure status

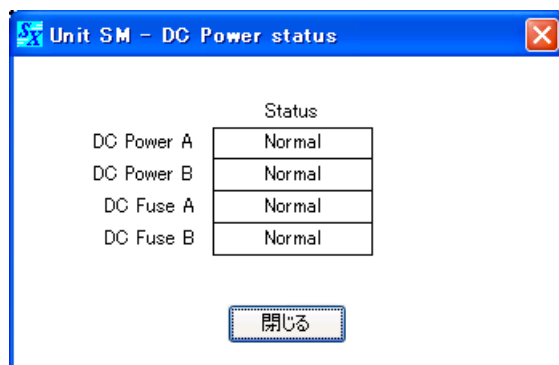
	Configuration	Status
DC POWER	Used	Normal
SX LINK	Used	Normal
Analog LINK1	Used	Normal
Analog LINK2	Used	Normal
DS LINK1	Used	Error
DS LINK2	Unused	—

SX-2000SMの故障状態を表示します。
 表示項目は、DC電源、SXリンク、アナログリンク、DSリンクです。

Configuration	故障検知を行っている場合は「Used」、故障検知を行っていない場合は「Unused」と表示されます。
Status	故障状態を表示します。 正常なときは「Normal」、異常時は「Error」または故障の要因が表示されます。 故障検知を行っていない場合は「—」と表示されます。

3. DC POWER詳細ボタン

クリックすると、DC POWER詳細画面が表示されます。



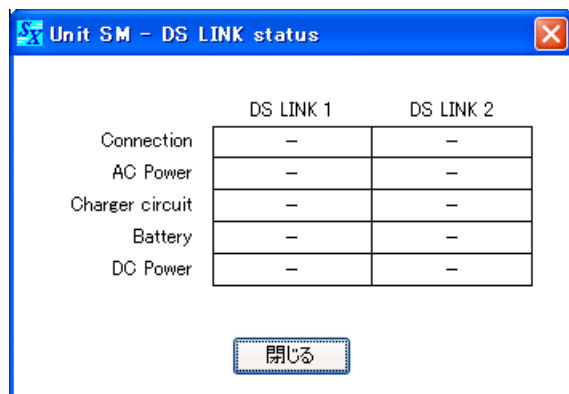
DC電源およびヒューズの状態を表示します。
 正常なときは「Normal」、異常時は「Error」、故障検知を行っていない場合は「—」と表示されます。
 [閉じる] ボタンをクリックすると、DC POWER詳細画面を閉じます。

4. DS LINK詳細ボタン

ご注意

このボタンは、VX-2000DSを接続しているときに使用します。(VX-2000DSは、海外のみの販売機種です。)

クリックすると、DS LINK詳細画面が表示されます。



ケーブルの接続状態、AC電源の状態、バッテリーの状態、DC電源の状態を表示します。
正常なときは「Normal」、異常時は「Error」、故障検知を行っていない場合は「-」と表示されます。
[閉じる] ボタンをクリックすると、DS LINK詳細画面を閉じます。

5. Control input failure status

	Configuration	Status
CIN 1	Used	Error
CIN 2	Used	Error
CIN 3	Used	Error
CIN 4	Unused	-
CIN 5	Unused	-
CIN 6	Used	Normal
CIN 7	Used	Normal
CIN 8	Used	Normal

制御入力故障状態を表示します。

Configuration	故障検知を行っている場合は「Used」、故障検知を行っていない場合は「Unused」と表示されます。
Status	故障状態を表示します。 正常なときは「Normal」、異常時は「Error」または故障の要因が表示されます。 故障検知を行っていない場合は「-」と表示されます。

6. 閉じるボタン

クリックすると、SMユニット画面を閉じます。

● AIユニット画面

システム状態表示画面でAIのボタンをクリックすると、AIユニット画面が表示されます。

Unit AI-5

Unit configuration

	Configuration	Current	Status	Version
Link	Set	Connect	Link	3.00
Type	SX-2100AI	SX-2100AI	Correct	

Slot configuration

	Configuration	Current	Status
Slot 1	SX-200RM	SX-200RM	Correct
Slot 2	SX-200RM	SX-200RM	Correct
Slot 3	D-921F/E	D-921F/E	Correct
Slot 4	D-922F/E	D-922F/E	Correct

RM configuration

	Configuration	Current	Status	Version
RM 1	RM-200SF	RM-200SF	Correct	2.00
RM 2	RM-200SF	RM-200SF	Correct	2.00
RM 3	RM-200SF	RM-200SF	Correct	2.00
RM 4	RM-200SF	RM-200SF	Correct	2.00
RM 5	None	None	Correct	-
RM 6	None	None	Correct	-
RM 7	None	None	Correct	-
RM 8	None	None	Correct	-

Unit failure status

	Configuration	Status
DC POWER	Unused	-
SX LINK	Used	Normal
Analog LINK	Used	Normal

RM failure status

	Configuration	Status
RM 1	Used	Error
RM 2	Used	Normal
RM 3	Used	Normal
RM 4	Used	Normal
RM 5	Unused	-
RM 6	Unused	-
RM 7	Unused	-
RM 8	Unused	-

閉じる

1. Unit configuration

	Configuration	Current	Status	Version
Link	Set	Connect	Link	3.00
Type	SX-2100AI	SX-2100AI	Correct	

● Link

SX-2000AIまたはSX-2100AIのシステム状態を表示します。

Configuration	接続設定情報を表示します。 ・ Set : 接続設定あり ・ None : 接続設定なし
Current	実際の接続状態を表示します。 ・ Connect : SX-2000AIまたはSX-2100AIが接続されています。 ・ Disconnect : SX-2000AIまたはSX-2100AIが接続されていません。
Status	SX-2000AIまたはSX-2100AIがSX-2000SMと通信し、SX-2000SMからシステム制御できる状態かどうかを表示します。 ・ Link : SX-2000AIまたはSX-2100AIがSX-2000SMと通信し、SX-2000SMからシステム制御できる状態です。 ・ Unlink : SX-2000AIまたはSX-2100AIが接続されていない、電源が供給されていないなどの理由で、SX-2000SMと通信できない状態です。 ・ Mismatch version : SX-2000AIまたはSX-2100AIとSX-2000SMのバージョンに互換性がないため、通信できない状態です。

ご注意

「Current」または「Status」に異常があると、赤色で表示されます。

	Configuration	Current	Status
Link	Set	Disconnect	Mismatch version

● Type

SX-2000AI または SX-2100AI の状態を表示します。

Configuration	機種設定情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • SX-2000AI : SX-2000AI が設定されています。 • SX-2100AI : SX-2100AI が設定されています。 • Unknown : 機種設定が不明です。 • — : SX-2000AI または SX-2100AI が接続されていません。
Current	接続されている機種を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • SX-2000AI : SX-2000AI が接続されています。 • SX-2100AI : SX-2100AI が接続されています。 • Unknown : 実際に接続されている機器の機種が認識できません。 • — : SX-2000AI または SX-2100AI が接続されていません。
Status	機種設定と接続されている機種の状態の比較結果を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • Correct : 「Configuration」と「Current」が一致しています。 • Difference : 「Configuration」と「Current」が一致していません。 • — : SX-2000AI または SX-2100AI が接続されていません。

ご注意 「Current」または「Status」に異常があると、赤色で表示されます。

● Version

SX-2000AI または SX-2100AI のファームウェアのバージョンを表示します。

2. Slot configuration

	Configuration	Current	Status
Slot 1	SX-200RM	SX-200RM	Correct
Slot 2	SX-200RM	SX-200RM	Correct
Slot 3	D-921F/E	D-921F/E	Correct
Slot 4	D-922F/E	D-922F/E	Correct

各スロットに挿入されている入力モジュールの状態を表示します。

Configuration	設定されている入力モジュールの名称を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • None : 接続設定なし • D-921F/E : D-921F または D-921E が設定されています。 • D-922F/E : D-922F または D-922E が設定されています。 • D-936R : D-936R が設定されています。 • SX-200RM : SX-200RM が設定されています。
Current	実際にスロットに挿入されている入力モジュールの名称を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • None : 挿入されていません。 • D-921F/E : D-921F または D-921E が挿入されています。 • D-922F/E : D-922F または D-922E が挿入されています。 • D-936R : D-936R が挿入されています。 • D-971M/E : D-971M または D-971E が挿入されています。 • D-971R : D-971R が挿入されています。 • SX-200RM : SX-200RM が挿入されています。
Status	設定と挿入状態の比較結果を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • Correct : 「Configuration」と「Current」が一致しています。 • Difference : 「Configuration」と「Current」が一致していません。

ご注意 「Current」または「Status」に異常があると、赤色で表示されます。

3. RM configuration

	Configuration	Current	Status	Version
RM 1	RM-200SF	RM-200SF	Correct	2.00
RM 2	RM-200SF	RM-200SF	Correct	2.00
RM 3	RM-200SF	RM-200SF	Correct	2.00
RM 4	RM-200SF	RM-200SF	Correct	2.00
RM 5	None	None	Correct	—
RM 6	None	None	Correct	—
RM 7	None	None	Correct	—
RM 8	None	None	Correct	—

各リモートマイクの状態を表示します。

Configuration	<p>接続設定されているリモートマイクの種別と拡張ユニットの台数を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • None : 接続設定なし • RM-200S : RM-200Sが設定されています。 • RM-200S+EXT * : RM-200Sと、拡張ユニット*台が設定されています。 (拡張ユニットは、4台まで接続できます。) • RM-200SF : RM-200SFが設定されています。 (RM-200SFは、海外のみの販売機種です。) • RM-200SF+EXT * : RM-200SFと拡張ユニット*台が設定されています。 (拡張ユニットは、5台まで接続できます。) • RM-200SA : RM-200SAが設定されています。 • RM-200SA+EXT * : RM-200SAと拡張ユニット*台が設定されています。 (拡張ユニットは、4台まで接続できます。)
Current	<p>実際に接続されているリモートマイクの種別と拡張ユニットの台数を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • None : 接続なし • RM-200S : RM-200Sが接続されています。 • RM-200S+EXT * : RM-200Sと、拡張ユニット*台が接続されています。 (拡張ユニットは、4台まで接続できます。) • RM-200SF : RM-200SFが接続されています。 (RM-200SFは、海外のみの販売機種です。) • RM-200SF+EXT * : RM-200SFと拡張ユニット*台が接続されています。 (拡張ユニットは、5台まで接続できます。) • RM-200SA : RM-200SAが接続されています。 • RM-200SA+EXT * : RM-200SAと拡張ユニット*台が接続されています。 (拡張ユニットは、4台まで接続できます。)
Status	<p>接続設定と接続状態の比較結果を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Correct : 「Configuration」と「Current」が一致しています。 • Error : リモートマイクが故障しています。 • Difference : 「Configuration」と「Current」が一致していません。

ご注意 「Current」または「Status」に異常があると、赤色で表示されます。

Version	リモートマイクのファームウェアのバージョンを表示します。
---------	------------------------------

4. Unit failure status

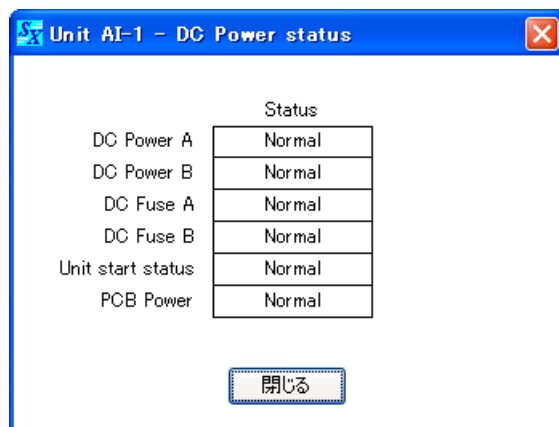
	Configuration	Status
DC POWER	Unused	—
SX LINK	Used	Normal
Analog LINK	Used	Normal

SX-2000AI または SX-2100AI の故障状態を表示します。
表示項目は、DC 電源、SX リンク、アナログリンクです。

Configuration	故障検知を行っている場合は「Used」、故障検知を行っていない場合は「Unused」と表示されます。
Status	故障状態を表示します。 正常なときは「Normal」、異常時は「Error」または故障の要因が表示されます。 故障検知を行っていない場合は「—」と表示されます。

5. DC POWER 詳細ボタン

クリックすると、DC POWER 詳細画面が表示されます。



DC 電源、ヒューズ、およびハードウェアの状態を表示します。
正常なときは「Normal」、異常時は「Error」、故障検知を行っていない場合は「—」と表示されます。
[閉じる] ボタンをクリックすると、DC POWER 詳細画面を閉じます。

6. RM failure status

	Configuration	Status
RM 1	Used	Error
RM 2	Used	Normal
RM 3	Used	Normal
RM 4	Used	Normal
RM 5	Unused	—
RM 6	Unused	—
RM 7	Unused	—
RM 8	Unused	—

各リモートマイクの故障状態を表示します。

Configuration	故障検知を行っている場合は「Used」、故障検知を行っていない場合は「Unused」と表示されます。
Status	故障状態を表示します。 正常なときは「Normal」、異常時は「Error」または故障の要因が表示されます。 故障検知を行っていない場合は「—」と表示されます。

7. RM failure status詳細ボタン

クリックすると、RM failure status詳細画面が表示されます。

Unit AI-5 - Remotemic status								
	RM 1	RM 2	RM 3	RM 4	RM 5	RM 6	RM 7	RM 8
Connection	Normal	Normal	Normal	Normal	—	—	—	—
Mic element	Normal	Normal	Normal	Normal	—	—	—	—
Mic connector	Error	Normal	Normal	Normal	—	—	—	—
Unit power	Normal	Normal	Normal	Normal	—	—	—	—
Talk switch	Normal	Normal	Normal	Normal	—	—	—	—
Emg switch	Normal	Normal	Normal	Normal	—	—	—	—
20kHz	Normal	Normal	Normal	Normal	—	—	—	—

閉じる

リモートマイクの電源状態、接続状態、およびハードウェアの状態を表示します。
正常なときは「Normal」、異常時は「Error」、故障検知を行っていない場合は「—」と表示されます。
[閉じる] ボタンをクリックすると、RM failure status詳細画面を閉じます。

6. 閉じるボタン

クリックすると、AIユニット画面を閉じます。

● AOユニット画面

システム状態表示画面でAOのボタンをクリックすると、AOユニット画面が表示されます。

Unit configuration (1)

	Configuration	Current	Status	Version
Link	Set	Connect	Link	3.00
Type	SX-2100AO	SX-2100AO	Correct	

CI/CO configuration (2)

	Configuration	Current	Status	Version
ID 1	None	None	Correct	—
ID 2	SX-2000CO	SX-2000CO	Correct	2.00

Unit failure status (3)

	Configuration	Status
DC POWER	Unused	—
SX LINK	Used	Normal
Analog LINK	Used	Normal
CI/CO LINK	Used	Normal
DS LINK1	Unused	—
DS LINK2	Used	Normal

CI/CO failure status (6)

	Configuration	Status
ID 1	—	—
ID 2	Used	Normal

Amplifier failure status (9)

	Configuration	Status
AMP 1	Unused	—
AMP 2	Used	Error
AMP 3	Used	Normal
AMP 4	Used	Normal
AMP 5	Used	Normal
AMP 6	Used	Error
AMP 7	Used	Normal
AMP 8	Used	Normal
Standby AMP	Unused	—

Load speaker line status (11)

	Configuration	Status
SP 1	Used	Normal
SP 2	Used	Normal
SP 3	Used	Normal
SP 4	Used	Normal
SP 5	Used	Normal
SP 6	Used	Normal
SP 7	Used	Normal
SP 8	Used	Normal

Buttons: 詳細 (4, 5, 7, 8), 閉じる (12)

1. Unit configuration

	Configuration	Current	Status	Version
Link	Set	Connect	Link	3.00
Type	SX-2100AO	SX-2100AO	Correct	

● Link

SX-2000AOのシステム状態を表示します。

ご注意 SX-2100AOは、海外のみの販売機種です。

Configuration	接続設定情報を表示します。 ・ Set : 接続設定あり ・ None : 接続設定なし
Current	実際の接続状態を表示します。 ・ Connect : SX-2000AOが接続されています。 ・ Disconnect : SX-2000AOが接続されていません。
Status	SX-2000AOがSX-2000SMと通信し、SX-2000SMからシステム制御できる状態かどうかを表示します。 ・ Link : SX-2000AOがSX-2000SMと通信し、SX-2000SMからシステム制御できる状態です。 ・ Unlink : SX-2000AOが接続されていない、電源が供給されていないなどの理由で、SX-2000SMと通信できない状態です。 ・ Emergency cutoff : 該当するSX-2000AOが非常断24 V状態のため、SX-2000SMからシステム制御できない状態です。 ・ Mismatch version : SX-2000AOとSX-2000SMのバージョンに互換性がないため、通信できない状態です。

ご注意

「Current」または「Status」に異常があると、赤色で表示されます。

	Configuration	Current	Status
Link	Set	Disconnect	Mismatch version

● Type

SX-2000AOの状態を表示します。

ご注意 SX-2100AO は、海外のみの販売機種です。

Configuration	機種設定情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • SX-2000AO : SX-2000AOが設定されています。 • SX-2100AO : SX-2100AOが設定されています。 • Unknown : 機種設定が不明です。 • — : SX-2000AOまたはSX-2100AOが接続されていません。
Current	機種状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • SX-2000AO : SX-2000AOが接続されています。 • SX-2100AO : SX-2100AOが接続されています。 • Unknown : 実際に接続されている機器の機種が不明です。 • — : SX-2000AOまたはSX-2100AOが接続されていません。
Status	機種設定と接続状態の比較結果を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • Correct : 「Configuration」と「Current」が一致しています。 • Difference : 「Configuration」と「Current」が一致していません。 • — : SX-2000AOまたはSX-2100AOが接続されていません。

ご注意 「Current」または「Status」に異常があると、赤色で表示されます。

● Version

SX-2000AOまたはSX-2100AOのファームウェアのバージョンを表示します。

2. CI/CO configuration

	Configuration	Current	Status	Version
ID 1	None	None	Correct	—
ID 2	SX-2000CO	SX-2000CO	Correct	2.00

SX-2000CIまたはSX-2000COの状態を表示します。

Configuration	接続設定されているSX-2000CIまたはSX-2000COの種別を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • None : 接続設定なし • SX-2000CI : SX-2000CIが設定されています。 • SX-2000CO : SX-2000COが設定されています。
Current	実際に接続されているSX-2000CIまたはSX-2000COの種別を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • None : 接続されていません。 • SX-2000CI : SX-2000CIが接続されています。 • SX-2000CO : SX-2000COが接続されています。
Status	接続設定と接続状態の比較結果を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • Correct : 「Configuration」と「Current」が一致しています。 • Difference : 「Configuration」と「Current」が一致していません。

ご注意 「Current」または「Status」に異常があると、赤色で表示されます。

Version	SX-2000CIまたはSX-2000COのソフトウェアのバージョンを表示します。
---------	-------------------------------------------

3. Unit failure status

	Configuration	Status
DC POWER	Unused	—
SX LINK	Used	Normal
Analog LINK	Used	Normal
CI/CO LINK	Used	Normal
DS LINK1	Unused	—
DS LINK2	Used	Normal

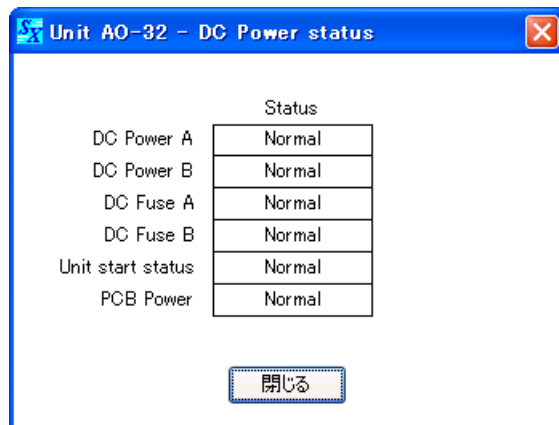
SX-2000AOの故障状態を表示します。

表示項目は、DC電源、SXリンク、アナログリンク、CI/COリンク、DSリンクです。

Configuration	故障検知を行っている場合は「Used」、故障検知を行っていない場合は「Unused」と表示されます。
Status	故障状態を表示します。 正常なときは「Normal」、異常時は「Error」または故障の要因が表示されます。 故障検知を行っていない場合は「—」と表示されます。

4. DC POWER詳細ボタン

クリックすると、DC POWER詳細画面が表示されます。



DC電源、ヒューズ、ハードウェアの状態を表示します。
正常なときは「Normal」、異常時は「Error」、故障検知を行っていない場合は「—」と表示されます。

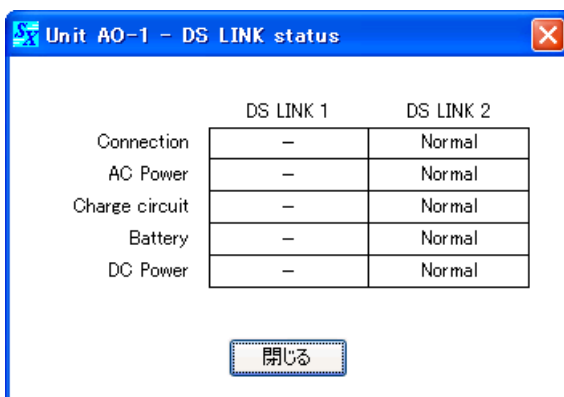
[閉じる] ボタンをクリックすると、DC POWER詳細画面を閉じます。

5. DS LINK詳細ボタン

ご注意

このボタンは、SX-2100AOとVX-2000DSを接続しているときに使用します。
(SX-2100AOおよびVX-2000DSは、海外のみの販売機種です。)

クリックすると、DS LINK詳細画面が表示されます。



ケーブルの接続状態、AC電源の状態、バッテリーの状態、DC電源の状態を表示します。
正常なときは「Normal」、異常時は「Error」、故障検知を行っていない場合は「—」と表示されます。

[閉じる] ボタンをクリックすると、DS LINK詳細画面を閉じます。

6. CI/CO failure status

	Configuration	Status
ID 1	—	—
ID 2	Used	Normal

ID 1はSX-2000CI、ID 2はSX-2000COの故障状態を表示します。

Configuration	故障検知を行っている場合は「Used」、故障検知を行っていない場合は「Unused」と表示されます。
Status	故障状態を表示します。 正常なときは「Normal」、異常時は「Error」、故障検知を行っていない場合は「—」と表示されます。

7. CI failure status詳細ボタン

クリックすると、CI failure status詳細画面が表示されます。

The screenshot shows a software window titled "Unit AO-32 - ID1 (Unit CI)". It contains two main sections:

Unit failure status

	Status
DC Power A	Normal
DC Power B	Normal
DC Fuse A	Normal
DC Fuse B	Error
Unit start status	Normal

Control input error status

	Configuration	Status
CIN 1	Used	Normal
CIN 2	Used	Normal
CIN 3	Used	Normal
CIN 4	Used	Normal
CIN 5	Used	Normal
CIN 6	Used	Normal
CIN 7	Used	Normal
CIN 8	Used	Normal
CIN 9	Unused	—
CIN 10	Unused	—
CIN 11	Unused	—
CIN 12	Unused	—
CIN 13	Unused	—
CIN 14	Unused	—
CIN 15	Unused	—
CIN 16	Unused	—
CIN 17	Unused	—
CIN 18	Unused	—
CIN 19	Unused	—
CIN 20	Unused	—
CIN 21	Unused	—
CIN 22	Unused	—
CIN 23	Unused	—
CIN 24	Unused	—
CIN 25	Unused	—
CIN 26	Unused	—
CIN 27	Unused	—
CIN 28	Unused	—
CIN 29	Unused	—
CIN 30	Unused	—
CIN 31	Unused	—
CIN 32	Unused	—

At the bottom center of the window is a button labeled "閉じる" (Close).

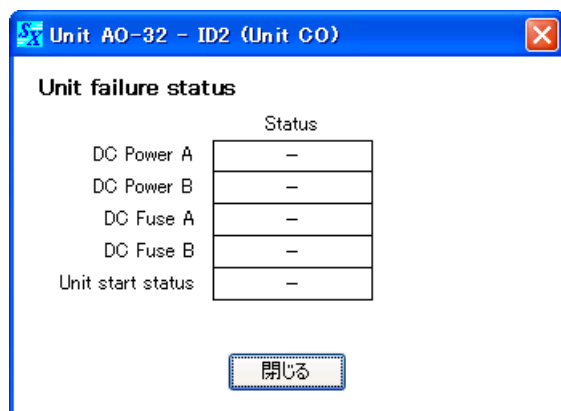
DC電源、ヒューズ、制御入力の故障状態を表示します。

正常なときは「Normal」、異常時は「Error」、故障検知を行っていない場合は「—」と表示されます。

[閉じる] ボタンをクリックすると、CI failure status詳細画面を閉じます。

8. CO failure status詳細ボタン

クリックすると、CO failure status 詳細画面が表示されます。



DC電源、ヒューズの故障状態を表示します。

正常なときは「Normal」、異常時は「Error」、故障検知を行っていない場合は「—」と表示されます。

「閉じる」ボタンをクリックすると、CO failure status 詳細画面を閉じます。

9. Amplifier failure status

ご注意

SX-2100AOとVPシリーズアンプを接続しているときに使用します。
(SX-2100AOおよびVPシリーズアンプは、海外のみの販売機種です。)

	Configuration	Status
AMP 1	Unused	—
AMP 2	Used	Error
AMP 3	Used	Normal
AMP 4	Used	Normal
AMP 5	Used	Normal
AMP 6	Used	Error
AMP 7	Used	Normal
AMP 8	Used	Normal
Standby AMP	Unused	—
Switch over amplifier number	—	

パワーアンプの故障状態を表示します。

Configuration	故障検知を行っている場合は「Used」、故障検知を行っていない場合は「Unused」と表示されます。
Status	故障状態を表示します。 正常なときは「Normal」、異常時は「Error」、故障検知を行っていない場合は「—」と表示されます。

10. Amplifier failure status詳細ボタン

ご注意

SX-2100AOとVPシリーズアンプを接続しているときに使用します。
(SX-2100AOおよびVPシリーズアンプは、海外のみの販売機種です。)

クリックすると、Amplifier failure status詳細画面が表示されます。

	AMP 1	AMP 2	AMP 3	AMP 4	AMP 5	AMP 6	AMP 7	AMP 8	Standby AMP
Connection	—	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	—
DC fuse	—	Error	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	—
Overheating 20kHz(NF)	—	Normal	Normal	Normal	Normal	Error	Normal	Normal	—
Amp return	—	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	—

閉じる

アンプの接続状態、ヒューズの状態、動作温度状態を表示します。

正常なときは「Normal」、異常時は「Error」、故障検知を行っていない場合は「—」と表示されます。

[閉じる] ボタンをクリックすると、Amplifier failure status詳細画面を閉じます。

11. Load speaker line status

ご注意

SX-2100AOとVPシリーズアンプを接続しているときに使用します。
(SX-2100AOおよびVPシリーズアンプは、海外のみの販売機種です。)

	Configuration	Status
SP 1	Used	Normal
SP 2	Used	Normal
SP 3	Used	Normal
SP 4	Used	Normal
SP 5	Used	Normal
SP 6	Used	Normal
SP 7	Used	Normal
SP 8	Used	Normal

スピーカーの故障状態を表示します。

Configuration	故障検知を行っている場合は「Used」、故障検知を行っていない場合は「Unused」と表示されます。
Status	故障状態を表示します。 正常なときは「Normal」、異常時は故障の要因が表示されます。 故障の要因は、「Interruption」(開放)、「Short circuit」(短絡)、「Earth leakage」(地絡)があります。 故障検知を行っていない場合は「—」と表示されます。

12. 閉じるボタン

クリックすると、AOユニット画面を閉じます。

■ 音声入出力状態を確認する

音声の入出力状態をリアルタイムに確認できます。

SX-2000 システムでは、16本の音声バスを使用して、16元同時放送ができます。

音声バスを使用している入力音声がどのゾーンに放送されているかをマトリクス表示します。

1 SX-2000SM と、SX-2000 設定ソフトウェアをインストールしたパソコンを通信接続する。

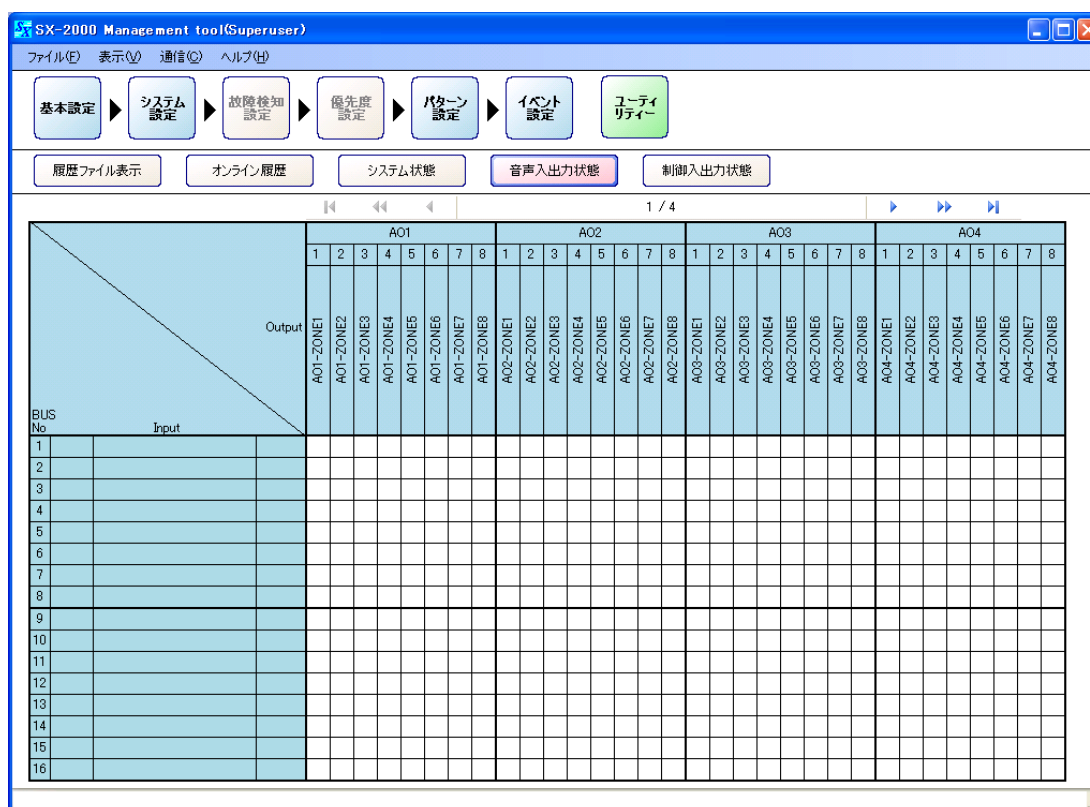
通信接続のしかたは、P. 149「SX-2000SM とパソコンを通信接続する」をお読みください。

通信接続が完了すると、画面右下に「接続中」と表示されます。

2 ユーティリティ画面で「音声入出力状態」ボタンを押す。



音声入出力状態表示画面が表示されます。



自動的に音声入出力状態を取得します。



完了すると、音声入出力状態表示画面に現在の状態が表示されます。

※ 音声入出力状態を取得した後は、最新のシステム状態を自動的に更新して表示します。

SX-2000 Management tool(Superuser)

ファイル(F)

表示(V)

通信(C)

ヘルプ(H)

基本設定

システム設定

故障検知設定

優先度設定

パターン設定

イベント設定

ユーティリティー

履歴ファイル表示

オンライン履歴

システム状態

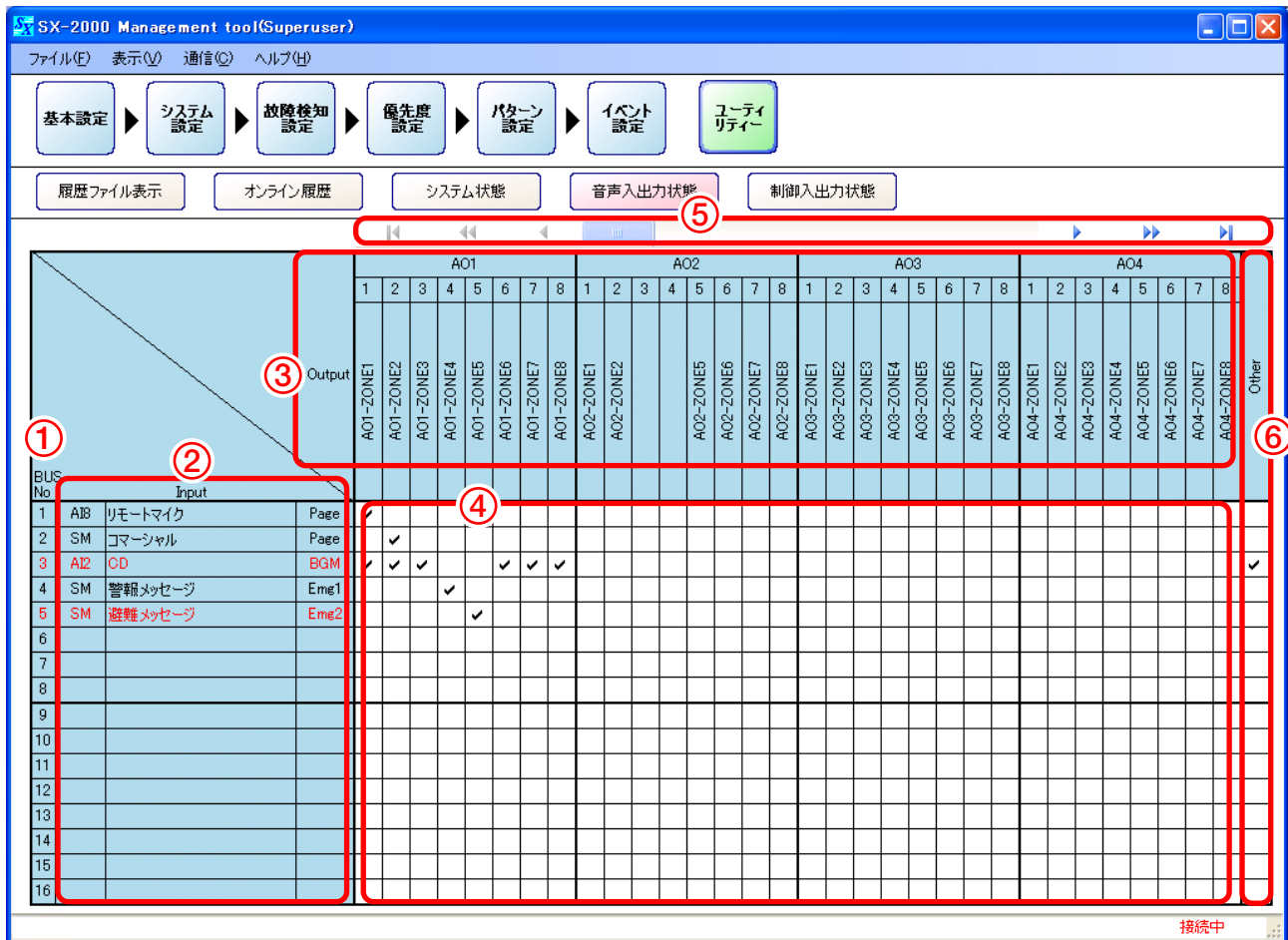
音声入出力状態

制御入出力状態

			AO1								AO2								AO3								AO4								
			1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	
Output			A01-ZONE1	A01-ZONE2	A01-ZONE3	A01-ZONE4	A01-ZONE5	A01-ZONE6	A01-ZONE7	A01-ZONE8	A02-ZONE1	A02-ZONE2			A02-ZONE5	A02-ZONE6	A02-ZONE7	A02-ZONE8	A03-ZONE1	A03-ZONE2	A03-ZONE3	A03-ZONE4	A03-ZONE5	A03-ZONE6	A03-ZONE7	A03-ZONE8	A04-ZONE1	A04-ZONE2	A04-ZONE3	A04-ZONE4	A04-ZONE5	A04-ZONE6	A04-ZONE7	A04-ZONE8	Other
BUS No	Input																																		
1	AIB リモートマイク	Page	✓																																
2	SM コマージュル	Page		✓																															
3	AIZ CD	BGM	✓	✓	✓			✓		✓																									
4	SM 警報メッセージ	Eme1				✓																									✓				
5	SM 避難メッセージ	Eme2					✓																												
6																																			
7																																			
8																																			
9																																			
10																																			
11																																			
12																																			
13																																			
14																																			
15																																			
16																																			

接続中

● 音声入出力状態表示画面



1. BUS No.

音声バスの番号（1～16）を表示します。

2. Input

BUS No.に対して入力されている音声の情報を表示します。
入力音声バスにのっていないときは、空欄になります。
赤字の表示は、最新更新データを表します。

ユニットの種別と番号

音声の名称 音声種別

Input		
AIB	リモートマイク	Page
SM	コマーシャル	Page
AI2	CD	BGM
SM	警報メッセージ	Emg1
SM	避難メッセージ	Emg2

● ユニットの種別と番号

入力されている音声のユニット種別と機器番号が表示されます。

SM（SX-2000SM）、AI1～AI8（SX-2000AIまたはSX-2100AIの機器番号1～8）

● 音声の名称

入力されている音声の名称が表示されます。

● 音声種別

入力されている音声の種別が表示されます。

Page（業務）、BGM、EmgRM（緊急RM）、Emg1（緊急1）、Emg2（緊急2）、Reset（復旧）

- Page（業務）：音源のタイプが「業務」に設定された放送
- BGM：音源のタイプが「BGM」に設定された放送
- EmgRM（緊急RM）：音源のタイプが「業務/緊急」に設定されたリモートマイクからの緊急マイク放送
- Emg1（緊急1）：音源のタイプが「緊急1」に設定されたEVメッセージによる放送
- Emg2（緊急2）：音源のタイプが「緊急2」に設定されたEVメッセージによる放送
- Reset（復旧）：音源のタイプが「復旧」に設定されたEVメッセージによる放送

3. Output

音声の出力先となる SX-2000AO と音声の出力ゾーン名称が表示されます。
アンプを使用していないゾーンは名称が表示されません。

4. マトリクス接続表

入力音声が出力されている出力ゾーンの位置に「✓」が表示されます。

5. スクロールバー

マトリクス接続表をスクロールします。

6. Other

マトリクス接続表に現在表示されている出力ゾーン以外のゾーンに対して音声が出力される場合は、「✓」が表示されます。

■ 制御入出力状態を確認する

SX-2000 システムの制御入出力状態をリアルタイムで確認できます。

1 SX-2000SM と、SX-2000 設定ソフトウェアをインストールしたパソコンを通信接続する。

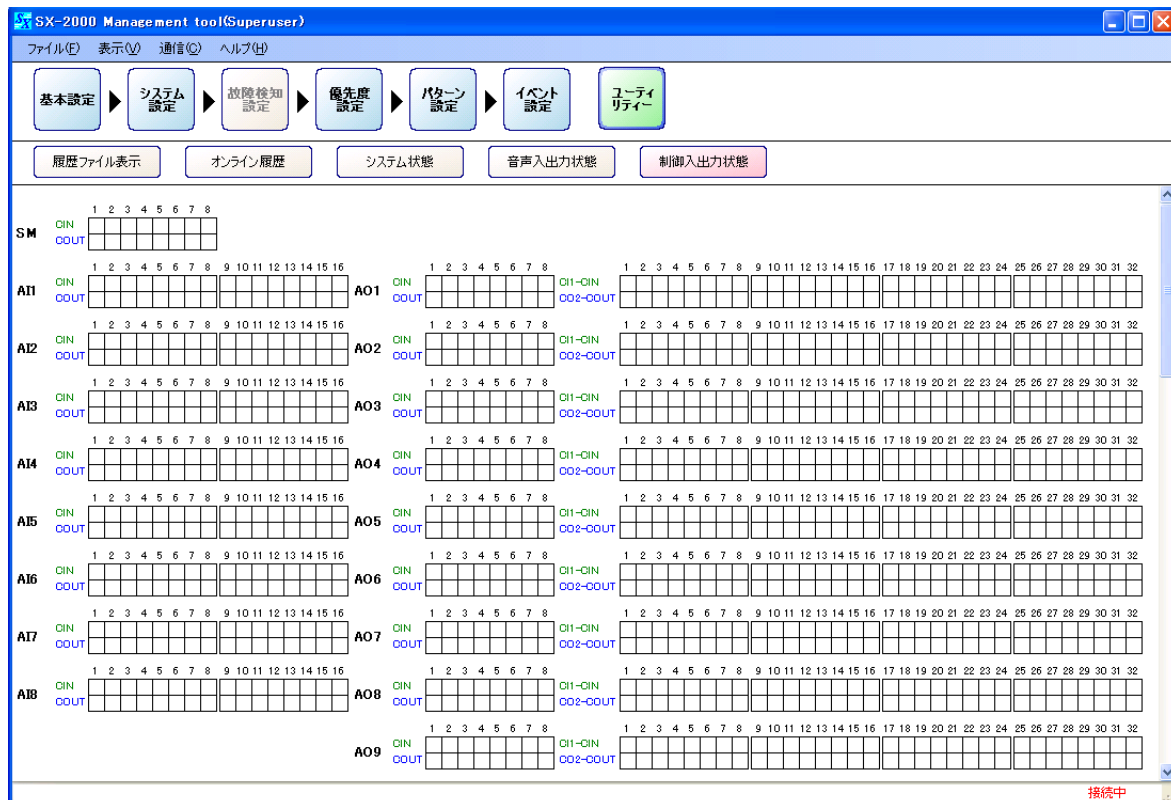
通信接続のしかたは、P. 149「SX-2000SM とパソコンを通信接続する」をお読みください。

通信接続が完了すると、画面右下に「接続中」と表示されます。

2 ユーティリティ画面で「制御入出力状態」ボタンを押す。



制御入出力状態表示画面が表示されます。

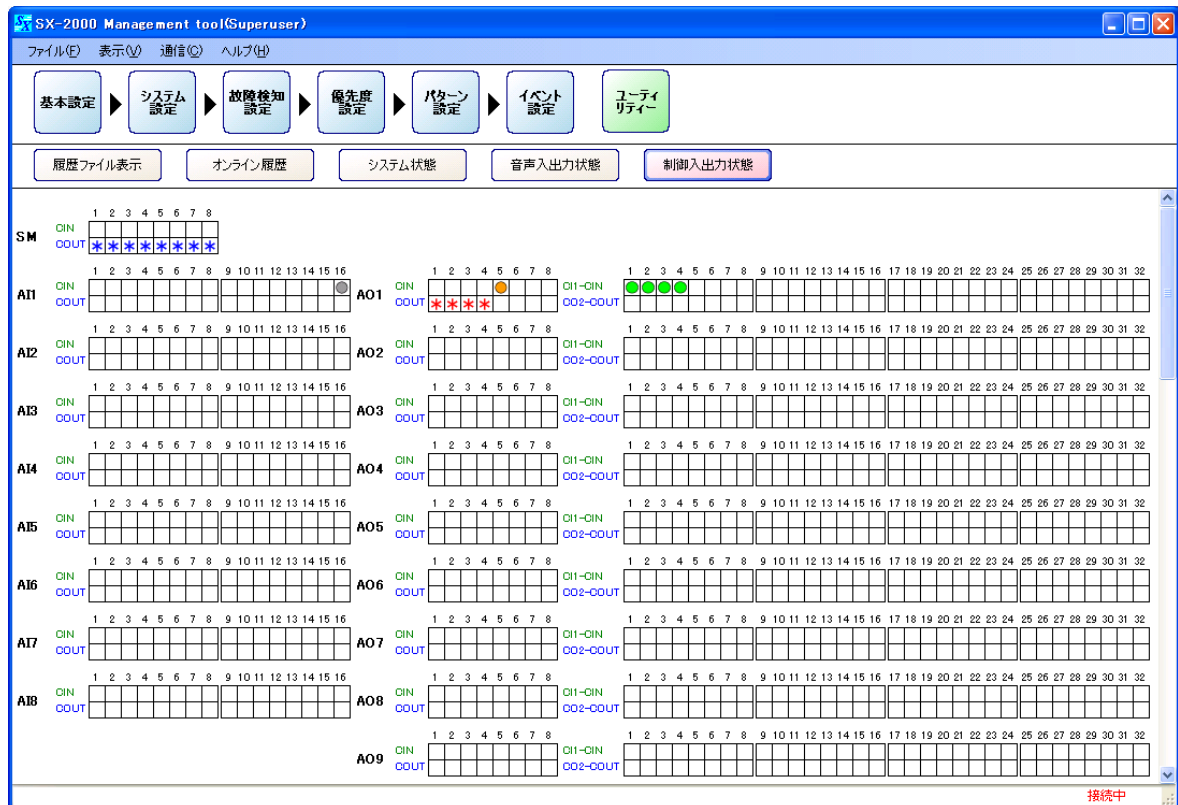


自動的に制御入出力状態を取得します。

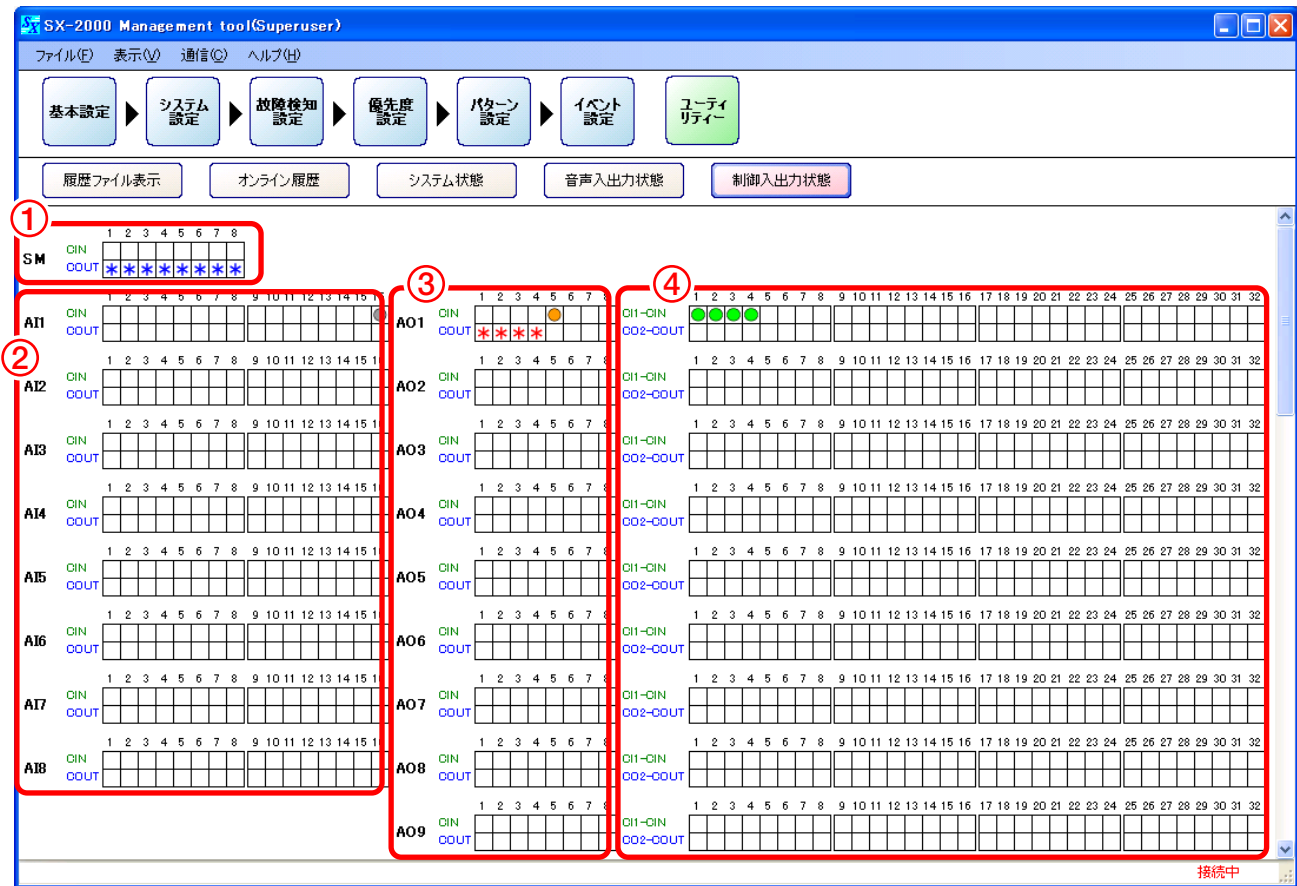


完了すると、制御入出力状態表示画面に現在の状態が表示されます。

※ 制御入出力状態を取得した後は、最新のシステム状態を自動的に更新して表示します。



● 制御入出力状態表示画面



1. SM制御入出力端子

SX-2000SMの制御入出力状態が表示されます。

2. AI制御入出力端子

SX-2100AIの制御入出力状態が表示されます。
(SX-2000AIには制御入出力端子がないため表示されません。)

3. AO制御入出力端子

SX-2000AOまたはSX-2100AOの制御入出力状態が表示されます。
(SX-2100AOは、海外のみの販売機種です。)

4. CI/CO制御入出力端子

SX-2000CIおよびSX-2000COの制御入出力状態が表示されます。
SX-2000AOに接続されていない場合は表示されません。

制御入力（CIN）および制御出力（COUT）がONになると、該当する枠内に印が入ります。

制御入力メイクすると、該当する枠内に○マークが表示されます。

- （緑色）：制御入力メイクしています。パルス動作時には、イベントがアクティブの間表示されます。
- （橙色）：外部故障入力を割り当てている制御入力端子がメイクしています。外部機器に故障が発生しています。
- （灰色）：機能が割り当てられていない制御入力端子がメイクしています。


制御出力がONになると、該当する枠内に＊マークが表示されます。

- ＊（青色）：制御出力がONになっています。
- ＊（赤色）：緊急放送でアッテネーターを「使用する」と設定したゾーンに該当する制御出力がONになっています。

SX-2000SM とパソコンとの通信

SX-2000SM と、SX-2000 設定ソフトウェアをインストールしたパソコンを通信接続することで、設定データや履歴ファイルをリアルタイムに取得することや、システム状態をモニタリングすることができます。

ご注意

- スイッチングハブに複数の SX-2000SM が接続されているときは、IP アドレスが重複していると、パソコンとの通信接続が正しく行えない可能性があります。スイッチングハブに接続されているすべての SX-2000SM に、異なる IP アドレスを設定した後、通信接続を行ってください。（ P. 38 「SX-2000SM のネットワーク設定を変更する」）
- 1 台の SX-2000SM に対して、複数のパソコンから同時にアクセスすることはできません。
- ネットワーク設定の変更およびシステムリセットは、通信接続中であっても、ネットワーク設定の検出が完了していなければできません。
- パソコンと通信できるのは、ファームウェアバージョンが 3.00 以上の SX-2000SM です。SX-2000SM のファームウェア最新版を TOA 商品ダウンロードサイト (<https://toa-products.com/>) で公開していますので、ダウンロードしてお使いください。

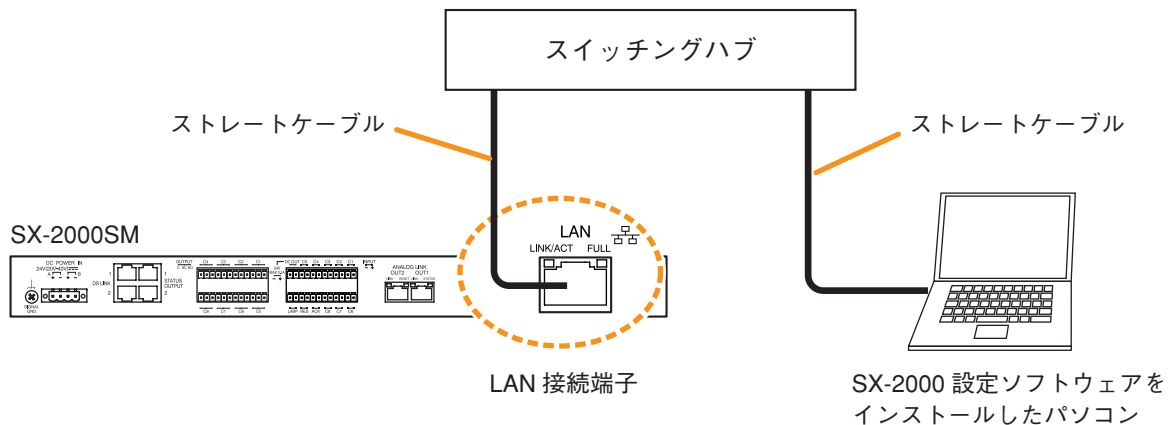
■ SX-2000SM とパソコンを通信接続する

1 SX-2000SMと、SX-2000設定ソフトウェアをインストールしたパソコンをスイッチングハブに接続する。

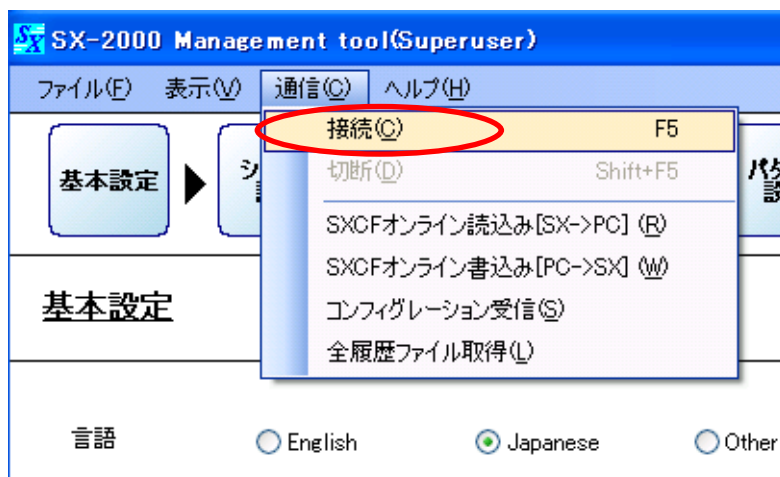
SX-2000SMのLAN接続端子を10BASE-T/100BASE-TXに対応したスイッチングハブに接続します。
RJ45コネクタ付きSTPカテゴリ5規格のストレートケーブルを使用してください。

ご注意

- スwitchングハブをLANに接続しないでください。
- SX-2000SMを直接、パソコンにクロスケーブルで接続することはやめてください。



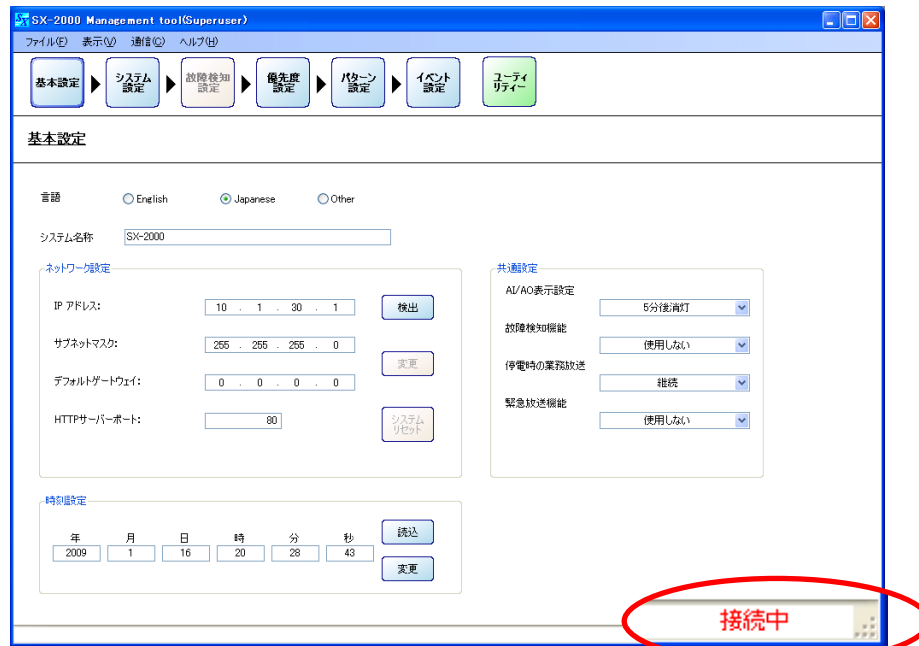
2 設定ソフトウェアのメニューバーから「通信 → 接続」を選択する。



接続中のウィンドウが表示されます。

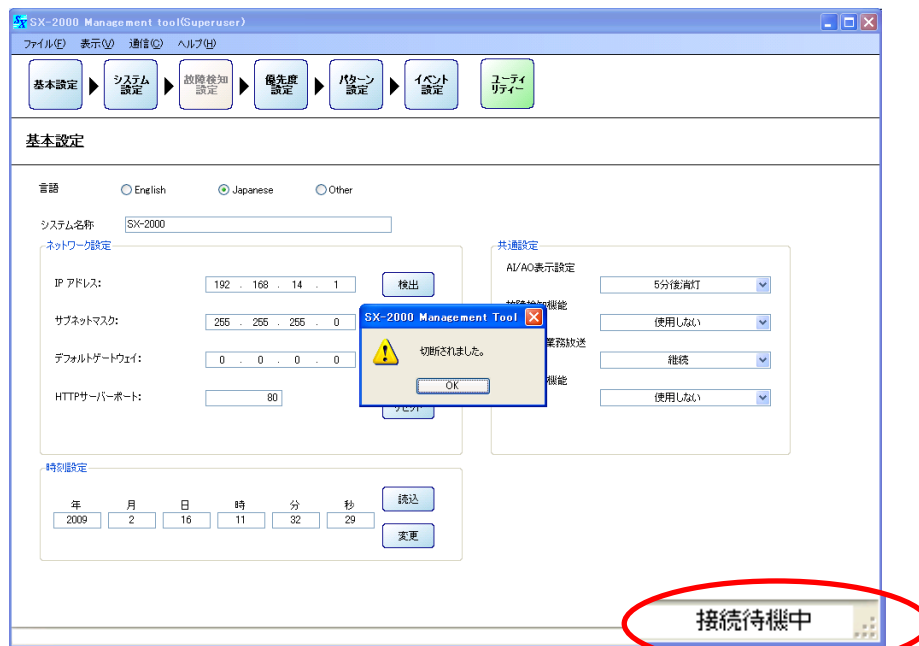


ネットワーク設定で表示されているIPアドレスのSX-2000SMと通信します。
通信接続が完了すると、画面右下に「接続中」と表示されます。



ご注意

通信中にシステムリセットしたり、LANケーブルを抜いたりすると、画面右下の表示が「接続待機中」となります。通信接続可能な状態になると、自動的に「接続中」の表示に変わります。



■ CFカード内の設定データをオンラインで読み込む

SX-2000SMに挿入されているCFカードに保存されている設定データを、オンラインでパソコンに読み込むことができます。

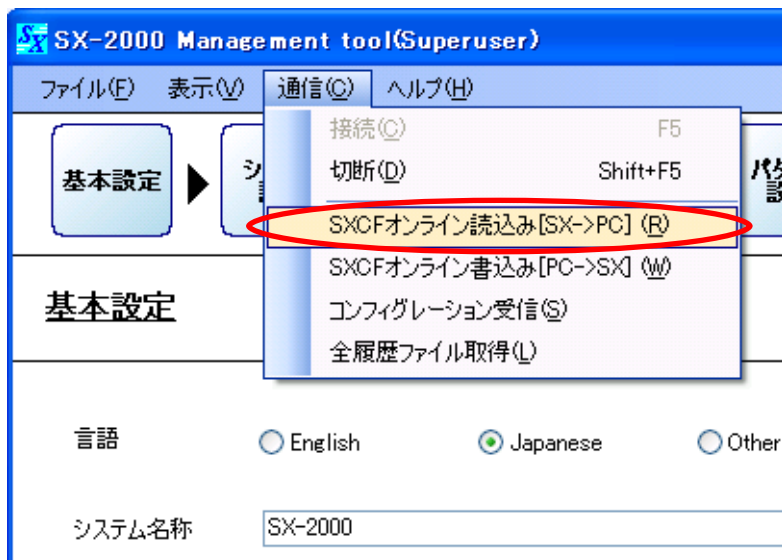
- 1 SX-2000SMと、SX-2000設定ソフトウェアをインストールしたパソコンを通信接続する。
通信接続のしかたは、P. 149「SX-2000SMとパソコンを通信接続する」をお読みください。

通信接続が完了すると、画面右下に「接続中」と表示されます。

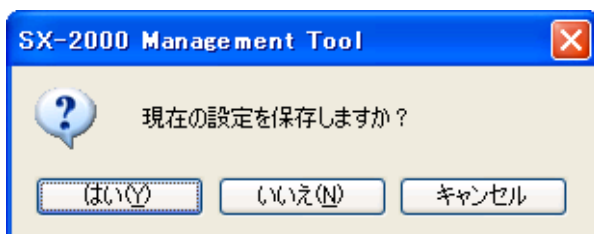
- 2 設定ソフトウェアのメニューバーから「通信 → SXCFオンライン読み込み（SX->PC）」を選択する。

ご注意

ユーティリティ画面（P. 114「ユーティリティ」）を表示しているときは選択できません。



次の画面が表示されます。



3 [はい] または [いいえ] ボタンをクリックする。

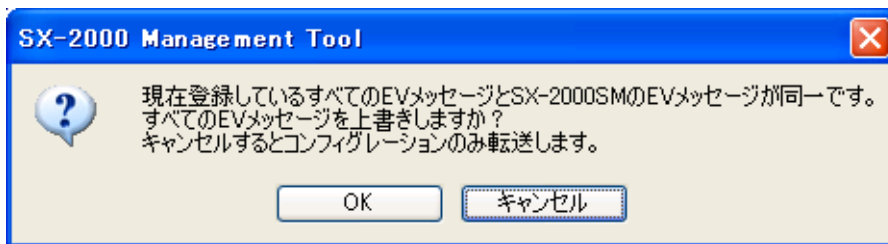
[はい] ボタンをクリックすると、現在編集中的の設定内容をファイルに保存することができます。保存完了後、読み込みを開始します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、ただちに読み込みを開始します。

読み込み中は、次の画面が表示されます。



CFカードに保存されている音源データと、設定ソフトウェアに登録されている音源データが同じときは、次の画面が表示されます。



4 上書きするときは [OK] ボタンを、EVメッセージ以外のデータを転送するときは [キャンセル] ボタンをクリックする。



EVメッセージの転送には時間がかかることがあります。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、EVメッセージを除くすべての設定データを転送しますので、転送時間を短縮することができます。

読み込みが完了すると、次の画面が表示されます。



5 [OK] ボタンをクリックする。

■ CFカードに設定データをオンラインで書き込む

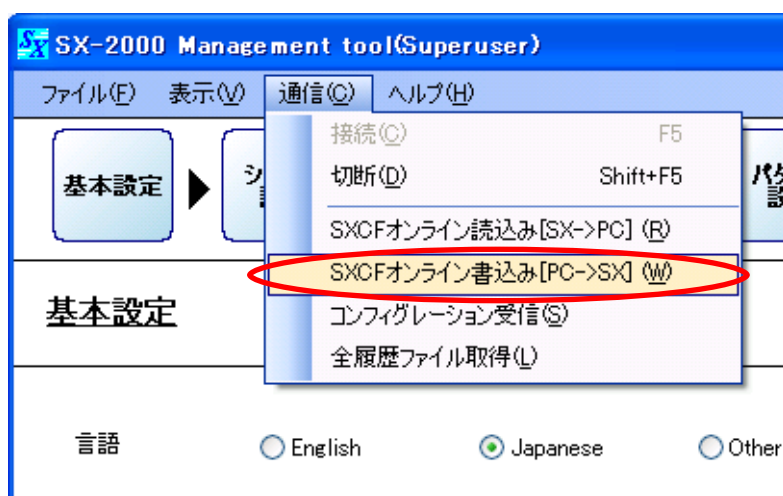
パソコンで作成した設定データをSX-2000SMに挿入されているCFカードにオンラインで書き込むことができます。

1 SX-2000SMと、SX-2000設定ソフトウェアをインストールしたパソコンを通信接続する。

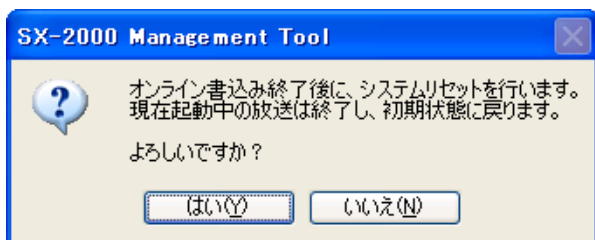
通信接続のしかたは、P. 149「SX-2000SMとパソコンを通信接続する」をお読みください。

通信接続が完了すると、画面右下に「接続中」と表示されます。

2 設定ソフトウェアのメニューバーから「通信 → SXCFオンライン書込み (PC->SX)」を選択する。



次の画面が表示されます。



3 [はい] ボタンをクリックする。

※ [いいえ] をクリックすると、書き込みは実行されません。

次の画面が表示されます。



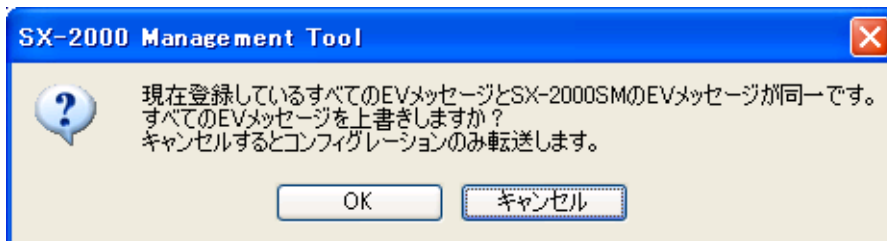
4 [OK] ボタンをクリックする。

※ [キャンセル] ボタンをクリックすると、書き込みは実行されません。

次の画面が表示され、書き込みを開始します。



CFカードに保存されている音源データと、設定ソフトウェアに登録されている音源データが同じときは、次の画面が表示されます。



5 上書きするときは、[OK] ボタンをクリックする。

メモ

EVメッセージの転送には時間がかかることがあります。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、EVメッセージを除くすべての設定データを転送しますので、転送時間を短縮することができます。

書き込みが完了すると、次の画面が表示されます。



6 [OK] ボタンをクリックする。

■ システムの構成をオンラインで取得する

SX-2000 システムの構成をオンラインで取得することができます。
機器設置後に設定データを作成する場合に有効です。

ご注意

コンフィグレーション受信で取得できるのは、機器の台数および機器のタイプです。
機器の詳細設定は、デフォルトの状態です。

1 SX-2000SMと、SX-2000設定ソフトウェアをインストールしたパソコンを通信接続する。

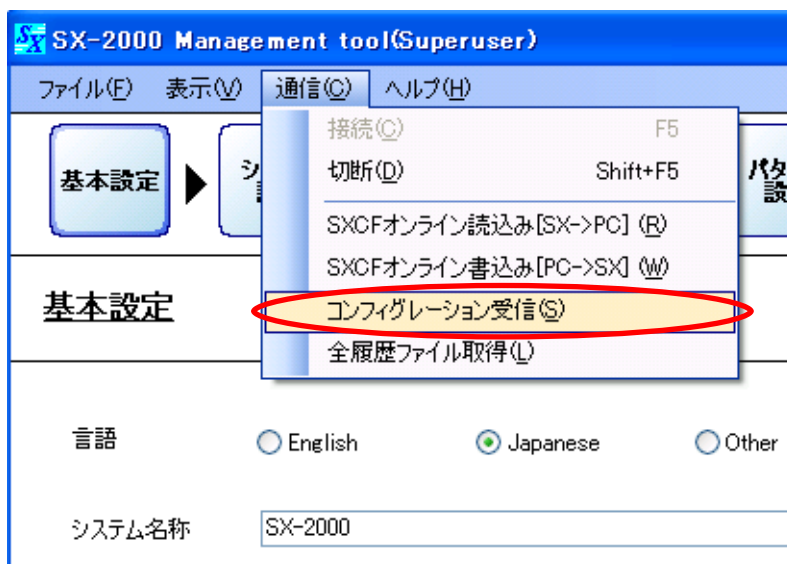
通信接続のしかたは、P. 149「SX-2000SMとパソコンを通信接続する」をお読みください。

通信接続が完了すると、画面右下に「接続中」と表示されます。

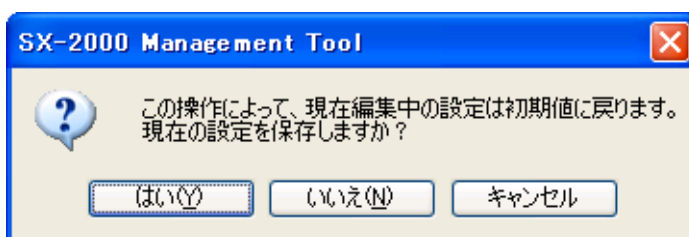
2 設定ソフトウェアのメニューバーから「通信 → コンフィグレーション受信」を選択する。

ご注意

ユーティリティ画面 (P. 114「ユーティリティ」) を表示しているときは選択できません。



編集中の場合は、次の画面が表示されます。



3 [はい] または [いいえ] ボタンをクリックする。

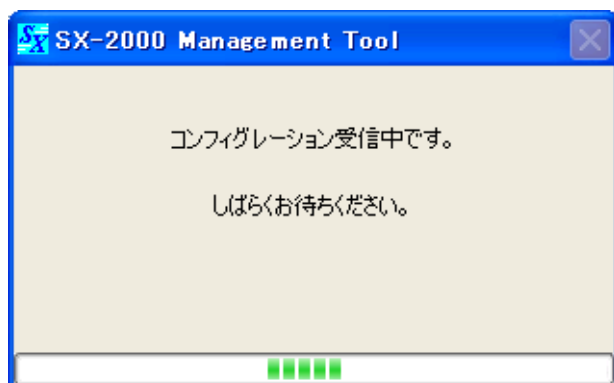
[はい] ボタンをクリックすると、現在編集中的の設定内容をファイルに保存することができます。保存完了後、コンフィグレーション受信を開始します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、ただちにコンフィグレーション受信を開始します。

ご注意

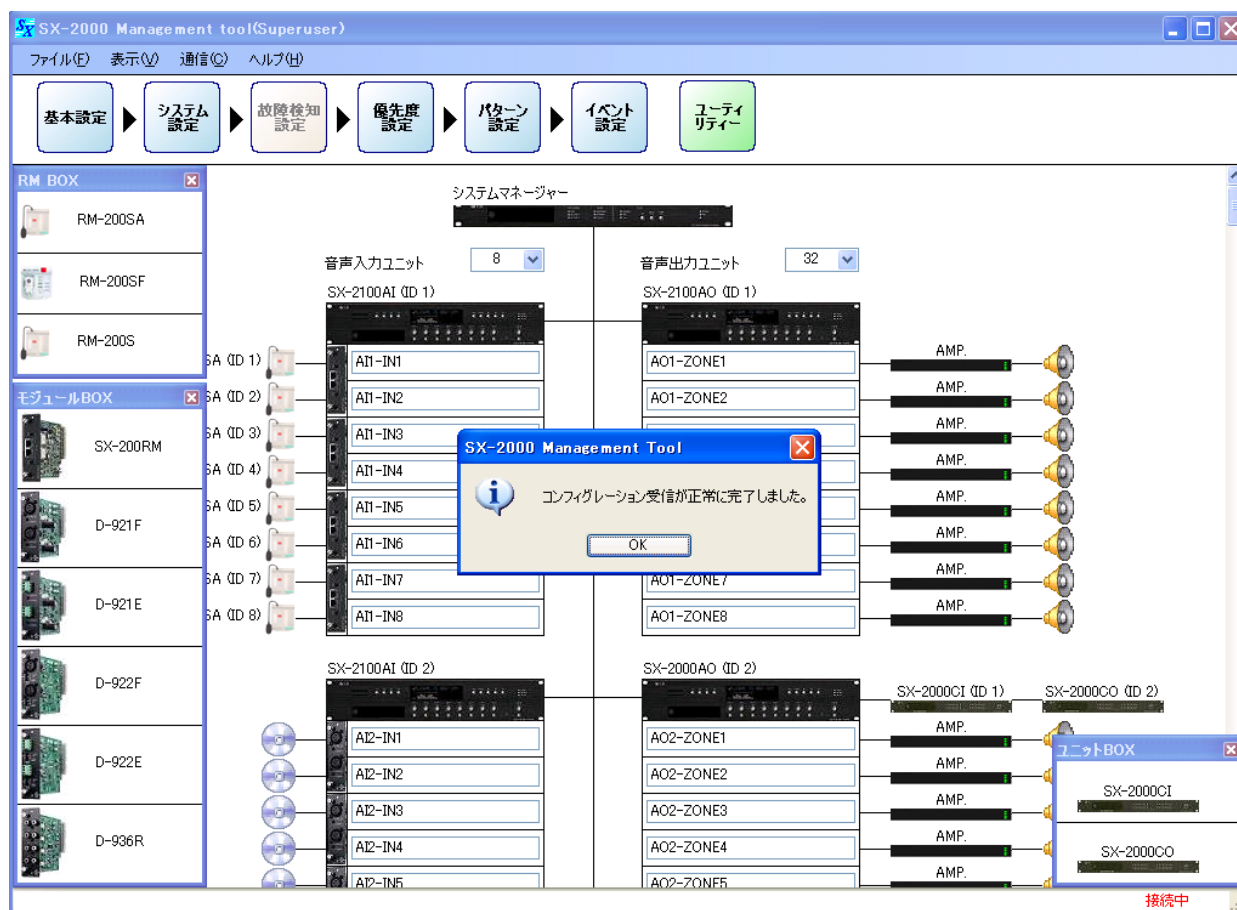
[はい] または [いいえ] ボタンのいずれを選択しても、現在編集中的の設定内容は保持されません。システム構成は、現在の機器の接続状態と同じになります。それ以外の設定は初期値に戻ります。

次の画面が表示され、システムの構成を受信します。



受信が完了すると、システム設定画面に切り換わります。

受信完了のダイアログと、現在のシステムの構成がシステム設定画面に表示されます。



■ CFカードの全履歴ファイルを取得する

SX-2000SMに挿入されているCFカードに保存されているすべての動作履歴および故障履歴をオンラインで取得することができます。

1 SX-2000SMと、SX-2000設定ソフトウェアをインストールしたパソコンを通信接続する。

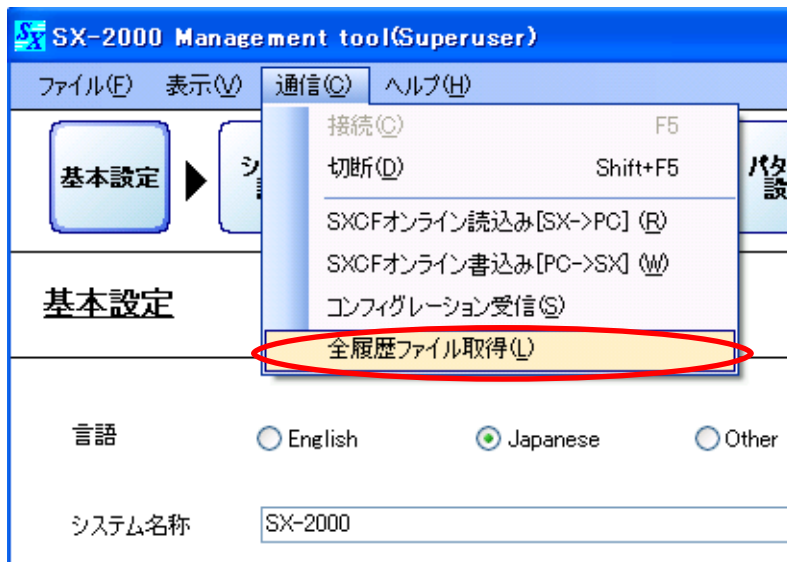
通信接続のしかたは、P. 149「SX-2000SMとパソコンを通信接続する」をお読みください。

通信接続が完了すると、画面右下に「接続中」と表示されます。

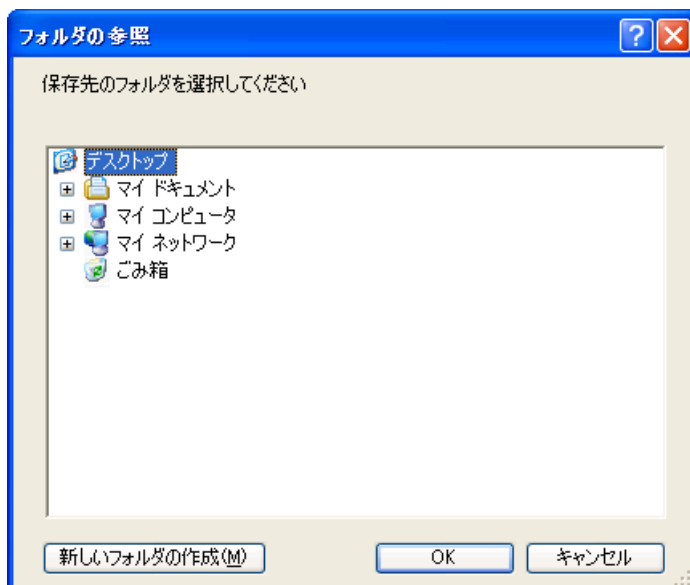
2 設定ソフトウェアのメニューバーから「通信 → 全履歴ファイル取得」を選択する。

ご注意

ユーティリティ画面 (P. 114「ユーティリティ」) を表示しているときは選択できません。



「フォルダの参照」ダイアログが表示されます。

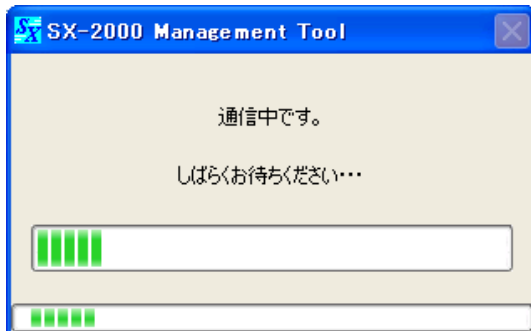


3 保存先のフォルダーを選択して、[OK] ボタンをクリックする。

メモ

動作履歴データはSx2kOp**.s2lというファイル名、故障履歴データはSx2kFa**.s2lというファイル名が自動的に付けられてCFカードに保存されます。**の部分にはデータが保存された順に00～99までの数字が入ります。

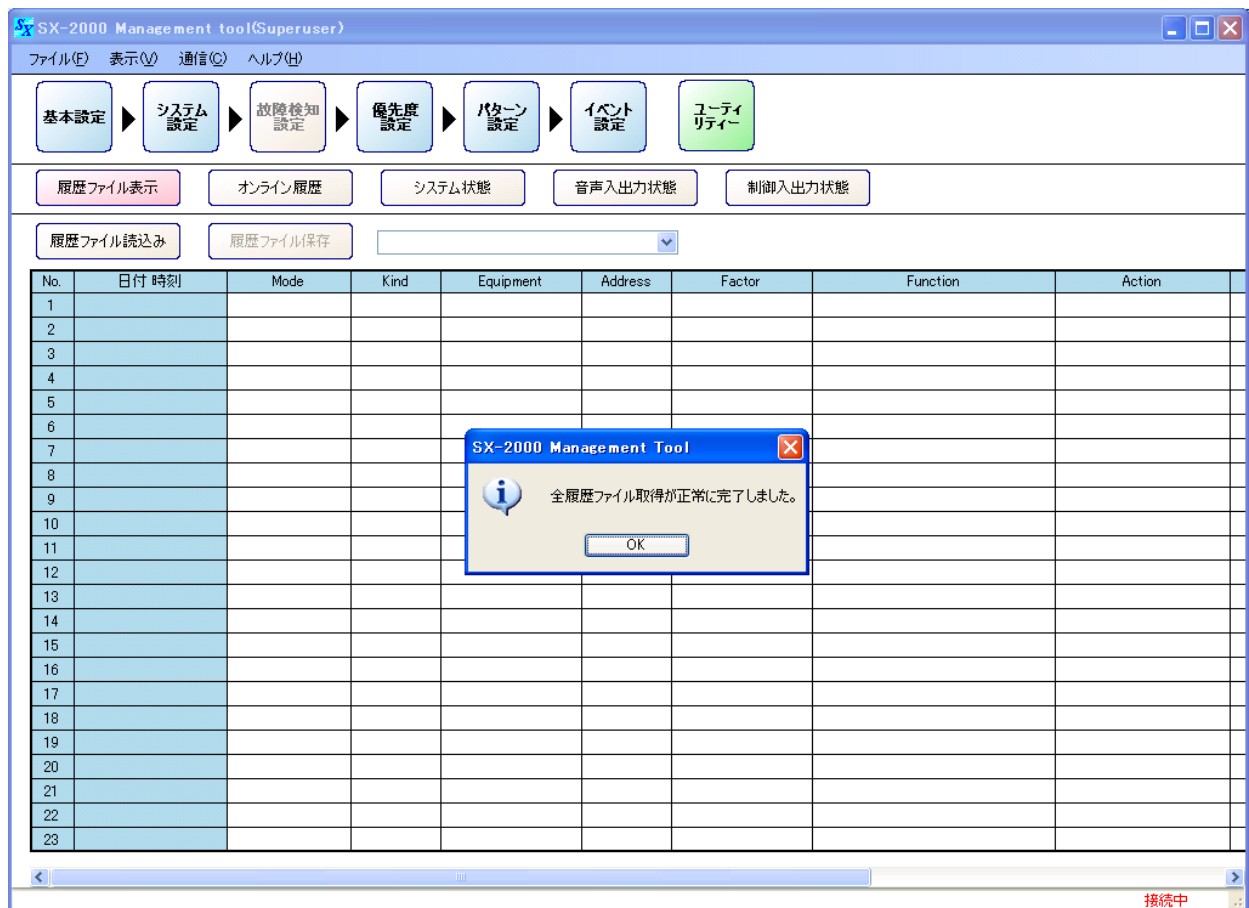
保存中の画面が表示されます。



保存先によって、次の画面が表示されることがあります。



すべての履歴ファイルの取得が完了すると、履歴ファイル表示画面に切り換わります。全履歴ファイル取得完了のダイアログと、履歴ファイル表示画面が表示されます。



■ 通信ができないときは

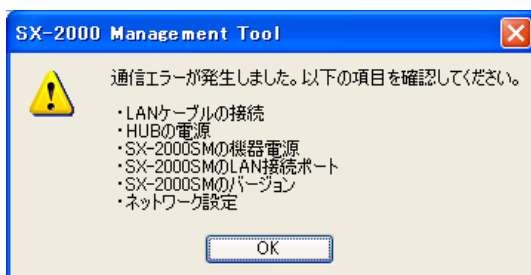
SX-2000SMとパソコンが通信できないときは、次の画面が表示されます。
このような表示が出たら、以下の原因が考えられます。



- LANケーブルが接続されていない。
- クロスケーブルとストレートケーブルを間違えて接続している。
- RJ45コネクター付きSTPカテゴリ5規格のストレートケーブルを使用していない。
- スイッチングハブに電源が供給されていない。
- SX-2000SMとスイッチングハブの距離が100 m以上離れている。
- SX-2000SMに電源が供給されていない。
- SX-2000SMのLANコネクターにケーブルが接続されていない。
- SX-2000SMのバージョンが3.00未満である。
- SX-2000SMまたはパソコンのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPサーバーポートの設定が間違っている。



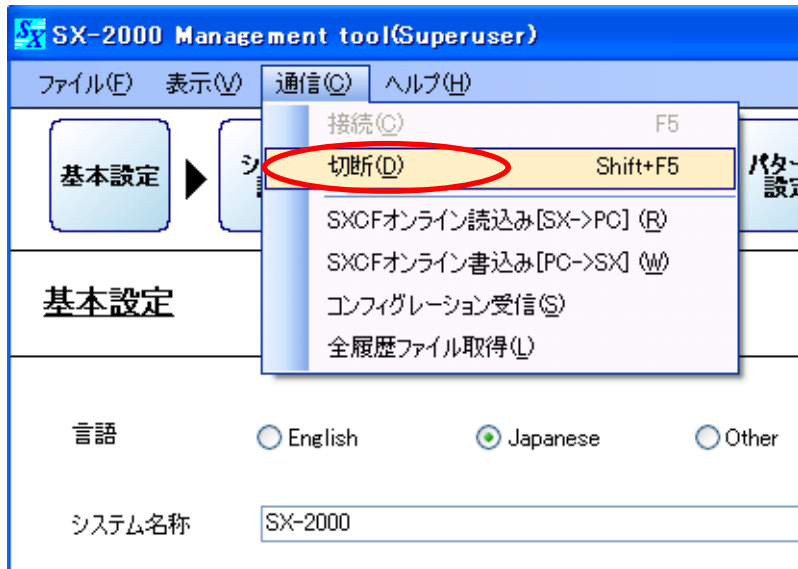
- CFカードが挿入されていない。
- SX-2000SMのDIPスイッチ2または3がONになっている。
- EVメッセージが再生中である。
- 緊急放送中である。



- 通信中に、CFカードを抜いた。
- 通信中に、SX-2000SMのDIPスイッチ2がONになった。
- 通信中に、LANケーブルが抜けた。
- 通信中に、スイッチングハブや機器の電源がOFFになった。
- SX-2000SMが初期化中。
- SX-2000SMのバージョンが3.00未満である。
- SX-2000SMまたはパソコンのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPサーバーポートの設定が間違っている。

■ SX-2000SMとパソコンの通信を切断する

- 1 SX-2000SMとパソコンが通信接続しているときに、メニューバーから「通信 → 切断」を選択する。

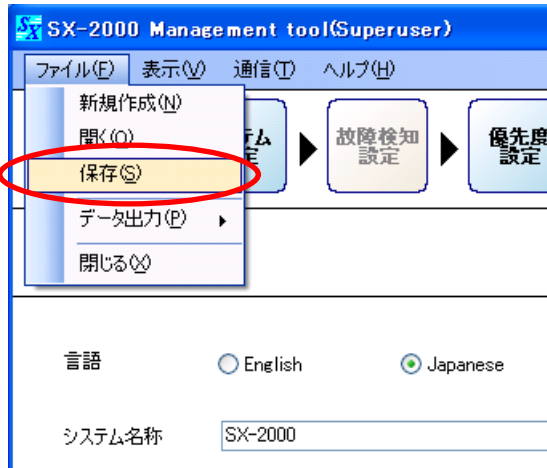


画面右下の「接続中」の表示が消えます。

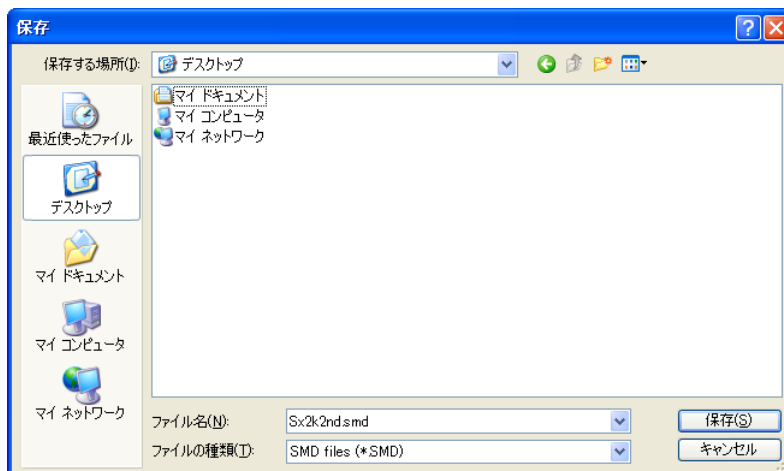
設定ファイルを保存する

設定ソフトウェアで設定したデータをSX-2000システムで使用するデータ形式(.smd)でファイル出力します。CFカードに設定ファイルを保存し、システムマネージャーSX-2000SMに読み込ませて、システムを稼働させます。(設定ファイルをSX-2000SMに読み込ませる方法は、別冊の操作説明書「設定データの運用のしかた」をお読みください。)

1 設定ソフトウェアのメニューバーから「ファイル → 保存」を選択する。



「保存」ダイアログが表示されます。



2 「保存する場所」のプルダウンメニューからCFカードに割り当てられたドライブを選択する。

3 「ファイル名」を設定する。

※ デフォルトでは、ファイル名は「Sx2k2nd.smd」と設定されています。

ご注意

SX-2000SMにCFカードを介して読み込ませるときは、必ず「Sx2k2nd.smd」のファイル名にしておいてください。他のファイル名では、設定データを読み込みません。

4 [保存] ボタンを押す。

設定ファイルの書き込みが始まります。
書き込み中は、次の画面が表示されます。



設定ファイルの書き込みが正常に完了したら、次の画面が表示されます。



5 [OK] ボタンを押す。

設定ファイルを読み込む

設定ファイルを設定ソフトウェアに読み込みます。

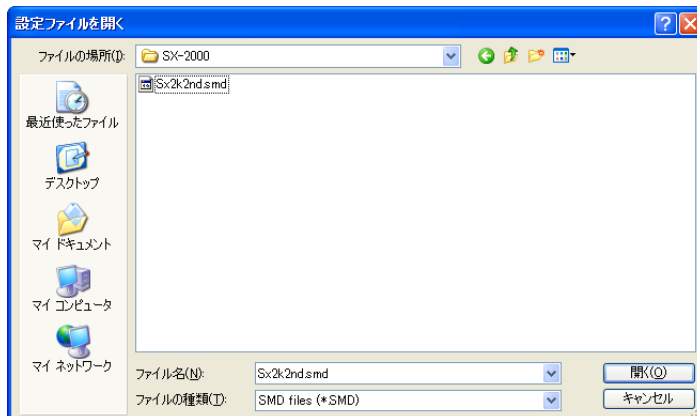
ご注意

旧バージョンの設定ソフトウェアで作成した設定ファイル（s2d形式）を読み込むこともできます。
読み込みかたは[次ページ](#)をお読みください。

1 設定ソフトウェアのメニューバーから「ファイル → 開く」を選択する。



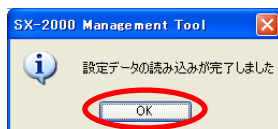
「設定ファイルを開く」ダイアログが表示されます。



2 設定ファイルが保存されている場所を指定して、ファイルを選択し、「開く」ボタンを押す。 設定ファイルの読み込みが始まります。読み込み中は次の画面が表示されます。



設定ファイルの読み込みが正常に完了したら、次の画面が表示されます。



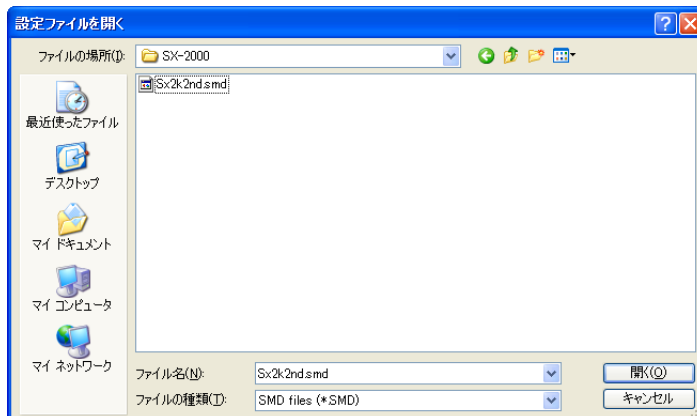
3 [OK] ボタンを押す。

[旧バージョンの設定ファイル（s2d形式）を読み込むとき]

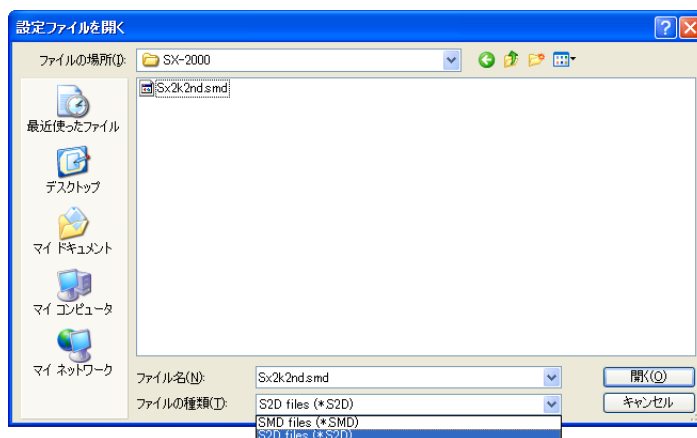
1 設定ソフトウェアのメニューバーから「ファイル → 開く」を選択する。



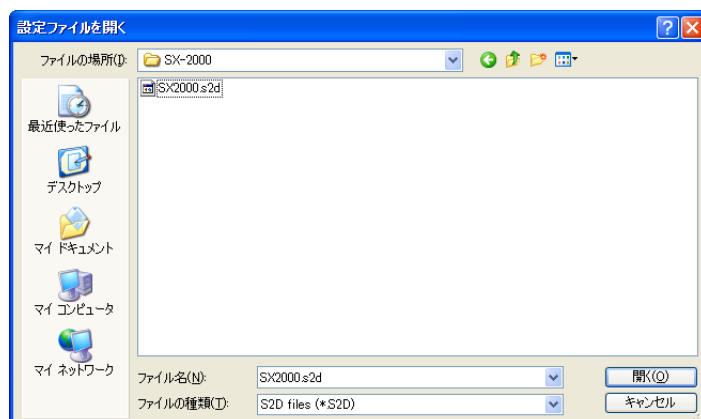
「設定ファイルを開く」ダイアログが表示されます。



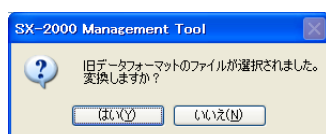
2 「ファイルの種類」を「S2D files (*.S2D)」に設定する。



3 拡張子がs2d形式で保存されたSX-2000の設定データを選択し、[開く] ボタンを押す。



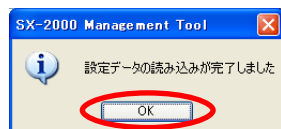
4 次の画面が表示されたら、[はい] ボタンを押す。



設定ファイルの読み込みが始まります。読み込み中は次の画面が表示されます。



設定ファイルの読み込みが正常に完了したら、次の画面が表示されます。



5 [OK] ボタンを押す。

ご注意

s2d形式で保存された設定データを読み込んだ場合、次の設定項目が自動的に変換されます。

[リモートマイクのチャイム音量]

リモートマイクのチャイム音量の設定範囲は、旧設定ソフトウェアでは「0～-20 dB（1 dBステップ）」、新設定ソフトウェアでは「0～-20 dB（2 dBステップ）」です。旧設定ソフトウェアでの設定値が奇数のときは、それに「1」を足した値が、新設定ソフトウェアでの設定値になります。

(例)

	変換前 (s2d 形式)	変換後 (smd 形式)
チャイム 音量	0 dB	0 dB
	-1 dB	0 dB
	-15 dB	-14 dB
	-20 dB	-20 dB

[優先度設定]

旧設定ソフトウェアで設定された優先度の数値に「257」を足した値が、新設定ソフトウェアでの設定値になります。

	変換前 (s2d 形式)	変換後 (smd 形式)
優先度	0	257
	10	267

[出力ゾーンパターン設定]

旧設定ソフトウェアで設定された業務放送パターンとRMゾーン選択パターンは、パターン名称と出力先のゾーンだけが新設定ソフトウェアの出力ゾーンパターンとして変換されます。

旧設定ソフトウェアにおいて、出力先が同じゾーンで、パターン名称や入力音源が異なるパターンが存在する場合は、「業務パターン」＞「RMゾーン選択パターン」の優先順位で、また「小さいパターンNo.」＞「大きいパターンNo.」の優先順位で、出力ゾーンパターンの名称が変換されます。

旧設定ソフトウェアの設定データ

パターン	パターン名称	音源	出力先
業務放送パターン 1	PAGE_PTIN1	AI1 CH5	AO1-AO2 ZONE1
業務放送パターン 2	PAGE_PTIN2	AI1 CH5	AO1-AO2 ZONE2
⋮	⋮	⋮	⋮
業務放送パターン 7	PAGE_PTIN7	AI1 CH5	AO1-AO2 ZONE7
業務放送パターン 8	PAGE_PTIN8	AI1 CH5	AO1-AO2 ZONE1-ZONE8
業務放送パターン 9	PAGE_PTIN9	AI1 CH6	AO1-AO2 ZONE1
業務放送パターン 10	PAGE_PTIN10	AI1 CH6	AO1-AO2 ZONE2
⋮	⋮	⋮	⋮
業務放送パターン 16	PAGE_PTIN16	AI1 CH6	AO1-AO2 ZONE1-ZONE8
RM ゾーン選択パターン 1	RM_PTIN1	—	AO1-AO2 ZONE1-3-5-7
RM ゾーン選択パターン 2	RM_PTIN2	—	AO1-AO2 ZONE2-4-6-8
⋮	⋮	⋮	⋮
RM ゾーン選択パターン 128	RM_PTIN128	—	AO1-AO2 ZONE1-ZONE8

出力先が同じゾーンで、音源やパターン名称が異なる場合は、出力ゾーンパターンの重複を避けてパターンが作成されます。
この例では、旧設定ソフトウェアで設定されたパターンの内、赤字で示した部分は出力先が重複するため、新設定ソフトウェアへは変換されません。



データ変換

新設定ソフトウェアの設定データ

パターン	パターン名称	出力先
出力ゾーンパターン 1	PAGE_PTIN1	AO1-AO2 ZONE1
出力ゾーンパターン 2	PAGE_PTIN2	AO1-AO2 ZONE2
⋮	⋮	⋮
出力ゾーンパターン 7	PAGE_PTIN7	AO1-AO2 ZONE7
出力ゾーンパターン 8	PAGE_PTIN8	AO1-AO2 ZONE1-ZONE8
なし		
なし		
⋮	⋮	⋮
なし		
出力ゾーンパターン 9	RM_PTIN1	AO1-AO2 ZONE1-3-5-7
出力ゾーンパターン 10	RM_PTIN2	AO1-AO2 ZONE2-4-6-8
⋮	⋮	⋮
なし		

業務放送パターン、RM ゾーン選択パターンの中で出力先が重複しないもの、また重複する場合は優先順位の最も高いものだけが、新設定ソフトウェアの設定データに出力先ゾーンパターンとして反映されます。パターン名称は変わりません。

[イベント設定]

旧設定ソフトウェアの「制御入力設定」または「RM機能キー設定」で設定された以下の機能は、自動的に変換されます。

	変換前 (s2d 形式)	変換後 (smd 形式)
①	ボリューム変更 (UP、パルス)	Zone 音量調整 (Pulse)
②	ボリューム変更 (DOWN、パルス)	Zone 音量調整 (Pulse)
③	ボリューム変更 (UP、レベル)	なし (変換されない)
④	ボリューム変更 (DOWN、レベル)	Zone 音量減衰 (Level)

ご注意

①、②、④は、変換前のボリューム変更幅によっては、変換後「なし」になる場合があります。

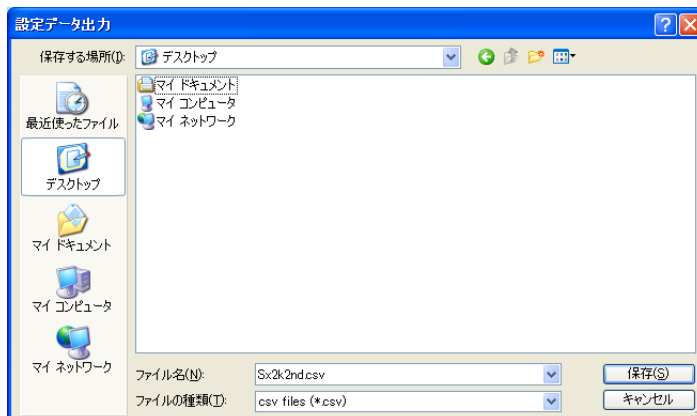
設定データを印刷する

設定データを CSV 形式でファイル出力し、出力した CSV 形式のファイルを印刷することができます。

- 1 設定ソフトウェアのメニューバーから [ファイル → データ出力 → 設定データ] を選択する。



「設定データ出力」ダイアログが表示されます。



- 2 「保存する場所」のプルダウンメニューからを印刷するファイルの保存フォルダーを選択する。

- 3 「ファイル名」を設定する。

※ デフォルトでは、ファイル名は「Sx2k2nd.csv」と設定されています。

ご注意

ファイル名を変更する場合は、必ず拡張子 (csv) を付けてください。

例：0605 設定ファイル.csv

4 [保存] ボタンを押す。

設定データの保存が始まります。保存中は次の画面が表示されます。



保存が完了すると、次の画面が表示されます。



5 [OK] ボタンを押して、画面を閉じる。

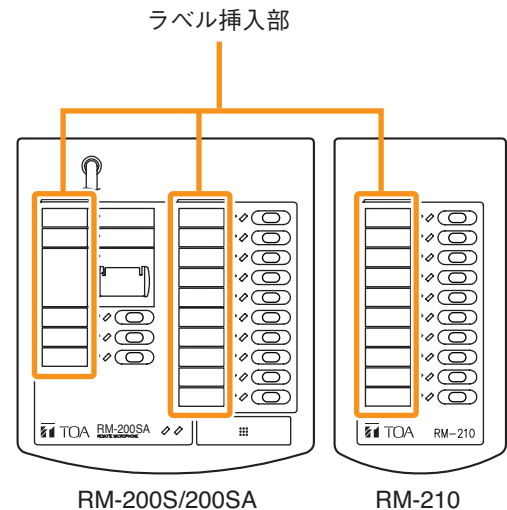
6 保存したCSVファイルを開いて印刷する。

リモートマイクのラベルを印刷する

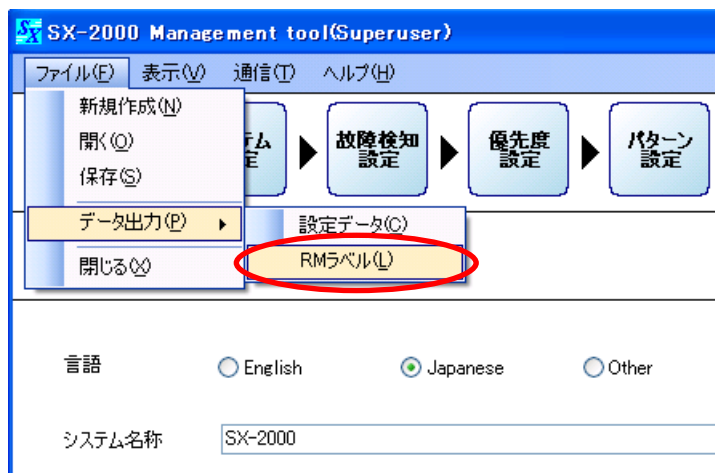
リモートマイクのラベルを作成することができます。
現在、設定ソフトウェアで設定されているリモートマイクの機能キーに設定されている各機能をExcelのファイル（ブック）に出力します。

ご注意

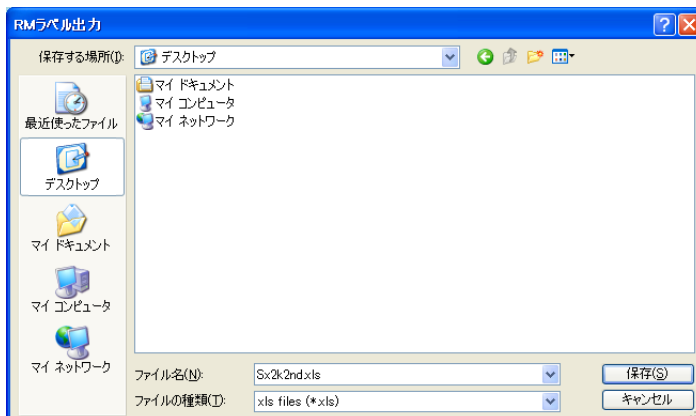
Excelがインストール済みで、使用可能な状態である必要があります。あらかじめExcelが使用できる状態にしておいてください。



- 1 設定ソフトウェアのメニューバーから「ファイル → データ出力 → RMラベル」を選択する。



「RMラベル出力」ダイアログが表示されます。



2 「保存する場所」のプルダウンメニューから、ラベル印刷データの保存フォルダーを選択する。

3 「ファイル名」を設定する。

デフォルトでは、ファイル名は「Sx2k2nd.xls」に設定されています。

ご注意

ファイル名を変更する場合は、必ず拡張子（xls）を付けてください。

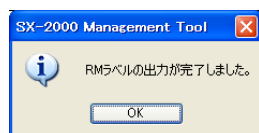
例：0802RMラベル.xls

4 「保存」ボタンを押す。

ラベルファイルの書き込みが始まります。書き込み中は次の画面が表示されます。



ラベルファイルの書き込みが正常に完了したら、次の画面が表示されます。



生成されたExcelのファイル（ブック）にはSX-2000AIまたはSX-2100AIに接続されているRM-200SまたはRM-200SAのID別にワークシートが分かれて作成されます。

ID別の初期印刷範囲は、RM-200SまたはRM-200SAで1ページ、RM-200SまたはRM-200SAにRM-210が接続されていた場合はRM-210で1ページとなります。RM-210が複数台接続されていても同じです。また、用紙サイズはA4で設定されています。

5 保存したXLSファイルを開いて印刷する。

ご注意

- お使いのプリンターによっては、1ページ分の印刷可能領域、ラベル幅の出力結果などが異なります。
- うまく出力できない場合は、別冊の設置説明書「リモートマイクの表示ラベルの取り付け」を参照してください。
- 厚さ0.2 mm以下の紙を使用してください。

[印刷イメージ]

1ページ目

AI1-RM2	
RM-200SA L	RM-200SA R
POWER	KEY1
FAULT	KEY2
	KEY3
EMGKEY	KEY4
	KEY5
SYSKEY1	KEY6
SYSKEY2	KEY7
SYSKEY3	KEY8
	KEY9
	KEY10

2ページ目

AI1-RM2			
RM-210 1	RM-210 2	RM-210 3	RM-210 4
KEY11	KEY21		
KEY12	KEY22		
KEY13	KEY23		
KEY14	KEY24		
KEY15	KEY25		
KEY16	KEY26		
KEY17	KEY27		
KEY18	KEY28		
KEY19	KEY29		
KEY20	KEY30		

※ 設定されているRM-210の台数分のみ、キー名称が出力されます。
（上の例では、RM-210を2台設定しています。）

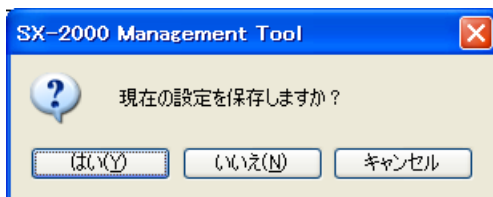
設定ソフトウェアを終了する

すべての設定、必要なファイル出力をし終えたら、設定ソフトウェアを終了します。

設定ソフトウェアのメニューバーから「ファイル → 閉じる」を選択する。



※ 設定データを保存していない場合は次のダイアログが表示されます。



TOA お客様相談センター	フリーダイヤル 0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00～17：00（土日、祝日除く）	ナビダイヤル 0570-064-475（有料） FAX 0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	
当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。		

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

201903